

# 目 次

目 次	1
<b>I. 2016（平成 28）年度の主な活動</b>	<b>3</b>
* 2016（平成 28）年度入館者一覧	4
<b>II. 資料の収集・利用</b>	<b>5</b>
II - 1 資料の収集	5
1) 受 贈	5
2) 寄 託	5
II - 2 資料の利用	6
1) 貸 与	6
2) その他	6
<b>III. 展示活動</b>	<b>7</b>
III - 1 総合展示	7
1) 〈京の歴史〉ゾーン	7
2) 〈京のまつり〉ゾーン	9
3) 〈京の至宝と文化〉ゾーン	14
4) 3階展示室	25
5) ふんぱく京都講座	28
III - 2 特別展示	29
* 2016（平成 28）年度特別展一覧	37
III - 3 映 画	39
1) 常設上映	39
2) 特別企画・共催事業	40
3) 映像ギャラリー常設展示	43
III - 4 その他	43
<b>IV. 調査研究活動</b>	<b>44</b>
IV - 1 学芸員の活動	44
1) 研 究	44
2) 出講・委嘱	44
3) 業 績	44
<b>V. 普及活動</b>	<b>48</b>
V - 1 出版物	48
1) 研究紀要『朱雀』	48
2) 年 報	48
3) 展覧会図録	48

V - 2	音楽会	49
V - 3	学習普及外部連携室	50
	1) ボランティア	50
	2) 「ぶんぱく子ども教室」事業	50
	3) 団体見学案内	51
	4) 生き方探求チャレンジ体験	51
V - 4	博物館実習	52
V - 5	資料・情報公開	52
	1) 資料閲覧室	52
	2) ホームページによる広報とコンテンツの提供	52
V - 6	外部連携活動	53
	1) 他館との連携	53
	2) 京都府内の学校との連携事業	53
	3) 地域との連携	53
V - 7	京都文化博物館友の会	55
	1) 会 員	55
	2) 事業概要	56
<b>VI.</b>	<b>ギャラリー事業</b>	<b>57</b>
VI - 1	5・6階展示室	57
	1) 京都文化財団展示室運営委員会	57
	2) 美術・工芸作家の利用	57
	3) 生涯学習的発表期間の利用	58
	4) 一般の利用	59
VI - 2	別館ホール	60
<b>VII.</b>	<b>管理・運営</b>	<b>62</b>
VII - 1	組織と職員	62
	1) 組 織	62
	2) 京都文化財団	62
	3) 京都文化博物館	63
VII - 2	施 設	64
	1) 本館関係	64
	2) 別館関係	64
VII - 3	館内店舗	67
	1) ろうじ店舗	67
	2) 別館店舗一覧	67
	3) 博和会・ろうじ行事	67
<b>VIII.</b>	<b>2016（平成28）年度のあゆみ</b>	<b>68</b>

# I 2016(平成28)年度の 主な活動

京都に関する資料の総合的な収集、保存、公開を50年以上にわたり担い、当館とも深い関係を持つ京都府立総合資料館(以下「総合資料館」)が閉館し、新たに京都の歴史・文化に関する研究支援や学習・交流の機能を加えた拠点施設「京都府立京都学・歴彩館」(以下「京都学・歴彩館」)として生まれ変わった。2016年12月23日には一部オープンを記念して、記念式典及び記念講演会が行われた。

総合資料館と当館は、当館が設立される際に、総合資料館が行ってきた業務のうち美術工芸・歴史民俗等の文化資料の管理、公開等業務を委託され、当館が管理し、展示する資料は総合資料館の収蔵庫に保管されるなど、密接な関係の下に歩んできた。当館が旧総合資料館の収蔵庫で管理する5万点余りの資料も、京都学・歴彩館等に移転を行うことになり、本年度には準備作業に着手した。また京都学・歴彩館には、京都府が所蔵する資料等を公開する展示室が設置されたが、美術工芸品等について当館が展示を担うこととなり、12月の一部オープンに合わせて、京都の陶芸の歴史に関する展示を行い、好評を得た。

博物館の基幹である展覧会事業については、日頃の学芸的な調査研究や地域・学校・関係機関との連携など地道な取り組みが結実し、今後の指針となるような特別展、総合展を展開することができた。例えば、特別展「イングリッシュ・ガーデン展」と並行して開催した企画展「江戸の植物画」、同じく特別展「戦国時代展」と並行して開催した総合展「京都府コレクションにみる武家の服飾」は、特別展と総合展が連携し補完する当館らしいスタイルとして評価いただけるものとする。その「戦国時代展」は東京都江戸東京博物館、米沢市上杉博物館とともに企画を立上げ、実現した展覧会であるが、こうした専門的見地からも質が高く、同時に「知的エンターテインメント」として多くの人に楽しんでいただき、知的な刺激を感じてもらえる展覧会を企画・実現できたことは、特筆されるべきであろう。企画展「アートと考古学」、京都大学総合博物館との連携で開催した総合展「日本の表装」などについても同様である。今後も、こうした企画の実現に取り組んでいきたい。

また、総合展「京都府内の学校所蔵考古・歴史資料展」は、当館が取り組んできた博・学・社(博物館・学校・地域社会)連携事業の成果として、府内の多くの学校の協力で実現したユニークな展示である。特に、多くの学校資料を展示いただいた府立鴨沂高等学校の生徒の皆さんには、展示資料を前に立派な解説を繰り広げていただいた。当館としても印象深く貴重な経験であった。改めて感謝申し上げたい。

重要文化財(旧日本銀行京都支店)である別館は、音楽会をはじめ多数の入館者を集めているが、建築から百年以上が経過しており、地震等に備えて耐震補強等の工事が京都府によって実施され、7月に完了し、一層安心・安全に利用いただけることとなった。なお、工事に先立ち専門家により建物内部の点検が行われたが、予想以上に堅固な構造が確認され、明治の名建築に対する誇りを新たにしたところである。



京都学・歴彩館「京都府所蔵品にみる京焼・美の探訪」展会場風景



「創造のためのアーカイブ」会場風景

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、文化や観光を盛り上げていこうとする取組みが、京都では「京都文化力プロジェクト2016-2020」などの形で本格化してきたが、国においても機運を高めるため、10月に東京と京都で文部科学省等が主催するキックオフイベントが開催され、当館別館においてスポーツ・文化・ワールド・フォーラム 文化会議分科会「創造のためのアーカイヴ」が開催された。これは文化芸術が長年培ってきた様々な表現を将来的に活用するには、次世代に向けた収集・保存・公開(=アーカイヴ)の新たな取組みが必要であり、その実現に向けた議論を深めることを趣旨として行ったもので、当館は京都府の委託を受けて企画・運営に関わった。議論のモチーフとして溝口健二監督の名画「雨月物語」の4Kデジタル復元の事例を中心に据えたが、この復元に深く関わったのが世界の映画人、映画ファンから尊敬を集める映画監督、マーティン・スコセッシ氏である。同氏の来館は実現しなかったが、この分科会のためのビデオメッセージによる素晴らしい講演をいただいた。

スコセッシ監督は少年時代、テレビで「雨月物語」を見て驚き、深い感動を覚えたという。ビデオメッセージは次のように締めくくられた。「日本は素晴らしい映画史を誇るべきです。日本の伝統です。若い人にもっと、素晴らしい映画大国だということを知らしめるべきです。そして、その素晴らしい日本映画の復元技術を高め、もっともっと多くの人に、素晴らしい日本映画史の栄光を日本の人に、そして世界の人に伝えるべきだと思います。」映画は当館の大きな特色である。今後も、この言葉を胸に京都の映画文化に貢献するとともに、フォーラムを契機としてデジタル・アーカイヴに戦略的に取り組んでいきたい。

## \*2016(平成28)年度入館者一覧

年 月	総合展			特別展			計			ギャラリー				ろうじ 店舗	総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計		
2016.4	1,917	2,726	4,643 【11,792】	2,733	5,210	7,943	4,650	7,936	12,586	6,420	4,448	5,456	16,324	11,841	40,751
5	2,233	2,886	5,119 【19,609】	9,153	5,937	15,090	11,386	8,823	20,209	4,984	6,202	2,440	13,626	14,115	47,950
6	2,631	2,863	5,494 【22,248】	9,602	8,061	17,663	12,233	10,924	23,157	3,721	7,814	3,290	14,825	14,978	52,960
7	3,138	2,685	5,823 【14,163】	6,187	4,016	10,203	9,325	6,701	16,026	5,643	3,942	19,159	28,744	13,579	58,349
8	2,387	3,289	5,676 【17,739】	9,627	6,790	16,417	12,014	10,079	22,093	4,694	1,718	8,024	14,436	12,382	48,911
9	2,859	3,671	6,530 【10,460】	2,748	2,566	5,314	5,607	6,237	11,844	14,698	3,798	29,355	47,851	11,696	71,391
10	1,867	2,888	4,755 【19,608】	18,418	7,625	26,043	20,285	10,513	30,798	3,687	11,759	13,504	28,950	14,770	74,518
11	1,215	4,095	5,310 【19,168】	17,577	8,407	25,984	18,792	12,502	31,294	4,526	5,906	9,931	20,363	15,447	67,104
12	1,568	2,115	3,683 【18,998】	17,799	9,837	27,636	19,367	11,952	31,319	1,727	6,576	7,196	15,499	14,154	60,972
2017.1	3,508	2,881	6,389 【6,389】	929	7,919	8,848	4,437	10,800	15,237	3,107	4,322	2,490	9,919	8,162	33,318
2	4,240	3,501	7,741 【10,216】	5,563	22,002	27,565	9,803	25,503	35,306	1,994	4,506	22,964	29,464	9,198	73,968
3	1,515	2,362	3,877 【22,570】	22,280	7,461	29,741	23,795	9,823	33,618	2,326	8,683	40,142	51,151	17,366	102,135
年度計	29,078	35,962	65,040 【192,960】	122,616	95,831	218,447	151,694	131,793	283,487	57,527	69,674	163,951	291,152	157,688	732,327
1日平均 (総308日) (特235日)	94	117	211	522	408	930	493	428	920						

【 】内は特別展からの入場者数を含む

## Ⅱ 資料の収集・利用

当館の所管資料は、大きく二つに分かれる。一つを館蔵資料、もう一つを管理資料と呼ぶ。館蔵資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料が中心で、他に若干の絵画資料や歴史資料など、限られた範囲のものである。一方、管理資料は、京都府立京都学・歴史館(旧京都府立総合資料館、以下歴史館)所蔵資料のうち、当館が管理をする美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料(博物館資料)をいう。これらの資料については、当館の設立以来、その収集、管理、展示公開業務を歴史館から委託されており、具体的には同館の収蔵庫で管理しながら、展示を京都文化博物館および歴史館で行うとともに、収集、利用等についても、その業務を当館で行っている。

なお、2016年度末での管理資料は53,187点、寄託資料が1,010点、一時保管資料が49点であった。

### Ⅱ - 1 資料の収集

#### 1) 受 贈

##### 【管理資料】

分 野	作 者	資 料 名	点 数
日本画	榊原紫峰	復元コロタイプ複製 尾形光琳筆風雷神神図、 酒井抱一筆夏秋草図屏風	1
日本画		「南園の一隅に於ける曲と眠り」屏風	1
染 織		「型紙(461点一式)」ほか	2
日本画 書		大橋家旧蔵資料一式 榊原文翠 牡丹図 ほか	280
陶 芸			
漆 芸			
金 工			
木 竹 諸工芸		大橋家関連資料一式 木島櫻谷 葉書帖 ほか	22
歴 史			
その他		「型紙(386点一式)」ほか	5
染 織	内裏秘書写	1	

小計 312点

#### 2) 寄 託

種 別	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	小 計
館蔵資料	日本画	7件 8点	古文書	21件 22点	典 籍	20件 233点	絵 図	17件 19点	複製模本	1件 1点	89件 843点
	貴重遺物	14件 501点	一般遺物	2件 6点	複製模型	3件 3点	参考資料	1件 1点	歴 史	3件 49点	
管理資料	日本画	6件 21点	陶 器	1件 89点	民 俗	3件 221点	武 具	1件 4点	染 織	2件 675点	13件 1010点

## Ⅱ-2 資料の利用

### 1) 貸与

#### 【館蔵資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
考古	平安京左京三条四坊四町付近出土 元文小判	1	京都府立丹後郷土資料館	「お・か・ね一貨幣の歴史と虚実一」
考古	平尾城山古墳出土遺物	10	京都府立山城郷土資料館	「山城の二大古墳群 乙訓古墳群と久津川古墳群」
考古	三条西殿跡出土 西国三十三所巡礼札	3	江戸東京博物館 他	「戦国時代展 -A CENTURY of DREAMS-」
考古	平安京左京三条三坊十一町出土大甕	2	備前市教育委員会	備前市埋蔵文化財管理センター企画展 (但し、利用延長)
考古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2	向日市教育委員会	常設展
				合計 55件 163点

#### 【管理資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的
日本画	広田多津「舞妓」	1	浜松市秋野不矩美術館	特別展「革新表現に挑む女流画家たち」
日本画、陶器	上村松篁「花の中」ほか	2	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓の接遇
日本画	西川祐信「衣通姫像」	1	和歌山市立博物館	特別展「玉津島」
日本画	復元コロタイプ複製 尾形光琳筆風神 雷神図、酒井抱一筆夏秋草図屏風	1	学習院大学国際研究教育機構	国際シンポジウム「世界の中の日本美術」
日本画	枯木鷹図ほか	3	京都大学総合博物館	「日本の表装」
考古	千本出水出土慶長金銀、同容器	77	京都府立丹後郷土資料館	企画展「お・か・ね一貨幣の歴史と虚実一」
日本画	池大雅「柳下童子図屏風」	1	静岡県立美術館	「徳川の平和」
日本画	猪熊佳子「杜の雫」ほか	2	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓の接遇
染織	三浦景生「去来」ほか	3	京都市美術館	特別展「三浦景生の染め 白寿の軌跡」
日本画	復元コロタイプ複製 尾形光琳筆風神 雷神図、酒井抱一筆夏秋草図屏風	1	高岡市美術館	企画展「美の記憶」
歴史	坂本龍馬書簡集ほか	2	読売新聞東京本社 (京都国立博物館)	特別展「坂本龍馬」
陶芸	錆絵染付舟形向付ほか	9	出雲文化伝承館	特別展「茶の器 向付と鉢 茶箱」
日本画	榊原紫峰「南園の一隅に於ける曲と眠り」屏風	1	笠岡市立竹喬美術館	「榊原紫峰展」
日本画	狩野元信 繫馬図絵馬	1	読売新聞東京本社(江戸東京博物館)	特別展「戦国時代展」
日本画	川島睦郎「秋叢」	1	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓の接遇
日本画	復元コロタイプ複製 尾形光琳筆風神 雷神図、酒井抱一筆夏秋草図屏風	1	京都工芸繊維大学 美術工芸資料館	「時を超えた伝統の技」(仮)
染織	「黒縮緬地檜松文様小袖」ほか	7	鳥取市歴史博物館	企画展「伊勢型紙の美」
日本画、彫刻	復元コロタイプ複製 尾形光琳筆風神 雷神図、酒井抱一筆夏秋草図屏風ほか	2	京都府文化スポーツ部文化政策課(京 都府立京都学・歴史館)	京都府立京都学・歴史館会館記念の展覧
染織	澁谷和子「すみれ」ほか	2	澁谷和子	「澁谷和子展」
日本画	辰巳寛「一力茶屋二階より」	1	辰巳寛(高島屋京都展、高島屋大阪店)	「舞妓を描く 辰巳寛日本画展」
日本画	中井浩一「芹王の流れ」	1	中井敦子(京都府立文化芸術会館)	中井浩一遺作展
				合計 21件 120点

### 2) その他

撮影・特別観覧

館蔵資料：撮影・利用 41 件 特別観覧 7 件 / 管理資料：撮影・利用 21 件 37 点 特別観覧 4 件 25 点

寄託資料一時持ち出し・貸与

寄託資料一時持ち出し・貸与					
	分野	資料名	点数	申請者	使用目的
館資料	考古	デンマーク石器コレクション	21	古代学協会	研究
	歴史	大島本源氏物語	3	古代学協会	研究
管理資料	染織	厚板唐織花車に胡蝶文唐織ほか	5	丸紅株式会社	研修
	歴史	天水引ほか	44	大船鉾保存会	祭礼
	歴史	緋威小札大鑑ほか	4	鞍馬火祭保存会	祭礼

# Ⅲ 展示活動

## Ⅲ- 1 総合展示

当館の「総合展示」は、リニューアル前の「常設展示」に替わって設けられた。いつ来館しても、同じテーマや内容に添った展示品を見ることが出来るという従来のいわゆる常設展示は、展示面積を縮小し、〈京の歴史〉ゾーンに集約された。そして、〈京の歴史〉ゾーンの内容と関連し、補完する機能をもった企画展示が、二つのゾーンで展観されている。

一つは、祇園祭など京の祭礼行事を紹介する〈京のまつり〉ゾーン、いま一つは京都の歴史や文化にかかわる名品類を中心とした〈京の至宝と文化〉ゾーンであり、展示内容やボリュームによって3階展示室も柔軟に利用しながら、それぞれ1ヶ月半～3ヶ月程度の期間で次々と展示内容を変え、実施されている。

「総合展示」の展示品は、館蔵資料、管理資料、寄託資料のほか、他の博物館や美術館などが所蔵している貴重な資料(国宝や重要文化財含む)であり、展示品数や規模は小さいものの、いわゆる特別展示の構成と変わらない。リニューアル後、大きな力点がおかれることになったのが「総合展示」であり、多様且つ奥深い京都文化を総合的に紹介できるように試みている。

### 1) 〈京の歴史〉ゾーン

本エリアは、平安京の成立から近代都市として脱皮を遂げた明治・大正期までの京の歴史を概観する展示である。展示構成としては、平安時代から江戸時代における都市・京都の姿を描いた絵画資料を用い、大画面でその様子を伝える「絵巻回廊」、通史的な都市形態の変遷をCGで叙述した「京のかたち」、時代ごとの政治的・文化史的な要素を豊富なグラフィックで紹介しながら実物資料を配置する各展示ケースで構成される。

狭小な展示スペースながら、隣接する「京のまつり」「京の至宝と文化」の各ゾーンで展開する展示活動の歴史的な核となるよう運用を行っている。



〈京の歴史〉ゾーン



「絵巻回廊」

【〈京の歴史ゾーン〉展示資料一覧】

	コーナー名	No.	資料名	員数	所蔵／寄託
	イントロダクション	1	平安時代の軒丸瓦 平安京跡出土	3点	〈* *〉
デジタル資料	絵巻回廊	2	駒競行幸絵巻	1点	和泉市久保惣美術館
		3	一遍上人絵伝	1点	東京国立博物館
		4	洛中洛外図屏風 歴博甲本	1点	国立歴史民俗博物館
		5	洛中洛外図屏風 歴博F本	1点	国立歴史民俗博物館
		6	古写真 八坂神社から見る四条通	1点	国際日本文化研究センター
	7	古写真 新京極の風景 昭和初期	1点	京都府立京都学・歴彩館	
	8	古写真 円山公園 明治末～大正期	1点	京都府立京都学・歴彩館	
	9	古写真 平安神宮地鎮祭余興 明治29年	1点	平安神宮	
	10	古写真 四条寺町をまがる船鉾	1点	京都府立京都学・歴彩館	
	11	古写真 大丸前を巡行する長刀鉾 大正2年頃	1点	京都府立京都学・歴彩館	
	12	動画 祇園祭風景 大正期	1点	大阪芸術大学映像復元プロジェクト	
	13	動画 時代祭風景 昭和8年	1点	〈* *〉	
	14	古写真 三代事業起工式 明治41年	1点	京都市上下水道局	
	15	古写真 疎水舟だまり風景 明治25年	1点	京都市上下水道局	
	16	古写真 東丸太町での水道管敷設 明治43年	1点	京都市上下水道局	
	17	古写真 四条烏丸を走る市電 大正初期	1点	京都府立京都学・歴彩館	
	18	古写真 ウィーン万国博覧会 日本参加団集合写真 明治7年	1点	有田町歴史民俗資料館	
	19	古写真 柳池小学校 明治20年頃	1点	京都府立京都学・歴彩館	
	20	古写真 英学校及び女紅場	1点	京都府立京都学・歴彩館	
	21	古写真 絵画専門学校授業風景 明治42年	1点	京都市立芸術大学 芸術資料館	
	22	古写真 京都帝国大学	1点	京都府立京都学・歴彩館	
	23	古写真 同志社大学クラーク記念館	1点	同志社社史資料センター	
	24	動画 京都駅など町並み 昭和5年頃	1点	〈* *〉	
	25	古写真 朱雀二条商店街の盛況 昭和35年頃	1点	世界人権問題研究センター	
		京のかたち	26	京都文化博物館近辺の土層はぎとり標本	1点
	平安京の造営	27	磚(敷瓦) 西賀茂瓦窯跡出土	18点	〈* *〉
28		鬼瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	2点	〈* *〉	
29		緑釉軒瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	5点	〈* *〉	
	平安貴族のくらしと文化	30	池亭記(複製資料)	1巻	〈* *〉
31		土器 雲林院跡出土	37点	〈* *〉	
32		緑釉陶器耳皿 雲林院跡出土	1点	〈* *〉	
33		中国製青磁碗 雲林院跡出土	1点	〈* *〉	
34		中国製白磁碗 雲林院跡出土	1点	〈* *〉	
	中世都市民の生活	35	常滑大甕 平安京左京五条三坊十五町跡出土	1点	〈* *〉
36		備前大甕 平安京左京三条三坊十一町跡出土	1点	〈* *〉	
37		中国製四耳壺 平安京左京八条三坊二町跡出土	1点	〈* *〉	
38		埋納銭 平安京左京八条三坊七町跡出土	一式	〈* *〉	
39		鑄造関連遺物(刀装具、仏具、鏡等) 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	〈* *〉	
40		中国製磁器 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	〈* *〉	
	近世町人のなりわい	41	金箔押瓦 聚楽第跡出土	4点	〈* *〉
42		京童	1冊	〈* *〉	
43		都名所図会	1冊	〈* *〉	
44		つぼつぼ	9点	〈* *〉	
45		でんぼ	1組	個人	
46		伏見人形 布袋	1点	〈* *〉	
47		伏見人形 饅頭喰い	2点	〈* *〉	
48		鏡師工房関連遺物 京都市下京区坂東屋町出土	一式	〈* *〉	
49		柄鏡	1点	〈* *〉	

※所蔵欄 〈\*〉印の資料は京都府(京都文化博物館管理)、〈\* \*〉印の資料は当館蔵



## 2) <京のまつり>ゾーン

### ① 祇園祭一月鉾の名宝

会 期：2016年4月16日(土)～6月26日(日)

前期展示：4月16日(土)～5月22日(日)

後期展示：5月25日(水)～6月26日(日)

概 要：「祇園祭に登場する山鉾の中でも最大規模を誇る鉾」

鉾の頭頂部にそびえ立つ天王座に月読尊を祀ることからこの名で呼ばれる月鉾は、祇園祭の山鉾の中でも全長重量ともに最大規模を誇り、その迫力に相応しい美しい装飾品が数多く伝来している。展示では、中国大陸伝来の絨毯と伝える「玉取獅子の図・斜め格子牡丹唐草図」の前懸と、「玉取獅子の図八角飾連額」と「玉取獅子の図幾何牡丹唐草図」の二点が継ぎとなった後懸、そして「鳳凰と牡丹に鶺鴒の図」を中央にして「蓬莱山四貝の図」を左右に配し

た朝鮮毛綴の胴懸を公開。また「下水引・緋羅紗地花鳥霊獣図刺繍 二番水引・金地鶏頭文様錦織 三番水引・紺地蜀江文様錦織」も公開した。そして月鉾の象徴でもある「元龜四年(1573)」の銘の入った三日月形の鉾頭や、大屋根に搭載される漆黒の八咫鳥と、その下方の妻飾の金波に兎が躍動する彫刻、また破風軒裏の円山応挙の手になる金地著彩の草花図、さらには天井の周囲には岩城九右衛門が筆をとった唐紙貼金地着彩の源氏五十四帖扇面散図を展示した。その他、新たに発見された国学者城戸千楯が天保6年(1835)に記した『月鉾天井画乃記』も展示した。

出品資料数：19点

担当者：橋本 章

#### 【「祇園祭一月鉾の名宝」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	員数	指定等	展示期間
1	前懸 玉取獅子の図・斜め格子牡丹唐草図	江戸時代中期	1 枚	重要有形民俗文化財	前期
2	胴懸 (右) 蓬莱山四貝の図 (中) 鳳凰と牡丹に鶺鴒の図 (左) 蓬莱山四貝の図	19世紀初頭 17世紀前半 19世紀初頭	2 枚	重要有形民俗文化財	後期
3	後懸 (右) 玉取獅子の図八角飾連額 (左) 玉取獅子の図幾何牡丹唐草図	江戸時代前期	1 枚	重要有形民俗文化財	後期
4	下水引 緋羅紗地花鳥霊獣図 二番水引 金地鶏頭文様錦織 三番水引 紺地蜀江文様錦織	江戸時代後期	4 枚	重要有形民俗文化財	前期
5	権銅製金鍍金 大筋屋勘右衛門作	元龜4年(1573)	1 点	重要有形民俗文化財	前期
6	鉾頭銅製金鍍金月形 大西屋勘右衛門作	元龜4年(1573)	1 点	重要有形民俗文化財	前期
7	鉾頭銅製金鍍金月形	正徳4年(1714)	1 点	重要有形民俗文化財	後期
8	鉾頭銅製金鍍金月形	文化8年(1811)	1 点	重要有形民俗文化財	後期
9	破風軒裏絵 金地著彩草花図 円山応挙筆	天明4年(1784)	4 枚	重要有形民俗文化財	通期(半期展示替え)
10	小天井 唐紙貼金地着彩 源氏五十四帖扇面散図 岩城九右衛門筆	天保6年(1835)	4 枚	重要有形民俗文化財	通期(半期展示替え)
11	妻飾 木彫漆箔著彩波に兎文様	天保6年(1835)	2 点	重要有形民俗文化財	前期
12	屋根飾 木彫「鴉文様」	天保6年(1835)	2 体	重要有形民俗文化財	後期
13	角飾房掛具 蝙蝠桃霊芝文様木彫漆箔	天保6年(1835)	4 点	重要有形民俗文化財	後期
14	見送裾飾金具 牡丹唐草丸文様飾金具付	天保6年(1835)	9 点	重要有形民俗文化財	後期
15	角飾金具 扇面に新月文様鍍金金具付	文政2年(1819)	8 点	重要有形民俗文化財	前期
16	角飾金具 桜花文様鍍金金具付	文政2年(1819)	8 点	重要有形民俗文化財	前期
17	角飾金具 波文様鍍金金具付	文政2年(1819)	8 点	重要有形民俗文化財	前期
18	くじ箱 扇文様		1 点		通期
19	城戸千楯「月鉾天井画乃記」(個人蔵)	天保6年(1835)	1 巻		通期

※出品した資料のうちNo.1～18は公益財団法人月鉾保存会の所蔵品。

※資料No.19城戸千楯「月鉾天井画乃記」は個人の所蔵品。

## ② 祇園祭—山鉾巡行の歴史と文化—

会 期：2016年7月2日(土)～7月31日(日)

概 要：「山鉾巡行の歴史と文化を紹介」

京の歴史の移り変わりとともに現代まで連続と受け継がれてきた祇園祭は、京都だけでなく日本を代表する祭礼として名高いものであり、国内はもとより遠く東アジアや中近東、そしてヨーロッパの美術工芸の粋が集結した、絢爛豪華な懸装品で装飾された山鉾は「動く美術館」とも称される。祇園祭は国の重要有形民俗文化財に指定されているほか、ユネスコの世界無形文化遺産にも登録されている。展示では、祇園祭における山鉾の歴史や文化につ

いて、江戸時代の古記録なども展示しながら、その魅力を紹介した。主な展示品は鶏鉾朝鮮毛綴後懸(日輪に番い鳳凰と梅に牡丹の図と、月に番い鳳凰と兔に牡丹草花の図の2点継ぎ1枚)や、放下鉾朝鮮毛綴後懸(番い鳳凰に鶴と鵲と牡丹の図と、玉取り親子獅子と虎と松に鵲の図と、玉取り親子獅子と山神の図3点継ぎ1枚)、『祇園御霊会細記』、『都名所図会』、『諸国年中行事大成』などである。

出品資料数：10点

担当者：橋本 章

### 【「祇園祭—山鉾巡行の歴史と文化—」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時 代	員数	文化財指定	所 蔵
1	鶏鉾後懸(2点継ぎ1枚) 日輪に番い鳳凰と梅に牡丹の図 朝鮮毛綴(2点継ぎの右) 月に番い鳳凰と兔に牡丹草花の図 朝鮮毛綴(2点継ぎの左)	17世紀初頭	1枚	重要有形民俗文化財	公益財団法人鶏鉾保存会
2	放下鉾後懸(3点継ぎ1枚) 番い鳳凰に鶴と鵲と牡丹の図 朝鮮毛綴(3点継ぎの左) 玉取り親子獅子と虎と松に鵲の図 朝鮮毛綴(3点継ぎの中) 玉取り親子獅子と山神の図 朝鮮毛綴(3点継ぎの左)	17世紀後半	1枚	重要有形民俗文化財	公益財団法人放下鉾保存会
3	『祇園御霊会細記』	宝暦7年(1757)	2冊		京都府(京都文化博物館管理)
4	『都名所図会』	安永9年(1780)	6冊		京都府(京都文化博物館管理)
5	『諸国年中行事大成』	文化3年(1806)	6冊		京都府(京都文化博物館管理)
6	菊水鉾巡行模型	昭和46年(1971)	一式		京都府(京都文化博物館管理)
7	月鉾模型	昭和時代	1基		京都府(京都文化博物館管理)
8	長刀鉾模型	昭和時代	1基		京都文化博物館
9	月鉾模型	明治時代	1基		京都文化博物館
10	長刀鉾鉾頭模型	昭和時代	1台		京都文化博物館

## ③ 祇園祭—南観音山の名宝—

会 期：2016年8月6日(土)～10月23日(日)

前期展示：8月6日(土)～9月11日(日)

後期展示：9月14日(水)～10月23日(日)

概 要：「音曲にゆかりある華やかな装飾に

彩られた山」

南観音山は別名を「下り観音山」とも呼ばれ、江戸時代には北観音山と隔年交代で祇園祭の山鉾巡行に参加していた。南観音山の本尊は病気の苦しみから人びとを救済する楊柳観音で、南観音山はその象徴である柳の枝を垂ら

して巡行に臨む。南観音山を飾る懸装品には躍動感あふれる意匠をもつ品が数多くあり、中でも塩川文麟が下絵を手掛けたという緋羅紗地四神文様刺繍の天水引や、土佐光孚による下絵を元にした金地舞楽図刺繍の下水引などは出色の品々。そのほか、幸野煤嶺らによる着色と伝える麒麟や仙女をかたどった破風飾や、南観音山の四角を飾る木彫漆箔の四君子薬玉角飾など、数々の名品によって彩られている。展覧会ではこれら優品を展示すると

共に、巡行を彩る祇園囃子の音曲を奏でる笛・摺り鉦・締め太鼓の各楽器類と、48の曲目を伝える楽譜を展示した。

出品資料数：14点  
担当者：橋本 章

【「祇園祭－南観音山の名宝－」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	員数	指定等	展示期間
1	前懸 中東連花葉文様 金銀糸入り ボロネーズ 絨毯	17世紀中期	1枚	重要有形民俗文化財	前期
2	後懸 斜め葉格子草花文様 インド絨毯	18世紀前期	1枚	重要有形民俗文化財	後期
3	見送 茶地日輪鳳凰額雲龍図 綴織	文政3年(1820)	1枚	重要有形民俗文化財	前期
4	見送 龍王渡海図 綴織 加山又造原画	昭和62年(1987)	1枚	重要有形民俗文化財	後期
5	天水引 緋羅紗地四神文様 刺繍 塩川文麟下 絵	安政5年(1858)	4枚	重要有形民俗文化財	後期
6	下水引 金地舞楽図 刺繍 土佐光孚下絵	文政元年(1818)	4枚	重要有形民俗文化財	前期
7	下水引 飛天奏楽図 加山又造原画	平成12年(2000)	4枚	重要有形民俗文化財	通期
8	破風飾 麒麟・仙女	明治21年(1888)	2体	重要有形民俗文化財	通期
9	木彫漆箔四君子文葉玉角飾 吉田雪嶺作	明治24年(1891)	4点	重要有形民俗文化財	通期
10	龍の丸文見送裾金具	昭和63年(1988)	10点	重要有形民俗文化財	前期
11	尾長鳥(旧)		1体	重要有形民俗文化財	前期
12	金幣 朱房金具台付き	明治41年(1908)	1対	重要有形民俗文化財	後期
13	祇園牛頭天王神号 九条尚忠書	万延元年(1860)	1幅		通期
14	囃子方楽器衣裳一式		一式		通期

※出品する資料は公益財団法人南観音山保存会の所蔵品。

④ 祇園祭－芦刈山の名宝－

会 期：2016年10月29日(土)～2017年1月15日(日)

前期展示：10月29日(土)～12月4日(日)

後期展示：12月7日(水)～1月15日(日)

概 要：「夫婦和合の物語「芦刈」に取材した

意匠をもつ山」

芦刈山は、「芦刈」という物語に取材した意匠を持つ山で、別れた夫と再会する妻の夫婦和合の姿がモチーフとなっている。芦刈山には数々の名品が伝えられているが、中でも特筆されるのが重要文化財の御神体衣裳「綾地締切蝶牡丹文片身替小袖」。白と黄色、そして萌黄の配色は美しく、襟裏には「天正十七己丑年六月吉日」という墨書銘が残っており、これは祇園祭に参加する全ての山鉦に現存する衣装の中でも最も古いものである。また芦刈山には、

欧州の風景を描いた4枚の毛綴を継いで作られた「欧風景」の前懸、中国の官僚の服の刺繍部分を仕立て直した「波濤に飛龍文様」の胴懸など、歴史を感じさせる名品が数多く伝わるほか、日本画家の山口華楊が母校の京都市立格致小学校に寄贈した作品を元にした前懸「凝視」や、平成4年と5年に尾形光琳の燕子花図を原画とした胴懸などを製作している。そのほか明治36年(1903)に河辺華拳の下絵を元に製作された「波に雁文様」の欄縁金具などもある。展示ではこれら優品を公開した。

出品資料数：24点  
担当者：橋本 章

【「祇園祭一芦刈山の名宝」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	員数	指定等	展示期間
1	綾地締切蝶牡丹文様片身替 小袖	天正17年(1589)	1領	重要文化財	前期
2	御神体衣裳 小袖		1領	重要有形民俗文化財	後期
3	萌葱紗上衣	昭和50年(1975)	1着	重要有形民俗文化財	後期
4	紺地雲龍文様綾地金襴 大口		1着	重要有形民俗文化財	後期
5	紺地龍木瓜巴文様刺繍帯	昭和61年(1986)	1本	重要有形民俗文化財	後期
6	見送 唐子嬉遊図	文政3年(1820)	1枚	重要有形民俗文化財	前期
7	見送 鳳凰と幻想動物に牡丹の図	16世紀後期	1枚	重要有形民俗文化財	後期
8	前懸 欧風景 毛綴	天保3年(1832)	1枚	重要有形民俗文化財	前期
9	前懸 「凝視」 山口華楊原画	昭和61年(1986)	1枚	重要有形民俗文化財	後期
10	胴懸 雲龍図中国刺繍	天保3年(1832)	2枚	重要有形民俗文化財	前期
11	胴懸 燕子花図 綴織 尾形光琳原画	平成5、6年(1993、1994)	2枚	重要有形民俗文化財	後期
12	見送飾金具 雁文様鍍金	文政3年(1820)	13点	重要有形民俗文化財	前期
13	角飾金具 芦丸文様鍍金	嘉永元年(1848)	4点	重要有形民俗文化財	前期
14	欄縁飾金具 波に雁文様鍍金	明治36年(1903)	一式	重要有形民俗文化財	前期
15	欄縁旧金具	文化14年(1817)	一式	重要有形民俗文化財	後期
16	御神体小物(中啓・鎌・芦)		各1点	重要有形民俗文化財	後期
17	芦	昭和45年(1970)	一式	重要有形民俗文化財	後期
18	三日月(新旧)		各1本	重要有形民俗文化財	前期
19	荷茶屋		1台		前期
20	闌箱		1箱		後期
21	祇園牛頭天王神号	表装 文政9年(1826)	1本		前期
22	扁額「芦刈山」上村松篁筆	昭和46年(1971)	1点		後期
23	「祇園会」明治五年壬申六月	明治5年(1872)	1点		後期
24	「祇園会」安政五年五月吉日	安政5年(1858)	1点		後期

※出品する資料は公益財団法人芦刈山保存会の所蔵品。

⑤ 祇園祭一岩戸山の名宝一

会 期：2017年1月21日(土)～4月2日(日)

前期展示：1月21日(土)～2月26日(日)

後期展示：3月1日(水)～4月2日(日)

概 要：「日本古来の神話を題材にした山」

日本国古来の神話「国生み」と「天の岩戸」の二つの神話を主題にした意匠を有しているのが岩戸山。応仁の乱より以前から祇園祭の巡行に参加していた岩戸山は、江戸時代に鉾の形を模した大屋根をつけたとされるなど、歴史ある由緒と祇園祭に登場する山鉾の移り変わりの様相を今に伝える山である。岩戸山の正面を飾る前懸は17世紀後半頃に中国の近辺で製織された「玉取獅子図に八角飾り連文額文様」の絨毯で、左右の胴懸には「変わり斜め格子花文様」で藍地と黄地のいずれも18世紀初頭

にインドで織られた絨毯が飾られる。また見送には「日月龍額唐子嬉遊図」の刺繍が施された品が伝わる。そして、岩戸山の大屋根の軒裏には、幕末から近代の京都で活躍した絵師の今尾景年が最晩年に手掛けた力作「金地四季草花図」を見ることが出来る。景年は切妻屋根の裏板にも絵筆を振るう予定であったが大正13年にこの世を去り、その後、弟子の中島華鳳がその仕事を受け継いで「鶴鴿図」を完成させている。そのほかにも岩戸山には、前後の大屋根の妻飾にそれぞれ素戔鳴尊と八岐大蛇の彫刻が施され、見る者を魅了する。展覧会ではこれらの品々を公開した。

出品資料数：17点

担当者：橋本章

【「祇園祭－岩戸山の名宝－」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	員数	指定等	展示期間
1	胴懸 変わり斜め格子花文様 藍地連花額 インド絨毯	18世紀初頭	1枚	重要有形民俗文化財	前期
2	胴懸 変わり斜め格子花文様 黄地連花額 インド絨毯	18世紀初頭	1枚	重要有形民俗文化財	前期
3	前懸 玉取獅子図 八角飾り連文額 中国近辺絨毯	17世紀後半	1枚	重要有形民俗文化財	後期
4	下水引 金地鳳凰瑞華彩雲岩に波文様 刺繍		1枚	重要有形民俗文化財	後期
5	二番水引 緋羅紗地宝相華文様 刺繍 三番水引 紺金地縞雲巴木瓜文様 綴織		1枚	重要有形民俗文化財	後期
6	天水引 緋羅紗地彩雲鳳凰文様刺繍	明治35年(1902)	1枚	重要有形民俗文化財	後期
7	見送 日月龍額唐子嬉遊図 綴織(新・旧)	(旧)江戸時代後期 (新)昭和60年(1985)	2枚	重要有形民俗文化財	通期
8	軒裏絵 金地四季草花図 今尾景年筆	大正7年(1918)	6枚	重要有形民俗文化財	通期
9	板地金泥着彩 鶴鴿図 中島華鳳筆	昭和6年(1931)	4枚	重要有形民俗文化財	通期
10	妻飾 木彫胡粉彩色 (前)「素戔鳴尊」／(後)「八岐大蛇」		2枚	重要有形民俗文化財	通期
11	角飾金具 源氏蝶型鍍金金具	明治25年(1892)	4点	重要有形民俗文化財	通期
12	見送裾飾金具 唐松岩文様鍍金金具	昭和60年(1985)	9点	重要有形民俗文化財	通期
13	鳥居 木製朱漆塗「岩戸山」神額 金銅製金具等付		一式	重要有形民俗文化財	前期
14	御幣 金幣串 木製黒漆塗雲龍文様鍍金金具付	金具：大正8年(1919)	1対	重要有形民俗文化財	後期
15	岩戸山扁額 山鹿清華筆	昭和46年(1971)	1枚		後期
16	「八坂皇大神」掛軸	昭和11年(1936)	1本		前期
17	岩戸山模型	明治21年(1888)	1基		通期

※出品する資料は公益財団法人南観音山保存会の所蔵品。



「祇園祭－岩戸山の名宝－」会場風景



「祇園祭－南観音山の名宝－」会場風景

### 3) <京の至宝と文化>ゾーン

#### ① 近代京都のすがた ーうつされた都ー

会 期：2016年4月9日(土)～6月5日(日)

担当者：西山 剛・植田彩芳子

前期展示：4月9日(土)～5月8日(日)

後期展示：5月10日(火)～6月5日(日)

概 要：幕末の動乱の後、京都はたくましく復興を遂げた。それと同時に近代化の波にさらされた京都はその姿を大きく変化させていく。この様子は当時の人々にどのように受け止められ、表象されていったのか。同時代を写した絵画や写真でその姿に迫った。

#### 【関連行事】

〔1〕ギャラリートーク

日時：4月15日(金)、5月13日(金)

午後6時～(30分程度)

場所：本館2階総合展示室内

担当：西山 剛・植田彩芳子

参加者数：それぞれ15名、6名

出品資料数：39件

#### 【「近代京都のすがた うつされた都」出品資料一覧】

##### 【絵画作品リスト】

作品名	作者	制作年	員数	材質技法	所蔵	期間
開智校写生図		明治10年(1877)頃	1巻	紙本着色	元開智小学校(京都市学校歴史博物館管理)	前期
嘉楽校之図	久保田米僊：原画	明治10年(1877)	1面	木版・紙	嘉楽中学校(京都市学校歴史博物館管理)	後期
琵琶湖疎水図誌	河田小龍	明治22～23年(1889～1890)	3帖	紙本墨画淡彩	京都府立総合資料館	頁替
京都新名所四季図屏風	森寛齋	明治6年(1873)	2曲1双	紙本淡彩	京都府(京都文化博物館管理)	前期
四条図屏風	幸野樸嶺	明治時代	2曲1隻	紙本着色	個人蔵	前期
四条河原納涼図	横山華溪	嘉永4年(1851)	1幅	絹本淡彩	京都府(京都文化博物館管理)	前期
平安百景 長岡春祠・深草秋梵図	望月玉泉	明治24年(1891)	2幅	絹本着色	京都府(京都文化博物館管理)	後期
平安百景 神楽春梅・東寺晚蓮図	望月玉泉	明治21年(1888)	2幅	絹本着色	個人蔵	後期
平安百景 幸橋雨中・神苑観雪図	望月玉泉	明治21～24年(1888～91)	2幅	絹本着色	個人蔵	後期
京都市立盲啞院之図	児玉兎三郎	明治時代	1面	絹本着色	京都府立盲啞院	通期
大原女図	伝・三島上龍	江戸時代後期	2幅	紙本着色	京都府(京都文化博物館管理)	前期
大原女図	吉原真龍	江戸時代後期	1幅	紙本着色	京都府(京都文化博物館管理)	後期
八坂神社図	山田文厚	明治時代	1幅	絹本淡彩	個人蔵	後期
八瀬風景	伊藤快彦	明治36年(1903)	1面	キャンバス・油彩	星野画廊	通期
妓女図	幸野樸嶺	明治6年(1873)	1幅	絹本着色	京都府(京都文化博物館管理)	前期
舞妓納涼図	吉原真龍	江戸時代後期	1幅	絹本着色	京都府(京都文化博物館管理)	後期
祇園夜桜図	岸竹堂	嘉永6年(1853)	1幅	絹本着色	京都府(京都文化博物館管理)	通期
円山夜桜之図	辻愛蔵	昭和5年(1930)	1面	キャンバス・油彩	星野画廊	通期

##### 【写真作品リスト】

タイトル	撮影者	資料区分	撮影年次	所蔵	期間
疏水	黒川翠山	黒川翠山撮影写真資料	明治初期	京都府立京都学・歴史館	通期
集書院		旧一号書庫写真資料	明治初期	京都府立京都学・歴史館	通期
明治七年架設の四条大橋		旧一号書庫写真資料	明治初期	京都府立京都学・歴史館	通期
円山温泉		旧一号書庫写真資料	明治初期	京都府立京都学・歴史館	通期
京都市立盲啞院		旧一号書庫写真資料	明治末期～大正初期	京都府立京都学・歴史館	通期
大原女	黒川翠山	黒川翠山撮影写真資料		京都府立京都学・歴史館	通期
八瀬の里	黒川翠山	黒川翠山撮影写真資料		京都府立京都学・歴史館	通期
祇園石段下		矢野家写真資料		京都府立京都学・歴史館	通期
祇園祭	黒川翠山	黒川翠山撮影写真資料		京都府立京都学・歴史館	通期
祇園祭 四条寺町角をいく函谷鉾	黒川翠山	黒川翠山撮影写真資料		京都府立京都学・歴史館	通期
方広寺の大鐘		矢野家写真資料		京都府立京都学・歴史館	通期
舞妓	黒川翠山	黒川翠山撮影写真資料		京都府立京都学・歴史館	通期
舞妓	黒川翠山	黒川翠山撮影写真資料	大正末	京都府立京都学・歴史館	通期
円山公園 雪	黒川翠山	黒川翠山撮影写真資料		京都府立京都学・歴史館	通期
円山公園 花見	黒川翠山	黒川翠山撮影写真資料		京都府立京都学・歴史館	通期
三条大橋	黒川翠山	黒川翠山撮影写真資料	大正～昭和	京都府立京都学・歴史館	通期
巨椋池でのデンチ漁	黒川翠山	黒川翠山撮影写真資料	大正	京都府立京都学・歴史館	通期
河原町四条	黒川翠山	黒川翠山撮影写真資料	昭和11年頃	京都府立京都学・歴史館	通期
琵琶湖疎水工事写真帖 一冊				京都府立京都学・歴史館	頁替
撮影鑑 一冊			明治14年(1881)年刊	京都府立京都学・歴史館	頁替
写真集 おもかげ				京都府立京都学・歴史館	頁替

※近代写真画像は京都学・歴史館HP「京の記憶アーカイブ」より提供。

② ものがたる染織文化財

会 期：2016年6月11日(土)～8月7日(日)  
 前期展示：6月11日(土)～7月10日(日)  
 後期展示：7月12日(火)～8月7日(日)  
 概 要：かつて衣服や生活用品として人々の身の回りを彩っていた染織文化財の多くは、再利用されたり廃棄されたりして後世に残ることは少なく、あったとしても着用者や制作年代の手がかりが残されることは稀であるが、小袖などは着用者の死後、子孫により寺社に奉納されて残ることがあり、奉納された年代から、それらの小袖の制作年代の下限を知ることができる。本展覧会では、京都府の収蔵品及び寄託品の染織文化財から、年代の記された小

袖や小袖裂、打敷などの資料および墨書や書付等より制作年代がある程度推測できる小袖裂など16件24点を紹介した。

出品資料数：16件24点  
 担当者：林 智子

【関連行事】

〔1〕ギャラリートーク  
 日時：7月8日(金)、7月22日(金)  
 午後6時～(30分程度)  
 場所：本館2階総合展示室内  
 担当：林 智子  
 参加者数：それぞれ7名、7名

【「ものがたる染織文化財」出品資料一覧】

番号	作品名	制作年代	展示期間	備考
1	島取りに柳文様裂	桃山時代	前期	丸紅株式会社所蔵
2	松皮菱取りに草花短冊文様裂	桃山時代	後期	
3	立涌に草花文様裂	桃山時代	前期	
4	霞取りに柏文様裂	桃山時代	通期	
5	扇面草花文様帷子	宝永2年(1705)6月銘	通期	
6	秋草文様帷子	享保5年(1720)5月銘	通期	
7	襷と菊青海波に梅文様振袖	享保15年(1730)12月銘	後期	
8	打敷(流水蔦文様帷子裂)	宝暦10年(1760)9月銘	通期	
9	袷袢(牡丹藤源氏車文様裂)	江戸時代後期	通期	
10	雪輪草花文様裂	安政7年(1860)3月銘	通期	
11	鶴文様着物	明治時代	通期	
12	桜花文様下着	明治時代	通期	
13	帯留	明治時代～大正時代	通期	
14	鯉文様裂ほか	江戸時代後期～明治時代	通期	
15	板締裂仏供米袋	明治時代	通期	
16	紅板締型板 桜花文様ほか	明治時代～昭和時代	通期	

③洛陽三十三所2—縁起と尊像—

会 期：2016年6月11日(土)～8月7日(日)  
 前期展示：6月11日(土)～7月10日(日)  
 後期展示：7月13日(水)～8月7日(日)  
 概 要：平安時代以降、西国三十三所等の観音菩薩巡礼が盛んとなり、京都(洛陽)においても三十三の観音を対象とする巡礼が行なわれるようになった。応仁の乱や明治維新による衰退もあ

ったが、平成17年(2005)に平成洛陽三十三所観音霊場会が結成され、再興されることとなった。今年度は、再興から10周年を迎えた2015年度の展示に引き続き、寺院の来歴や霊験を物語る縁起・古文書と仏画・肖像画の名品を中心に、七つの札所の名宝を展示した。

協 力：平成洛陽三十三所観音霊場会

出品資料数：21件  
担当者：長村祥知

参加者数：30名  
〔2〕ギャラリートーク  
日時：7月1日(金)、8月5日(金)  
午後6時～(30分程度)  
場所：本館2階総合展示室内  
担当：長村祥知  
参加者数：それぞれ 8名、12名

【関連行事】

〔1〕開白記念法要

日時：6月11日(土)  
午前10時30分～  
場所：本館2階総合展示室内

【「洛陽三十三所2—縁起と尊像—」出品資料一覧】

番号	名 称	作者等	時 代	員数	所 蔵	展示期間
1	観慶寺勸進帳		江戸時代 寛永9年(1632)	1巻	大蓮寺	通期
2	旧祇園観慶寺欄干		桃山時代	1台	大蓮寺	通期
3	十王図	陸信忠画	中国・南宋時代	10幅	六波羅蜜寺	前期
4	目病地藏尊縁起略(仲源寺縁起 天正本)		安土桃山時代 天正16年(1588)	1巻	仲源寺	前期
5	仲源寺古縁起(仲源寺縁起 元禄本)		江戸時代 寛永3年(1626)	1巻	仲源寺	後期
6	木造板倉勝重坐像		江戸時代	1躰	長圓寺	通期
7	長円寺史	公月歳子筆	昭和時代	1冊	長圓寺	通期
8	十一面観音像		鎌倉時代	1幅	壬生寺	後期
9	両界曼荼羅図		鎌倉時代	2幅	壬生寺	後期
10	壬生寺勸進帳	青蓮院尊朝法親王筆	安土桃山時代 天正4年(1576)	1巻	壬生寺	前期
11	壬生寺勸進帳		安土桃山時代	1巻	壬生寺	後期
12	豊臣秀吉朱印状		安土桃山時代 天正17年(1589)	1通	壬生寺	前期
13	徳川家康黒印状		江戸時代 元和元年(1615)	1通	壬生寺	後期
14	地藏菩薩・不動明王像		鎌倉時代	1幅	福勝寺	後期
15	足利義晴御教書	飯尾元運筆	室町時代 天文12年(1543)	2幅	福勝寺	後期
16	一行書「観世音菩薩」	後西天皇宸翰	江戸時代	1幅	福勝寺	後期
17	鏡君三才御影		江戸時代 宝永6年(1709)	1幅	福勝寺	後期
18	宝寿院譲状		室町時代 大永元年(1521)	1通	福勝寺	通期
19	六角氏奉行人連署禁制		室町時代 永禄4年(1561)	1通	福勝寺	通期
20	十二天像(旧北野社多宝塔扉絵)		江戸時代 慶長12年(1607)か	2面	椿寺地藏院	通期
21	寿経光院宮(尊統入道親王)像		江戸時代	1幅	椿寺地藏院	後期

Ⅲ-1 総合展示 ▶ 3)〈京の至宝と文化〉ゾーン

④ 世界考古学会議京都(WAC-8)開催記念 京都府内の学校所蔵考古・歴史資料展

会 期：2016年8月13日(土)～10月10日(月・祝)  
概 要：「世界考古学会議(WAC-8)」の京都開催を記念して、日本でユニークに発展してきた「学校主体の考古学」の歴史や現状について京都の事例を紹介し、あわせて京都府内の学校が現在も保管している考古・歴史関連資料についてその来歴や価値について紹介した。また京都府立鴨沂高等学校の京都文化コースと連携して、展示パネルづくりや高校生による展示案内などの催事を実施した。  
共 催：特定非営利活動法人 WAC Japan、世界考古学会議第8回京都大会実行委員会

協 力：京都府立鴨沂高等学校  
後 援：京都府教育委員会、京都市教育委員会  
出品資料数：22件  
担当者：村野正景

【関連行事】

〔1〕京都府立鴨沂高等学校生徒による展示案内  
日時：9月16日(金)、10月7日(金)  
いずれも午後1時30分～  
30分程度の案内を3回  
場所：本館2階総合展示室内



担当：京都府立鴨沂高等学校京都文化コース  
村野正景

参加者数：それぞれ 69名、80名

〔2〕ワークショップ「真弧。マコ？ Mako!!  
～考古学のヒミツ道具～」

日時：8月28日(日) 午前10時～午後5時

場所：別館2階講義室

担当：考古学徒+ちやいれじ

(鈴木康二・中村智孝<公益財団法人 滋賀県  
文化財保護協会>)

参加者数：98名

〔3〕ギャラリートーク

日時：8月24日(水)、9月14日(水)

いずれも午後2時～(30分程度)

場所：本館2階総合展示室内

担当：村野正景

参加者数：それぞれ 5名、6名

### 【「京都府内の学校所蔵考古・歴史資料展」出品資料一覧】

番号	資料名	時代	保管
1	横地石太郎氏関連考古資料	古墳時代	京都府立鴨沂高等学校
2	法成寺跡出土資料	平安時代	京都府立鴨沂高等学校
3	鴨沂高校地歴部関連考古資料	縄文～平安時代	京都府立鴨沂高等学校
4	地理歴史研究会会誌『史索』第7号	昭和35年	京都府立鴨沂高等学校
5	模型類	大正～昭和時代	京都府立鴨沂高等学校
6	絵葉書	明治～昭和時代	京都府立鴨沂高等学校
7	洛東高校本山科古図	江戸時代	京都府立洛東高等学校
8	宮ノ平古墳群出土考古資料	古墳時代	京都府立城陽高等学校
9	城陽高校新聞	昭和時代	京都府立城陽高等学校
10	『宮ノ平古墳群』教授用小冊子	昭和52年	京都府立城陽高等学校
11	宮ノ平古墳模型	昭和時代	京都府立城陽高等学校
12	奉安塚古墳出土の馬具類	古墳時代	京都府立福知山高等学校
13	福知山高校資料室収蔵品目録 考古資料編	平成元年	個人蔵
14	園部出土の考古資料	古墳時代	京都府立園部高等学校
15	園部高校日本歴史クラブ『城跡』第4号	昭和29年	京都府立園部高等学校
16	伏見板橋小学校校地出土の考古資料	古墳～江戸時代	京都市立伏見板橋小学校
17	校地近辺採集の軒瓦	平安時代	京都市立松ヶ崎小学校
18	石山・滋賀里遺跡出土資料	縄文時代	龍谷大学付属平安高等学校
19	船橋遺跡出土資料	奈良時代	龍谷大学付属平安高等学校
20	陶邑窯址出土資料	古墳時代	龍谷大学付属平安高等学校
21	平安学園考古クラブ発行の発掘報告書	昭和時代	個人蔵
22	伝・桃山城出土の金箔瓦	桃山時代	京都教育大学附属桃山小学校

### ⑤ 京都府蔵池大雅美術館コレクション 池大雅

会 期：2016年10月15日(土)～12月11日(日)

概 要：池大雅は、江戸時代中期の京都に生きた文人  
画の巨匠の一人である。本展示では、池大雅  
美術館より寄贈され現在京都府が収蔵する池  
大雅の書画および関連資料のなかから、特に  
「高士訪隠図屏風」を中心に、大雅のすぐれた  
書画作品を展示した。

出品資料数：14件

担当者：森 道彦

#### 【関連行事】

〔1〕ギャラリートーク

日時：11月25日(金) 午後6時～(20分程度)

場所：本館2階総合展示室内

担当：森 道彦

参加者数：15名

【「池大雅」展 出品資料一覧】

番号	作者	作品・資料名	制作期	所蔵
1	杲堂元昶	墨蹟 示池野又次郎童子偈	享保14年(1729)	京都府(京都文化博物館管理)
2	池 大雅	考工記図解	延享2年(1745)	京都府(京都文化博物館管理)
3	池 大雅	高士訪隠図屏風	寛延3年(1750)	京都府(京都文化博物館管理)
4	池 大雅	三酸図	江戸時代中期	京都府(京都文化博物館管理)
5	池 大雅	寿老人像	江戸時代中期	京都府(京都文化博物館管理)
6	池 大雅	伯牙弹琴図	江戸時代中期	京都府(京都文化博物館管理)
7	池 大雅	墨竹蕙石図	江戸時代中期	京都府(京都文化博物館管理)
8	池 大雅	王羲之書扇図	江戸時代中期	京都府(京都文化博物館管理)
9	池 大雅	慶子老舞踊図	江戸時代中期	京都府(京都文化博物館管理)
10	池 大雅	白衣観音像	江戸時代中期	京都府(京都文化博物館管理)
11	池 大雅	般若心経	江戸時代中期	京都府(京都文化博物館管理)
12	池 大雅	唐詩細楷	江戸時代中期	京都府(京都文化博物館管理)
13	池 大雅	唐詩帖	江戸時代中期	京都府(京都文化博物館管理)
14	池 大雅	蘭亭詩	江戸時代中期	京都府(京都文化博物館管理)

⑥ 近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝6

会 期：2016年10月15日(土)～12月11日(日)  
 前期展示：10月15日(土)～11月13日(日)  
 後期展示：11月16日(水)～12月11日(日)

協 力：公益財団法人陽明文庫  
 出品資料数：28件  
 担当者：長村祥知

概 要：陽明文庫は、近衛家に伝わった平安時代以来の貴重な資料を数多く所蔵している。本展では、「"こころ"を記す 一和歌懐紙と詩懐紙一」をテーマに、作文会の漢詩や和歌会の和歌に用いられた懐紙、『類聚歌合』等の韻文資料、『御堂関白記』『春日権現霊験記絵巻』等を展示して、近衛家に伝わった王朝文化の世界を紹介した。

【関連行事】

〔1〕ギャラリートーク

日時：11月25日(金)午後6時～(30分程度)  
 場所：本館2階総合展示室内  
 担当：長村祥知  
 参加者数：15名

【「陽明文庫の名宝6」展 出品資料一覧】

番号	指定等	資料名	筆者等	制作期	員数	会期
1	国宝	御堂関白記 自筆本 寛弘六年下巻	藤原道長筆	平安時代 寛弘6年(1009)	1巻	前期
2	国宝	御堂関白記 古写本 寛弘元年巻		平安時代 11世紀	1巻	前期
3	国宝	御堂関白記 自筆本 寛弘元年上巻	藤原道長筆	平安時代 寛弘元年(1004)	1巻	後期
4	国宝	御堂関白記 古写本 長和四年巻	藤原師実等筆	平安時代 11世紀	1巻	後期
5		春日権現霊験記絵巻 巻第十六	詞書：近衛家熙筆 絵：渡辺始興画	江戸時代 享保20年(1735)	1巻	通期
6		春日権現霊験記絵巻 巻第十八	詞書：近衛家熙筆 絵：渡辺始興画	江戸時代 享保20年(1735)	1巻	通期
7	国宝	熊野懐紙「古溪冬朝・寒夜待春」	藤原家隆筆	鎌倉時代 正治2年(1200)	1幅	前期
8	国宝	熊野懐紙「古溪冬朝・寒夜待春」	寂蓮筆	鎌倉時代 正治2年(1200)	1幅	後期
9	重要美術品	詩懐紙「花中偏愛菊」	後奈良天皇宸翰	室町時代 16世紀	1幅	通期
10	重要美術品	和歌懐紙 「花色映月・無風花散・忍経年恋」	後奈良天皇宸翰	室町時代 16世紀	1幅	通期
11	重要美術品	和歌懐紙「竹不改色」	正親町天皇宸翰	室町時代 16世紀	1幅	通期

12	重要美術品	和歌懐紙「五月雨・寄神祝」	後陽成天皇宸翰	安土桃山時代—江戸時代 16-17世紀	1幅	通期
13	重要美術品	和歌懐紙「池岸有松鶴」	後西天皇宸翰	江戸時代 17世紀	1幅	通期
14	重要美術品	和歌懐紙「籬菊露芳」	靈元天皇宸翰	江戸時代 延宝7年(1679)	1幅	通期
15	重要美術品	和歌懐紙「禁中佳趣」	中御門天皇宸翰	江戸時代 享保10年(1725)	1幅	通期
16		詩懐紙「花迎文翰眞」	近衛尚通筆	室町時代 永正6年(1509)	1幅	通期
17		和歌懐紙「山時雨・野外冬草・逢増恋」	近衛尚通筆	室町時代	1幅	通期
18		和歌懐紙「くれ竹の」	中御門天皇宸翰	江戸時代 18世紀	1幅	通期
19		和歌懐紙「寄道祝世」	桜町天皇宸翰	江戸時代 18世紀	1幅	通期
20		懐紙手鑑	近衛忠熙筆	江戸時代 19世紀	1帖	通期 (丁替え)
21	重要文化財	十卷本歌合 歌合序	伝宗尊親王筆	平安時代 11世紀	1巻	前期
22	重要文化財	十卷本歌合 論春秋歌合	伝宗尊親王筆	平安時代 11世紀	1巻	後期
23	国宝	類聚歌合(廿卷本歌合) 卷第八		平安時代 12世紀	1巻	前期
24	国宝	類聚歌合(廿卷本歌合) 卷第十		平安時代 12世紀	1巻	後期
25	重要文化財	猪熊閑白記 承元四年夏記 紙背 詩懐紙		鎌倉時代 13世紀	1巻	前期
26	重要文化財	猪熊閑白記 承元元年秋記 紙背 詩懐紙		鎌倉時代 13世紀	1巻	後期
27	重要文化財	猪熊閑白記 承元二年春記 紙背 詩懐紙		鎌倉時代 13世紀	1巻	前期
28	重要文化財	猪熊閑白記 承元二年夏記 紙背 詩懐紙		鎌倉時代 13世紀	1巻	後期

## ⑦ 日本の表装 — 掛軸の歴史と装い —

会 期：2016年12月17日(土)～2017年2月19日(日)  
 前期展示：12月17日(土)～1月15日(日)  
 後期展示：1月17日(火)～2月19日(日)

概 要：日本では古くから掛軸表装の文化が高度に発達し、現代に多くの文化財を伝え残してきた。本展示は京都大学総合博物館と連携実施した「日本の表装」と題する企画展示で、京都府の収蔵品を中心に関西の様々な資料も併せて展覧し、掛軸の仕立てに込められた技術と美意識の歴史を幅広く紹介した。

主 催：京都府、京都大学総合博物館、京都文化博物館、一般社団法人 国宝修理装演師連盟

後 援：京都府教育委員会、京都市教育委員会、公益財団法人京都古文化保存協会

協 力：京都府教育庁指導部文化財保護課、京都府立大学文学部歴史学科

出品資料数：96件  
 担当者：森 道彦

### 【関連行事】

〔1〕シンポジウム 「表装と日本文化」  
 日時：12月18日(日) 午前10時20分～午後5時  
 場所：別館ホール

パネリスト：板倉聖哲氏(東京大学東洋文化研究所)、岩崎奈緒子氏(京都大学総合博物館)、門脇むつみ氏(美術史家)、高田智仁氏(大東文化大学人文科学研究所)、谷口耕生氏(奈良国立博物館)、中野慎之氏(京都府教育庁指導部文化財保護課)、森道彦(当館学芸員)※五十音順

参加者数：180名

### 〔2〕子ども教室 「ミニ掛軸を作ろう！」

日時：1月29日(日)  
 午前10時30分～午後12時30分

場所：本館2階総合展示室内研修室

担当：森 道彦

参加者数：子ども11名、大人9名

### 〔3〕ギャラリートーク

日時：12月22日(木)午後6時～  
 1月29日(日)午後2時～  
 2月12日(日)午後2時～(各日30分程度)

場所：本館2階総合展示室内

担当：森 道彦

参加者数：それぞれ20名、30名、40名

【「日本の表装」展 出品資料一覧】

番号	指 定	作者・筆者など	作品名	制作期	所 蔵
1		中村元麻呂	菩薩像幡模写	近代(20世紀) *中国・五代(10世紀)原本	京都大学文学研究科美術史学研究室
2		長谷川路可	菩薩像幡模写	近代(20世紀) *中国・唐時代(9世紀)原本	京都大学文学研究科美術史学研究室
3		今野啓介	報恩経変相図模写	近代(20世紀) *中国・唐時代(8世紀)原本	京都大学文学研究科美術史学研究室
4		今野啓介	大悲救苦観音菩薩像模写	近代(20世紀) *中国・唐時代 大順三年(892)原本	京都大学文学研究科美術史学研究室
5	重要文化財		兵範記 巻六	平安時代(12世紀)	京都大学附属図書館
6			年中行事絵巻模本 真言院御修法	江戸時代(19世紀) *平安時代(12世紀)原本	京都府(京都文化博物館管理)
7			鳥獣戯画模本 丙巻	江戸時代(17~19世紀) *平安時代(12世紀)原本	京都・仁和寺
8			八幡曼荼羅図(篝火御影) 旧表装	鎌倉~室町時代 (13~14世紀)	京都・石清水八幡宮
9			仏眼仏母像旧表装	南北朝~室町時代(14世紀)	京都・石清水八幡宮
10			旧石清水社大乗院什宝櫃	南北朝時代 応安元年(1368)	京都・石清水八幡宮
11	重要文化財		虚空蔵菩薩像・大黒天像・雨 宝童子像(大威徳明王像納入 品のうち)	室町時代(15世紀)	京都・大覚寺
12			大威徳明王像	鎌倉時代(14世紀)	奈良国立博物館
13	重要文化財		山王宮曼荼羅図	鎌倉~南北朝時代(14世紀)	奈良国立博物館
14			宇多法皇像	室町時代(15世紀)	京都・仁和寺
15			刺繍阿弥陀如来立像	南北朝時代(14世紀)	奈良・長岳寺
16			刺繍阿弥陀名号(矢違名号)	室町時代(14~15世紀)	京都・誓願寺
17			阿弥陀三尊来迎図	鎌倉~南北朝時代 (13~14世紀)	
18			不動利益縁起絵巻模本	江戸時代(18~19世紀) *鎌倉時代(14世紀)原本	京都府(京都文化博物館管理)
19			小野篁像模本	江戸時代(19世紀)	京都大学総合博物館
20	重要文化財	後宇多法皇	高雄曼荼羅御修復記	鎌倉時代 延慶2年(1309)	京都・大覚寺
21			阿弥陀浄土曼荼羅図旧軸木	鎌倉時代 永仁7年(1299)	京都・海住山寺
22			マリア十五玄儀図旧裏打紙	江戸時代(17世紀)	京都大学総合博物館
23		日蓮	日蓮曼荼羅本尊	鎌倉時代 建治2年(1276)	京都・本満寺
24	重要文化財		日朗書状および旧軸木	鎌倉時代 正和3年(1314)	京都・妙顕寺
25			冷泉家系図	室町~江戸時代 (16~17世紀)	京都府(京都文化博物館管理)
26			時慶卿記	江戸時代(18世紀) *桃山~江戸時代 (16~17世紀)原本	京都府立京都学・歴彩館
27			東山天皇紫衣勅許繪旨	江戸時代 元禄9年(1696)	京都・瑞泉寺
28			一の台局辞世和歌懐紙	桃山時代(16世紀)	京都・瑞泉寺
29			後西天皇紫衣勅許繪旨	江戸時代 明暦4年(1658)	京都・誓願寺
30			斎藤春隆禁制	室町時代 天文18年(1549)	京都・誓願寺
31			伊勢貞宗書状	室町時代(16世紀)	京都・誓願寺
32			山科言継書状	室町時代(16世紀)	京都・誓願寺
33			織田信長禁制	室町時代 永禄11年(1568)	京都・誓願寺
34		伝 京極勝秀	五首和歌	江戸時代(17世紀)	京都・誓願寺
35			三好政生書状	室町時代(16世紀)	京都府(京都文化博物館管理)
36			祇園会定	江戸時代 享保10年(1725)	
37		日遠	日遠曼荼羅本尊	江戸時代・寛永2年(1625)	
38			圓了院道清日喜像	江戸時代 寛永19年(1642)	
39		千切屋雄貞	千切屋おぼえ	江戸時代(17世紀)	京都・株式会社千總
40			勧修寺経逸像	江戸時代(18世紀)	京都大学総合博物館
41		伝 浮田一蕙	祐宮像	江戸時代 安政6年(1859)頃	京都府(京都文化博物館管理)
42		森寛斎	人体的異人図	江戸時代 元治元年(1864)	京都大学附属図書館
43			表彰状	近代 明治10年(1877)	京都府(京都文化博物館管理)
44			歴代名画記(写本)	江戸時代(18~19世紀) *唐時代 大中元年(847)成立	京都大学文学研究科中国文学研究室
45		土佐行広	妙音天像	室町時代 応永14年(1407)	京都・仁和寺

46		伝 牧谿	布袋図	中国・南宋時代(13世紀)	京都国立博物館
47	重要文化財	大川普濟 賛 梁楷	布袋図	中国・南宋時代(13世紀)	兵庫・香雪美術館
48	重要文化財	牧谿	柿図・栗図	中国・南宋時代(13世紀)	京都・龍光院
49	国宝	李迪	雪中帰牧図	中国・南宋～元時代 (13～14世紀)	奈良・大和文華館
50		後柏原天皇	宸翰 三首和歌懐紙	室町時代(16世紀)	立命館大学アトリサーチセンター
51			君台観左右帳記(写本)	江戸時代(18～19世紀) *室町時代(15世紀)成立	京都府(京都文化博物館管理)
52	国宝		千利休書状	桃山時代 天正5～9年(1577～81)頃	京都・龍光院
53			古田織部書状	桃山～江戸時代(16～17世紀)	京都大学総合博物館
54		無隠宗喜	織部百箇条(写本)	江戸時代(17世紀)	京都・龍光院
55		東叟元愷 賛	朝陽図	中国・南宋時代(13世紀)	京都国立博物館
56		松花堂昭乗	菊図・水仙図・牡丹図	江戸時代(17世紀)	京都・龍光院
57		自賛	春屋宗園頂相	江戸時代(17世紀)	京都大学総合博物館
58		翠巖宗珉 賛	小堀遠州像	江戸時代(17世紀)	京都府(京都文化博物館管理)
59	重要文化財	南浦紹明	墨蹟 示円妙禅尼法語	鎌倉時代 徳治2年(1307)	京都・龍光院
60			茶湯三百箇条(写本)	江戸時代(18～19世紀) *江戸時代(17～18世紀)成立	京都大学大学院工学研究科建築学 専攻
61		後水尾上皇 賛 錦小路頼庸	雪中書院図	江戸時代(17世紀)	京都・教王護国寺
62			明恵書状	鎌倉時代(12～13世紀)	
63		後柏原天皇	宸翰 古歌	室町時代(16世紀)	
64		後水尾天皇	宸翰 和歌懐紙	江戸時代(17世紀)	
65			裂帖	江戸時代(17～19世紀)収集	
66		近衛家熙	槐記(写本)	江戸時代(18世紀)	京都・陽明文庫
67		藤原定家	和歌詠草 泊瀬山	鎌倉時代(13世紀)	京都・陽明文庫
68			足利義植書状	室町時代(16世紀)	京都・陽明文庫
69			表具裂類	江戸時代(17～18世紀)収集	京都・陽明文庫
70		近衛家熙 賛	飯尾宗祇像	江戸時代 元禄11年(1692)	京都大学総合博物館
71		一乗院宮真敬 法親王 賛 照山元瑤	後水尾法皇像	江戸時代 宝永元年(1704)	京都・泉涌寺
72		林守篤	画筌	江戸時代 正徳2年(1712)	京都・龍谷大学図書館
73			座敷飾絵図	江戸時代(18～19世紀)	京都府立京都学・歴彩館
74		英一蝶	關達風流図巻	江戸時代(18世紀)	
75		富小路貞直	表具之式	江戸時代 寛政8年(1796)	京都大学附属図書館
76		傳山	墨竹図	中国・清時代(17世紀)	
77		王翬	贈高陽先生小景図	中国・清時代 康熙37年(1698)	京都国立博物館
78			南瓜に双鶏図	江戸時代(18世紀)	
79		紀梅亭	外法梯子剃図	江戸時代(18～19世紀)	大津市歴史博物館
80		田能村直入	南画津梁	近代 明治23年(1890)頃	京都府(京都文化博物館管理)
81		愚極智慧 賛	緋画楊柳観音像	中国・元時代(13～14世紀)	京都国立博物館
82			竹屋町織掛軸架鷹図	江戸時代(17～18世紀)	滋賀・正明寺
83			竹屋町織掛軸鷹図	江戸時代 元禄5年(1692)頃	
84		林瀬平	織物掛軸竹に鶴図	江戸時代(18世紀)	京都・財団法人西陣織物館
85			友禅染掛軸花鳥図	江戸時代(19世紀)	東京・丸紅株式会社
86			刺繍涅槃仏(刺繍仏涅槃図の うち)	江戸時代 元禄4年(1691)	京都・三寶寺
87			地理図	江戸時代(18世紀)	京都大学総合博物館
88		山東京伝 編	骨董集	江戸時代 文化11年(1814)	京都府立京都学・歴彩館
89			大津絵 天神像	江戸時代(17世紀)	
90		伝 円山応挙	幽霊図	江戸時代(19世紀)	京都府(京都文化博物館管理)
91		早藤春英	雛角力図	江戸時代(19世紀)	京都府(京都文化博物館管理)
92			卒塔婆觸體図	江戸時代 文政13年(1830)	京都府(京都文化博物館管理)
93		島田雅喬	天保踊図	江戸時代 天保10年(1839)頃	京都府(京都文化博物館管理)
94		勝山琢如	大黒天図	江戸時代 安政6年(1859)	京都府(京都文化博物館管理)
95		歌川国貞	三代目中村歌右衛門死絵	江戸時代 天保9年(1838)	立命館大学アトリサーチセンター
96		歌川豊国	四代目尾上菊五郎死絵	江戸時代 万延元年(1860)	立命館大学アトリサーチセンター

## ⑧ 京都府コレクションにみる武家の服飾

会 期：2017年2月25日(土)～4月23日(日)  
 前期展示：2月25日(土)～3月26日(日)  
 後期展示：3月28日(火)～4月23日(日)

概 要：京都府コレクションには吉川観方コレクショ  
 ンを中心に武家の服飾文化を示す資料が多数  
 みられるが、これらのうち、女性の小袖につ  
 いてはこれまで展示などにおいて紹介されて  
 きたが、素襖や袴といった男性の服飾資料は  
 紹介の機会が少なく、十分に活用されてきた  
 とはいいがたかった。本展では、京都府の収  
 蔵品から、武家の男性の服飾文化に関わる資  
 料を中心に17件23点を紹介した。

出品資料数：17件23点  
 担当者：林 智子

## 【関連行事】

## 〔1〕ギャラリートーク

日時：4月1日(土)、4月22日(土)  
 午後2時～(30分程度)

場所：本館2階総合展示室内

担当：林 智子

参加者数：それぞれ7名、2名

## 【「京都府コレクションにみる武家の服飾」展 出品資料一覧】

番号	作品名	制作年代	展示期間
1	直垂	江戸時代	通期
2	大紋	江戸時代	通期
3	素襖	江戸時代	通期
4	水干	江戸時代後期	通期
5	射籠手 祇園守文様ほか	江戸時代	通期
6	手袋	江戸時代	通期
7	行膝	江戸時代	通期
8	熨斗目小袖	江戸時代	通期
9	袴	江戸時代	通期
10	袴	江戸時代	通期
11	陣羽織	江戸時代	通期
12	火事装束	江戸時代	通期
13	滝春景文様単衣	江戸時代後期	前期
14	井筒文様小袖	江戸時代後期	後期
15	庭前文様小袖	江戸時代後期	前期
16	桜花幔幕文様小袖	江戸時代後期	後期
17	掛下帯	江戸時代	通期

## ⑨ ユネスコ「世界の記憶」東寺百合文書展—人・物・情報が行き交う中世—

会 期：2017年3月1日(水)～4月23日(日)  
 前期展示：3月1日(水)～3月26日(日)  
 後期展示：3月29日(水)～4月23日(日)

概 要：京都府立京都学・歴彩館(旧京都府立総合資料  
 館)が所蔵する東寺百合文書約2万5000通のな  
 かから、「Ⅰ 年貢の輸送と経路」、「Ⅱ 東寺を  
 巡る人と戦乱」、「Ⅲ 新見荘からのメッセージ」、  
 「Ⅳ 南大門前の関所と往来」というテーマに基  
 づいて、ネットワークや流通を中心に当時の  
 社会の様相に迫った。

主 催：京都文化博物館、京都府立京都学・歴彩館  
 出品資料数：64件  
 担当者：長村祥知

## 〔1〕ギャラリートーク

日時：3月11日(土)、4月8日(土)  
 午後2時～(30分程度)

場所：本館2階総合展示室内

担当：山本琢氏(京都府立京都学・歴彩館)

参加者数：それぞれ27名、20名

【「ユネスコ「世界の記憶」東寺百合文書展」出品資料一覧】

番号	指定等	文書名	年月日	目録番号	頁数	展示期間
序章 文書の管理方法と現在に伝わる理由						
1	国宝	廿一口方手文箱等送進状	文安2(1445)年12月29日	ア函200	1通	前期
2	国宝	宝蔵破損文書等所出日記	応永9(1402)年7月14日	コ函14	1通	前期
3	国宝	西院文庫文書出納帳	宝徳2(1450)年12月21日	リ函94	1冊	前期
4	国宝	文書出納日記(西院文庫文書出納帳)	長禄2(1458)年12月16日	あ函43	1冊	前期
5	国宝	東寺百合文書桐箱(又函)	貞享2(1685)年	又函	1合	前期
6	国宝	廿一口方手文箱送進状	永禄3(1560)年12月29日	ト函171	1通	後期
7	国宝	廿一口方評定引付	応永13(1406)年9月11日条	天地之部18	1冊	後期
8	国宝	文書出納日記(西院文庫文書出納帳)	長禄4(1460)年3月2日	さ函113	1冊	後期
9	国宝	西院文庫文書出納帳	応永16(1409)年8月29日	天地之部19	1冊	後期
10	国宝	東寺百合文書桐箱(ノ函)	貞享2(1685)年	ノ函	1合	後期
第I章 年貢の輸送と経路						
11	国宝	伊予国弓削島莊年貢塩送進状	文永11(1274)年7月24日・8月27日	と函19(2)	1巻のうち 1通	前期
12	国宝	安芸国新勅旨田預所某請文	弘安6(1283)年3月日	ヨ函42	1通	前期
13	国宝	伊予国弓削島莊問丸申詞	正応5(1292)年10月14日	と函36	1通	前期
14	国宝	尊誉書状	元亨4(1324)年1月14日	シ函12	1巻	前期
15	国宝	播磨国矢野莊政所秀恵起請文	文和2(1353)年5月8日	テ函30	1通	後期
16	国宝	播磨国矢野莊代官沙汰人等注進状	康安2(1362)年11月日	よ函30	1巻	後期
17	国宝	学衆方評定引付	永和元(1375)年10月26日条・12月27日条	ラ函8	1冊	後期
18	国宝	学衆方評定引付	永和2(1376)年11月3日条	ラ函9	1冊	後期
19	国宝	廿一口方評定引付	応永28(1421)年2月9日条	ち函4	1冊	後期
第II章 東寺を巡る人と戦乱						
20	国宝	北条高時巻数返事	嘉暦3(1328)年12月29日	ヒ函36	1幅	前期
21	国宝	斯波義将書状	(年未詳)9月17日	セ函武家御教書並達97	1幅	前期
22	国宝	後醍醐天皇綸旨	元弘3(1333)年9月1日	ヒ函37	1通	前期
23	国宝	足利直義裁許状	貞和5(1349)年閏6月27日	セ函足利將軍家下文3	1幅	前期
24	国宝	備中国新見莊上使乗円祐深・乗観祐成連署注進状	寛正2(1461)年10月27日	え函27	1通	前期
25	国宝	室町幕府奉行人連署奉書案	応仁元(1467)年6月13日	ト函123	1通	前期
26	国宝	斯波義廉下知状	応仁元(1467)年6月21日	リ函100	1幅	前期
27	国宝	細川勝元巻数返事	(年未詳)2月20日	リ函212	1幅	前期
28	国宝	松永久秀書状	(年未詳)12月5日	リ函186	1通	前期
29	国宝	三好長逸等連署禁制	永禄8(1565)年12月日	リ函118	1通	前期
30	国宝	後醍醐天皇綸旨	元弘3(1333)年6月19日	セ函南朝文書9	1幅	後期
31	国宝	足利尊氏御判御教書	観応元(1350)年7月28日	セ函足利將軍家下文5	1幅	後期
32	国宝	足利義満自筆弘舎利奉請状	応永13(1406)年9月10日	き函37	1幅	後期
33	国宝	足利義持御判御教書	応永17(1410)年12月24日	マ函82	1幅	後期
34	国宝	廿一口方評定引付	応仁3(1469)年4月25日条・文明元(1469)年5月18日条	天地之部37	1冊	後期
35	国宝	廿一口方評定引付	文明2(1470)年8月10日条	ち函19	1冊	後期
36	国宝	山名宗峯<持豊>書状	(年未詳)7月8日	ケ函259	1幅	後期
37	国宝	新見国経書状	享禄5(1532)年3月12日	又函247	1通	後期
38	国宝	藤岡直綱書状	永禄元(1558)年5月7日	イ函170	1通	後期
39	国宝	藤岡直綱書状	永禄元(1558)年5月7日	イ函171	1通	後期
40	国宝	織田信長禁制	永禄11(1568)年9月日	セ函武家御教書並達86	1幅	後期

第III章 新見荘からのメッセージ						
41	国宝	備中国新見荘百姓等申状	寛正2(1461)年7月26日	え函104	1巻	前期
42	国宝	最勝光院方評定引付	寛正2(1461)年8月3日条	け函12	1冊	前期
43	国宝	備中国新見荘名主百姓等申状并連署起請文	寛正2(1461)年8月22日	え函23	1通	前期
44	国宝	室町幕府奉行人連署奉書	寛正2(1461)年9月2日	ホ函52	1通	前期
45	国宝	備中国新見荘代官祐清注進状	寛正3(1462)年8月24日	ト函115	1通	前期
46	国宝	備中国新見荘代官祐清注進状	寛正3(1462)年8月25日	ト函116	1通	前期
47	国宝	備中国新見荘三職連署注進状	寛正4(1463)年8月27日	サ函110	1巻	後期
48	国宝	備中国新見荘上使本位田家盛并三職連署注進状	寛正4(1463)年10月22日	サ函116	1通	後期
49	国宝	本位田家盛注進状	(寛正4(1463)年)10月26日	ツ函262	1巻	後期
50	国宝	備中国新見荘地頭方百姓谷内家差図	(寛正4(1463)年)	サ函399	1通	後期
51	国宝	たまかき書状并備中国新見荘代官祐清遺品注文	(寛正4(1463)年)	ゆ函84	1巻	後期
第IV章 南大門前の関所と往来						
52	国宝	鐘突教善請文	康暦元(1379)年5月27日	ぬ函16	1通	前期
53	国宝	南大門前一服一銭茶売人道覚等連署条々請文	応永10(1403)年4月日	ケ函98	1通	前期
54	国宝	廿一口方評定引付	応永11(1404)年4月3日条	く函1	1冊	前期
55	国宝	室町幕府奉行人連署奉書	文明15(1483)年7月28日	二函80	1通	前期
56	国宝	山崎商人二郎請文	応永3(1396)年10月12日	さ函75	1通	後期
57	国宝	南大門前一服一銭茶売人道幸後家・八郎次郎連署条々請文	応永11(1404)年7月23日	し函61	1通	後期
58	国宝	室町幕府奉行人連署奉書案	文明15(1483)年7月8日	追加之部22(65)	1冊のうち 1通	後期
59	国宝	室町幕府奉行人連署奉書	永正6(1509)年閏8月3日	い函59	1通	後期
終章 選ってきた百合文書						
60	—	藤原範親置文	建長4(1252)年3月日	り函266	1幅	前期
61	国宝	藤原隆範袖判讓状	建長3(1251)年8月日	ホ函3(1)	1巻のうち 1通	前期
62	国宝	藤原為綱請文	建長4(1252)年4月11日	ホ函3(2)	1巻のうち 1通	前期
63	国宝	七条令解	正暦4(993)年6月20日	追加購入分1	1幅	後期
64	—	仁木頼夏巻数返事	延文5(1360)年8月18日	り函265	1通	後期



「日本の表装 ―掛軸の歴史と装い―」会場風景



「京都府内の学校所蔵考古・歴史資料展」  
京都府立鴨沂高等学校生徒による展示案内



## 4) 3階展示室

### ① 江戸の植物画 Japanese Botanical Art in the 16th -19th Century

会 期：2016年4月29日(金・祝)～6月26日(日)  
前期展示：4月29日(金・祝)～5月29日(日)  
後期展示：5月31日(火)～6月26日(日)  
休館日：月曜日  
会 場：3階展示室  
入館料：一般500円(400円) / 大学生400円(320円) /  
高校生以下は無料 ※( )内は20名以上の団体料  
金。  
主 催：京都府、京都文化博物館  
担当者：森 道彦  
入場者：44,278人(1日平均 868,2人)

#### 【概要】

古来、私たちは様々な形で植物と関わってきた。衣食住の材料として、また鑑賞用として生活を彩る植物は、洋の東西を問わず早くから人の研究対象となり、芸術のテーマとなっている。

奈良時代以来、様々な植物の見分け方や利用法を中国に学んだ日本では、特に江戸時代に世界中からもたらされた舶来の植物や学問に接し、独自の植物文化が大きく花開いた。貴族・武士から庶民まであらゆる人々が参加した江戸時代の園芸熱は、当時の世界でも極めて独特かつ豊かな品種群を産み出した。植物へのあくなき探求心は、絵画を中心に文化芸術にも大きな影響を与えた。学者顔負けの知識を持つ画人たち、画家顔負けに絵の達者な学者たちが描く植物のイメージは実に多種多様で、植物をモチーフとする近世絵画を非常に豊かなものとしている。本展示では、主に江戸時代以前の絵画や書籍を展覧し、植物に魅せられ続けた日本文化の一面を紹介した。

#### 【展示会の構成】

東洋植物図鑑のはじまり

『経師証類大観本草』朝鮮王朝時代刊 京都府立植物園蔵

日本の庭園文化

「花鳥図屏風」室町時代 個人蔵

江戸の造園ラッシュ

菱川師宣編画『築山庭作伝』江戸時代前期刊 京都府立総合資料館蔵

近世園芸の栄華 一椿趣味一



「江戸の植物画」ちらし

「百椿図貼交屏風」江戸時代前期 妙心寺隣祥院蔵  
／「百椿図巻」寛文11年(1671) 京都府立総合資料館蔵(京都文化博物館管理)

菊の江戸時代

狩野探幽「菊図」江戸時代前期 個人蔵

園芸文化の普及

近衛家熙「花木真写 春・夏の巻」江戸時代中期

陽明文庫蔵／鶴澤探索「四季草花図屏風」江戸時代中期 個人蔵

西洋植物学の衝撃

小野蘭山『花彙(稿本)』江戸時代中期 京都府立植物園蔵／宇田川榕庵「写生植物」文政8年(1825)

京都府立植物園蔵

江戸の殿様学者

関根雲亭「本草通串証図(異本)」 江戸時代後期 京都府立植物園蔵  
 鉢植え 一無限の小宇宙—  
 「四季草花盆栽文様帷子」 江戸時代後期 丸紅株式会社蔵  
 ランに集う人々  
 林園苑「紫寒蘭図」 安永8年(1779) 個人蔵  
 京都のサクラ画人たち  
 織田瑟々「桜花二十品図巻」 文政11年(1828) 京都府立総合資料館蔵(京都文化博物館管理) / 三島上龍「桜図屏風」 江戸時代後期 個人蔵  
 本草をめぐる人々—幕末・明治の学者と絵描き—  
 円山応挙「写生図冊」 江戸時代中期 個人蔵 / 幸野楳嶺編画『千種之花』 明治38年(1905) 京都府立総合資料館蔵

【出品作品数】 65点

【関連行事】

〔1〕 ギャラリートーク

日時：5月14日(土)、6月5日(日)  
 午後2時～(30分程度)

場所：3階展示室内

担当：森 道彦

参加者数：それぞれ 28名、54名

III - 1 総合展示 ▶ 4) 3階展示室

## ② 世界考古学会議京都(WAC-8)開催記念 アートと考古学展 ～物の声を、土の声を聴け～

会 期：2016年7月23日(土)～9月11日(日)  
 休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)  
 会 場：3階展示室  
 入館料：一般500円(400円) / 大学生400円(320円) / 高校生以下は無料 ※ ( )内は20名以上の団体料金。  
 主 催：京都府、京都文化博物館  
 共 催：特定非営利活動法人 WAC Japan、世界考古学会議第8回京都大会実行委員会  
 助 成：京都造形芸術大学  
 担当者：村野正景、植田彩芳子  
 入場者：29,616名(1日平均 673.1人)

### 【概要】

“考古学のオリンピック”世界考古学会議の京都開催にあわせ、そのトピックスの一つとして注目を集める「アートと考古学」の展示会を実施した。「アートと考古学」は、考古学をより多くの人々に開放し、その楽しみ方を再発見したり、もっと魅力や価値を高めようとしたりする運動の一つで、とくに芸術(家)と考古学(者)のコラボレーションによる様々な取り組みを指す。近年、このアートと考古学という異色の出会いが、文化遺産の世界で新たな魅力や価値観を創造しつつある。いまや世界的潮流となったこのアートな動きから、どんな作品が生まれ、どんな新しい楽しみ方が提案されているか。本展で



「アートと考古学展」ちらし

は、こうした世界の動きを踏まえつつ、京都を中心とした「アートと考古学」の取り組みをご紹介します。

**【展覧会の構成】**

第1部：日本人のモノを見る目、感じ方

第2部：考古学的美と魅力の再発見

第3部：考古資料を味わう、見立てる

第4部：考古学と出会い、響きあうアート

**【出品作品数】** 107件

**【関連行事】**

〔1〕講演会・四館連携講座「考古学の新たな挑戦：

アート、教育、まちづくり」

日時：8月20日(土) 午前10時30分～正午

場所：本館3階フィルムシアター

講師：村野正景(当館学芸員)

参加者数：10名

〔2〕講演会「神々の宿る都市：中南米のアート、考古学、地域コミュニティ」

日時：8月28日(日) 午後1時～午後4時

場所：別館ホール

講師：村上達也氏(チューレーン大学准教授)・嘉幡茂氏(ラス・アメリカス・プエブラ大学)、芝田幸一郎氏(法政大学准教授)、古手川博一氏(コルドバ博物館館長)

参加者数：78名

〔3〕フォーラム「アートになった土窯：

地域の文化資源の継承と創造」&展示

日時：8月30日(火) 午前10時30分～正午

(展示：8月30日(火)～9月2日(金) 於：別館ホール)

場所：別館ホール

講師：平川忠氏(備前焼陶芸家)、赤井夕希子氏(備前市埋蔵文化財管理センター)

参加者数：42名

〔4〕フォーラム「物の声を聴く！

：出品者による展覧会の見方・楽しみ方の紹介」

日時：8月30日(火) 午後1時～5時

会場：別館ホール

講師：松井利夫氏、日下部一司氏、伊達伸明氏、八木良太氏、小山真有氏、家成俊勝氏、安芸早穂子氏、村野正景

参加者数：88名

〔5〕体験教室

「芸術家と考古学者と一緒にアートを作ろう」

日時：8月31日(水) 午前10時30分～午後5時

会場：別館ホール

講師：松井利夫氏、日下部一司氏、伊達伸明氏、八木良太氏、家成俊勝氏、村野正景

参加者数：のべ400名

〔6〕ギャラリートーク

日時：8月17日(水)、9月7日(水)

午後2時～(30分程度)

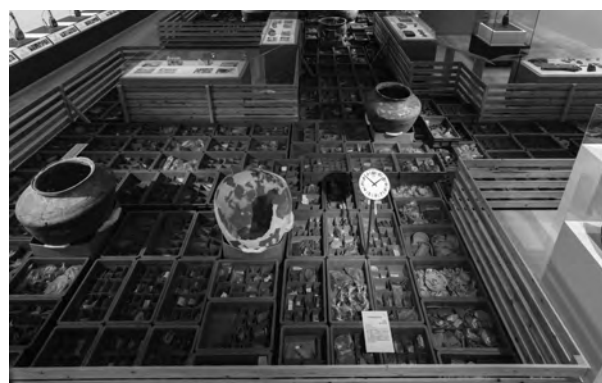
場所：本館3階展示室内

担当：村野正景

参加者数：それぞれ13名、20名



「江戸の植物画」会場風景



「アートと考古学展 ～物の声を、土の声を聴け～」会場風景

## 5) ぶんぱく京都講座

III-1 総合展示 ▶ 5) ぶんぱく京都講座

◆ いずれも、場所：本館3階フィルムシアター 参加費：500円

### ① 祇園祭～山鉦を飾る品々のうつりかわり～

日時：2016年7月16日(土) 午前10時30分～正午  
講師：橋本章 参加者数：22名  
概要：祇園祭の華である山鉦巡行の魅力は、各山鉦のモチーフとなった物語の多彩さとともに、それを飾る懸装品や金具などの品々の美しさにもある。長い歴史をもつ祇園祭の山鉦は、その時代の空気を反映する様々な飾りで彩られてきた。本講座では、祇園祭の装飾品のうつりかわりと、その背景について解説した。

### ② 京都の学校と考古学のつながり

#### ～学校所蔵資料の魅力とその価値

日時：2016年9月10日(土) 午前10時30分～正午  
講師：村野正景 参加者数：20名  
概要：世界考古学会議京都大会にあわせて実施した「京都府内の学校所蔵考古・歴史資料展」の紹介、および当館で実施している博学社連携事業の一環としての京都府内の学校所蔵品調査の途中経過報告として、標題の発表をおこなった。学校が保管している考古・歴史資料は、資料そのものの学術的価値に加えて、教育史や学校史としての価値、それに地域の記憶を物語る価値などがある。こうした価値について、具体的な事例をとりあげながら、一つ一つ紹介した。

### ③ 掛軸の歴史と文化をたどる

日時：2017年1月14日(土) 午前10時30分～正午  
講師：森道彦 参加者数：70名  
概要：日本や中国・韓国の歴史資料や美術品には、掛軸表装されたものが数多くある。保存と鑑賞にすぐれたこの独特の形はなぜ生まれ、どのように発達してきたのか。ものを永く伝えるべく、表装の美と技術を洗練させてきた日本の掛軸文化の歴史について概説した。

### ④ 京都府コレクションにみる武家の服飾資料

日時：2017年3月11日(土) 午前10時30分～正午  
講師：林智子 参加者数：20名  
概要：京都府コレクションには吉川観方コレクションを中心に武家の服飾文化を示す資料が多数みられるが、これらのうち、女性の小袖についてはこれまで展示などにおいて紹介されてきたが、素襖や袴といった男性の服飾資料は紹介の機会が少なく、十分に活用されてきたとはいいがたかった。本講座では、京都府の収蔵品から、武家の男性の服飾文化に関わる資料を中心に17件23点を紹介した。

### ① 世界遺産 キュー王立植物園所蔵 イングリッシュ・ガーデン ―英国に集う花々―

会 期：2016年4月29日(金・祝)～6月26日(日)  
[52日/59日]  
休館日：月曜日(5月2日は臨時開館)  
会 場：4階展示室  
入場料：一般：1,300円(1,100円) / 大高生：900円  
(700円) / 中小生：400円(300円) / ペアチ  
ケット2,000円  
\*( )内は前売券、及び20名以上の団体料金  
主 催：京都府、京都文化博物館、毎日新聞社  
後 援：ブリティッシュ・カウンシル、公益社団法人  
京都府観光連盟、公益社団法人京都市観光協会、  
KBS京都、エフエム京都  
協 力：日本航空、ちきりやガーデン  
企画協力：株式会社ブレントラスト  
担当者：畑 智子  
入場者：34,255人(1日平均 658.8人)

#### 【概 要】

イングリッシュ・ガーデンに見る美しい植物は大英帝国の黄金時代、エキゾチックな異世界に魅せられた人々の冒険と探求の結晶であり、これらの植物が多くの芸術家たちのイメージの源泉となって個性的なデザインを生み出してきた。

本展示会は、ロンドンにあるキュー王立植物園の20万件を超える世界最大のボタニカルアートコレクションをもとに貴重な植物画や工芸品など約150点を紹介。また、19世紀に世界中から珍しい植物を集めてきたプラントハンターたちの軌跡も辿った。その中にはビーグル号に乗船して世界各地を歩き、後に『種の起源』を執筆して社会・宗教界に大論争を巻き起こしたチャールズ・R・ダーウィン(1809-1882)も。キュー王立植物園とは、イギリス王室の私的な庭園として始まったが、1841年に国立の機関として一般公開され、現在では世界最高峰の植物学研究施設として、また世界最大かつ広範囲にわたる植物や標本のコレクションも収蔵する機関としてユネスコ世界遺産にも登録されている。

#### 【展示会の構成】

- 第1章 植物への夢と憧れ
- 第2章 世界の草花を求めて



「イングリッシュ・ガーデン ―英国に集う花々―」ちらし

第3章 花に魅せられたデザイナーたち

第4章 エピローグ

#### 【主な出品作品】

- 『アイヒシュテット庭園植物誌』(1613年)
- 「バンクシア・セラタ」(『バンクス植物図譜』1985年より)
- 「セレニケレウス・グランディフロルス」(『フローラの神殿』1800年より)
- 「ジョセフ・バンクスの肖像」(1812年)
- 「チャールズ・ダーウィンの肖像」(1868年)
- 「鳥と花」タイル(ミントン社・クリストファー・ドレッサー、1870年頃)
- 「果物(ザクロ)」(ウイリアム・モリス、1866年)
- 「スイレン」(陶磁器、ウエッジウッド社、1808-11年)

【出品作品数】約150点

【関連行事】

〔1〕講演会「イギリス人の庭園観

—世界の植物を求める旅

日時：5月5日(木・祝) 午前11時～正午

場所：本館3階フィルムシアター

講師：白幡洋三郎氏(中部大学特任教授、国際日本文化研究センター名誉教授)

参加者数：140名

〔2〕講演会「植物のある暮らし」

日時：5月8日(日) 午前11時～正午

場所：本館3階フィルムシアター

講師：ベニシア・スタンリー・スミス氏

参加者数：164名

〔3〕寄せ植え講習会

日時：5月14日(土)

午前11時、午後1時、午後3時の3回

場所：中庭ウッドデッキ

講師：尾崎まこと氏、戸田和美氏((一社)日本ハンギングバスケット協会京都支部)

参加者数：各回20名

〔4〕ギャラリートーク

日時：5月20日(金)、6月3日(金)、6月17日(金)

いずれも午後6時～

場所：4階展示室内

担当：畑 智子

参加者数：それぞれ46人、27人、26人



展覧会会期中には、中庭に小ガーデンも設営

III - 2 特別展示

② ダリ版画展—もうひとつの顔—

会 期：2016年7月9日(土)～9月4日(日)

[50日/58日]

休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階展示室

入場料：一般1,200円(1,000円) / 大高生900円(700円) / 中小生500円(300円)

\* ( )内は前売券、及び20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、MBS、京都新聞

後 援：公益社団法人京都府観光連盟、公益社団法人京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都

担当者：植田彩芳子、森 道彦

入場者：31,934人(1日平均 638人)

【概 要】

シュルレアリスムを代表する天才画家ダリ(1904～1989)。1904年スペイン、カタルーニャ地方の地中海に面した小さな町フィゲラスの裕福な家庭に生まれる。ダリは6歳の頃から、絵においては驚くべき才能をみせた。18歳でマドリードのサン・フェルナンド王立美術アカデミーに学ぶが1926年退学処分を受ける。翌年パ



「ダリ版画展」ちらし

りに出る。そこでピカソ、ミロ、ブルトンらに出会う。やがてシュルレアリスム運動に加わり、同運動の代表的な画家となる。ダリにとってその後の生涯、創作の原動力となる、詩人ポール・エリュアール夫人ガラと運命的に出会い、結婚。1940年戦争を避けてアメリカへ移住。翌年最初の大規模な回顧展がニューヨーク近代美術館で開催。8年のアメリカ滞在を経てヨーロッパに戻り制作活動を続けた。

ダリは奇矯な言動でスキャンダラスな話題を振り撒き、誇大妄想的顕示欲こそが創造力の根源として信じて疑わず、トレードマークとも言える独特の口髭も含め、様々なパフォーマンスを芸術の名において実践した。その才能は油彩、版画等の絵画制作にとどまることなく幅広い活躍をみせ、特に版画の造詣は深く、1500点以上もの作品を残している。

本展は、ダリの円熟期から晩年までの200点以上の版画作品を通して、従来の版画そのものの価値観をくつがえした画期的な作風で、20世紀最大の奇才といわれるダリの真髄を検証した。

#### 【展覧会の構成と主な出品作品】

- 1 『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)
- 2 『15の版画集』
- 3 馬乗り
- 4 『ファウスト』(ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ著)より：子牛の頭
- 5 『毛皮を来たヴィーナス』(レオポルト・フォン・ザッヘル＝マゾッホ著)
- 6 『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編)
- 7 『雅歌』
- 8 『シュルレアリスムの思い出』

- 9 『シカゴの眺め』より：シカゴ・アート・インスティテュート
- 10 『パンタグリユエルの滑稽な夢』
- 11 『不死のための10の処方』
- 12 『イスラエルの12部族』
- 13 『宇宙の征服』
- 14 『日本の民話』
- 15 『哲学者たちの錬金術』より：王と王妃
- 16 薔薇(夢)
- 17 『回顧Ⅱ』より：トルソ(ヴィーナスの誕生)

【出品作品数】221点

#### 【関連行事】

##### 〔1〕特別講演会「文筆家ダリと日本」

日時：7月18日(月・祝) 午前10時30分～正午  
場所：本館3階フィルムシアター

講師：ルッケル瀬本阿矢氏(京都大学国際高等教育院准教授)

参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)

参加者数：83名

##### 〔2〕特別講演会「サルバドール・ダリ―絵画の彼岸」

日時：7月23日(土) 午前10時30分～正午  
場所：本館3階フィルムシアター

講師：速水豊氏(三重県立美術館館長)

参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)

参加者数：80名

##### 〔3〕ギャラリートーク

日時：7月29日(金)、8月12日(金)、8月19日(金)  
午後6時～(30分程度)

場所：4階展示室内

担当：植田彩芳子

参加者数：それぞれ 62名、48名、45名

### ③ 国立カイロ博物館所蔵 黄金のファラオと大ピラミッド展

会 期：2016年10月1日(土)～12月25日(日)

[74日/86日]

休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階・3階展示室

入場料：一般1,500円(1,300円) / 大高生1,200円(1,000円) / 中小生500円(400円) 早割ペアチケット2,000円

\* ( )内は前売券、及び20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、MBS、毎日新聞社

後 援：外務省、エジプト大使館、公益社団法人京都府観光連盟、公益社団法人京都市観光協会、KBS 京都、エフエム京都

協 賛：大和ハウス工業、JR西日本

協 力：国立カイロ博物館、エジプト・アラブ共和国考古省、学校法人昌平齋 東日本国際大学、NPO 法人太陽の船復原研究所、日本エジプト学会、

早稲田大学エジプト学研究所広報部、独立行政法人国際協力機構(JICA)、カタール航空、ルフトハンザカーゴAG、日本通運、公益財団法人古代学協会

監 修：吉村作治(東日本国際大学学長・早稲田大学名誉教授・工学博士)

企画協力：アケト

企画制作：TBSテレビ

担当者：村野正景、橋本章

入場者：79,663人(1日平均 1076.5人)

## 【概 要】

はるか4500年前、古代エジプトにピラミッドが建設された大いなる時代から今に遺る至宝の数々。その世界一のコレクションを誇る国立カイロ博物館から、「アメンエムオプト王の黄金のマスク」や「クフ王の銘が入った彫像」、美しく壮麗な「彩色木棺」など、監修者の吉村作治氏が選び抜いた100点あまりの傑作を紹介した。

本展覧会では、古王国時代を中心に、ファラオや王家の女性、貴族、ピラミッド建設を支えた人々などのテーマに沿って、ピラミッドとそれを建てた偉大なファラオたちの壮大なドラマに迫った。

また、ツタンカーメンの黄金のマスクやギザのピラミッド、ルクソール神殿などを撮影した高精細4Kシアターも本展覧会の見どころの一つとして、来場者の皆さまに古代エジプト3000年の旅をお楽しみいただいた。

## 【展覧会の構成と主な出品作品】

- I ピラミッドの建設とその技術  
「ロイとマヤのピラミディオン」新王国時代、第18王朝末(前1336～1295年頃)  
「木棺」末期王朝時代(前664～332年)
- II ピラミッド時代のファラオたち  
「クフ王銘入りライオンのスフィンクス像」古王国時代、第4王朝、クフ王の治世  
「カフラー王像」古王国時代、第4王朝、カフラー王の治世
- III ピラミッド時代を支えた人々  
「カイとその子どもたちの像」古王国時代、第5王朝(前2494～2345年頃)  
「パン造りとビール造り職人の模型」中王国時代、第12王朝(前1985～1773年頃)
- IV ピラミッド時代の女性たち  
「クヌムト王女の襟飾り」中王国時代、第12王朝(前1911～1877年頃)



「黄金のファラオと大ピラミッド展」ちらし

「アメンエムオプト2世銘入りスカラベ」中王国時代、第12王朝(前1870～1831年頃)

## V 黄金に輝く来世

「アメンエムペルムウトの彩色木棺とミイラ・カバー」第3中間期、第21王朝(前1069～945年頃)

「アメンエムオプト王の黄金マスク」第3中間期、第21王朝(前993～984年頃)

【出品数】約100点

## 【関連行事】

### 〔1〕講演会「古代エジプト文明への招待

ーカイロ博物館に観るファラオと神々の世界ー

日時：10月8日(土) 午前10時30分～正午

場所：本館3階フィルムシアター

講師：宮本純二氏(京都橘大学講師・エジプト学)

参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)

参加者数：125名

### 〔2〕ワークショップ「ヒエログリフの秘密

古代文字であなたの名前を書いてみよう！」

日時：11月26日(土) 午後3時～4時30分

場所：別館2階講義室

講師：宮本純二氏(京都橘大学講師・エジプト学)



参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)

参加者数：31名

[3] 宮本純二講師によるギャラリートーク

日時：10月14日(金)、11月11日(金)

午後6時～(30分程度)

場所：3階・4階展示室内

担当：宮本純二氏(京都橘大学講師・エジプト学)

参加費：無料(ただし本展覧会入場券[半券可]が必要)

参加者数：それぞれ、42名、50名

[5] ギャラリートーク

日時：10月28日(金)、12月2日(金)

午後6時～(30分程度)

場所：3階・4階展示室内

担当：村野正景

参加者数：それぞれ62名、50名



「黄金のファラオと大ピラミッド展」会場風景

#### ④ 戦国時代展 A CENTURY of DREAMS

会 期：2017年2月25日(土)～4月16日(日)

[44日/51日]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

会 場：3階・4階展示室

入場料：一般1,300円(1,100円) / 大高生900円(700円)

/ 中小生500円(300円)

\* ( )内は前売券、及び20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、読売新聞社、BS日  
テレ

後 援：(公社)京都府観光連盟、(公社)京都市観光協会、  
NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都

協 賛：日本写真印刷

担当者：西山 剛、長村祥知

入場者：47,430人(1日平均 1099.8人)

#### 【概 要】

日本における「戦国時代」は、相次ぐ戦乱により秩序が大きく乱れた時代だとイメージされてきた。ところが近年では研究が進み、この時代が列島規模で文化的、経済的な実りをもたらしたと考えられるようになってきている。

室町幕府の衰退により、上杉謙信、武田信玄、毛利元就、織田信長など有力大名たちは領国の経営に力を入れるようになり、その結果、絵画や茶の湯など京都で成熟



「戦国時代展」ちらし

した文化が列島各地へともたらされ、新たな地域文化として再生産されたのである。

本展では、合戦の様子や武将の姿を伝える歴史資料や、列島の各地で生成された貴重な美術工芸品を一堂に展示し、多様な広がりを見せたこの時代とたくましく生きた人々の姿に迫った。

### 【展覧会の構成と主な出品作品】

#### 序章 ー時代の転換ー

重要文化財 真如堂縁起(京都・真正極楽寺蔵)、重要文化財 後法興院政家記(京都・陽明文庫蔵)

#### 第1章 合戦 ー静寂と喧騒ー

川中島合戦図屏風 米沢本(山形・米沢市上杉博物館蔵)、陣鐘(長野・真田宝物館蔵)、法螺貝(長野・真田宝物館蔵)

#### 第2章 群雄 ー翔けぬけた人々ー

重要文化財 藍韋肩赤威甲冑(広島・巖島神社蔵)、埼玉県指定有形文化財 縹糸威最上胴丸具足(埼玉県立歴史と民俗の博物館蔵)、国宝 上杉家文書 武田晴信書状(山形・米沢市上杉博物館蔵)

#### 第3章 権威 ー至宝への憧れー

国宝 洛中洛外図屏風 上杉本(山形・米沢市上杉博物館蔵)、国宝 秋景冬景山水図(京都・金地院蔵)

#### 第4章 列島 ー往来する人と物ー

華南三彩五耳壺(千葉・国立歴史民俗博物館蔵)、重要文化財 八坂法観寺塔参詣曼荼羅(京都・法観寺蔵)、寺町・大雲院跡出土 一括出土銭(京都市考古資料館蔵)

#### 終章 ー新たなる秩序ー

東照大権現像 日光山東照宮御像(東京・徳川記念財団蔵)、夫馬一色衛門畠地寄進状(滋賀・観音護国寺蔵)

【出品数】184件(内、国宝36件、重要文化財30件)

### 【関連行事】

#### 〔1〕講演会「戦国大名と小京都」

日時：2月25日(土) 午前10時30分～正午

場所：本館3階フィルムシアター

講師：村井康彦氏(国際日本文化研究センター名誉教授)

参加者数：120名

#### 〔2〕講演会「戦国武将の憧憬・由緒

ー室町文化と同朋衆をめぐってー」

日時：3月25日(土) 午前10時30分～正午

場所：本館3階フィルムシアター

講師：家塚智子氏(宇治市源氏物語ミュージアム学芸員)

参加者数：110名

#### 〔3〕トークイベント「戦国時代展のメッセージ」

日時：3月22日(水) 午後1時～4時

場所：別館ホール

講師：阿部哲人氏(米沢市上杉博物館主任学芸員)

齋藤慎一氏(東京都江戸東京博物館学芸員)

長村祥知(当館学芸員)

西山 剛(当館学芸員)

参加者数：120名

#### 〔4〕イベント「1日学芸員・和田彩花さんと挑戦、

『戦国時代』に迫ろう！」

日時：2月26日(日)①午前11時30分～12時15分

②午後2時～2時45分

場所：本館6階ギャラリー

登壇：和田彩花氏(アンジュルム)

西山 剛(当館学芸員)

参加者数：248名

#### 〔5〕イベント「閉館後貸切鑑賞会(ナイトミュージアム)」

日時：3月4日(土) 午後6時～8時

場所：3階・4階展示室内

担当：西山 剛(当館学芸員)

参加者数：153名

#### 〔6〕イベント「知りたい！将軍義政の能 信長の能

ー戦国を舞うー」

日時：3月25日(土) ①午後2時～3時30分

②午後5時～6時30分

場所：別館ホール

登壇：シテ 杉浦豊彦氏、ワキ 有松遼一氏、笛 森田保美氏、小鼓 林大輝氏、大鼓 石井保彦氏、地謡 橋本光史氏、深野貴彦氏、長村祥知(当館学芸員)

参加者：230名

#### 〔7〕担当学芸員によるギャラリートーク

日時：3月3日(金)、3月10日(金)、3月17日(金)、

3月24日(金)、3月31日(金)

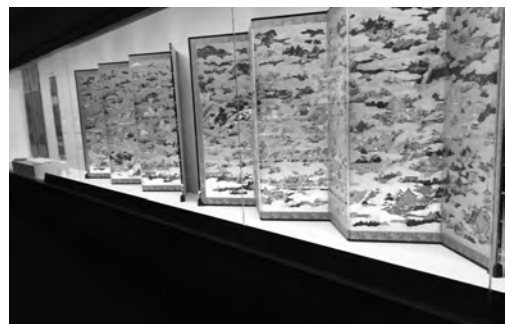
午後6時～(30分程度)

場所：3階・4階展示室内

担当：西山 剛、長村祥知

参加者数：254名(合計)

※展覧会に合わせ「刀剣乱舞オリジナルイラストクリアファイル」の配布を行った(3月1日～5日)



「戦国時代展」会場風景

## ⑤ 京都府新鋭選抜展 2017 —kyoto Art for Tomorrow—

会 期：2017年1月28日(土)～2月12日(日)

[14日／16日]

休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)

会 場：3階展示室

入場料：一般500円(400円) / 大学生400円(320円)

／高校生以下無料

\* ( )内は20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館

後 援：京都新聞、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞社京都支社、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、京都商工会議所、京都工芸美術作家協会、アンスティチュ・フランセ関西

担当者：林 智子、植田彩芳子、森 道彦

入場者：32,450人(1日平均2,317人)

## 【選考委員】

太田垣實(美術評論家)、佐藤敬二(京都精華大学教授)、高階絵里加(京都大学准教授)、平井章一(京都国立近代美術館主任研究員)、山梨俊夫(国立国際美術館館長)

(五十音順)

## 【審査委員】

太田垣實(美術評論家)、佐藤敬二(京都精華大学教授)、高階絵里加(京都大学准教授)、畑智子(京都文化博物館学芸課長)、山梨俊夫(国立国際美術館館長)(五十音順)

## 【概 要】

本展は、京都を中心に活動する新進若手作家を紹介する展覧会であり、本年の新鋭選抜展は、オリンピックイヤーの2020年に向け、京都の地を拠点に活動する若きアーティストたちが社会に向けて創造する新たな作品を紹介するとともに、世界的に活躍する京都ゆかりのゲスト作家による現代アートを同時に公開し、京都の地で伝統と現代の間に生み出される新しい芸術の創造に取り組む若手作家の創作活動を奨励する展覧会として開催した。

## 【出品作家】

浅野真一、今尾拓真、今岡一穂、大森準平、笠井遥、上根拓馬、岸雪絵、北川安希子、木山恵莉、久保田万絵、熊田悠夢、後藤吉晃、西條茜、才田茜衣、榊原太郎、杉本奈奈重、高木あすか、高木智子、武村和紀、田中克典、



「京都府新鋭選抜展」ちらし

谷川美音、谷原菜摘子、寺脇さやか、戸田香織、中村文治、西久松友花、西久松綾、野上 徹、橋本知成、濱野裕理、廣田美乃、フジモトアヤ、藤原裕之、札本彩子、増田晴香、松村綾香、松本和子、三宅佑紀、宮田彩加、三輪田めぐみ、山下萌、山下裕美子、山西杏奈 (五十音順)

## 【特別出品作家】

東芽(たばいも) 映像インスタレーション「網の中」  
1975年兵庫県生まれ、1999年京都造形芸術大学卒業。大学の卒業制作として制作したアニメーションによる映像インスタレーション《にっぽんの台所》が、キリンコンテンポラリー・アワード1999 最優秀作品賞を受賞。以降、横浜トリエンナーレ、サンパウロ・ビエンナーレ、シドニー・ビエンナーレ、ヴェネチア・ビエンナーレイタリア館など数々の国際展に出品、日本を代表する映像インスタレーション作家の一人として注目を集める。2006年に原美術館、パリのカルティエ現代美術館で個展開催。2011年第54回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館代表。

【出品作品数】 43点+特別出品1点

【関連行事】

〔1〕オープニングパフォーマンス「網の外」

東芋氏の映像インスタレーション「網の中」とコンテンポラリーダンス、ピアノとコントラバスの演奏によるパフォーマンス

日時：1月28日(土)、1月29日(日)

両日とも午後6時30分～

場所：別館ホール

出演者：森下真樹・鈴木美奈子(コンテンポラリーダンス)、平本正宏(ピアノ)、田中啓介(コントラバス)

参加者数：各日約130名

〔2〕出品作家によるギャラリートーク

日時：2月4日(土)、2月11日(土)

両日とも午後1時30分

場所：3階展示室内

講師：展覧会出品作家

2月4日 15名、2月11日 12名

参加者数：それぞれ 51名、70名



出品作家によるギャラリートーク



東芋「網の中」(2017) (c)Kazuto Kakurai

「東芋（特別出品作家）《網の中》」会場風景

【受賞作品】

最優秀賞 1点【賞状、副賞金50万円】

賞名	氏名	作品名
最優秀賞	戸田 香織	寒梅

優秀賞 1点【賞状、副賞金10万円】

賞名	氏名	作品名
優秀賞	宮田 彩加	分福茶熊

メディア賞・国際賞 9点【賞状】

賞名	氏名	作品名
京都新聞社賞	谷原菜摘子	今日は私の結婚式
朝日新聞社賞	松本 和子	Transparent dialogue
毎日新聞社賞	高木あすか	ちよつとずつちゃんと
読売新聞社賞	榊原 太朗	古都対決   KOTO FIGHT
産経新聞社賞	北川安希子	直面-ハシビロコウ
日本経済新聞社京都支社賞	笠井 遥	彼方へ
NHK京都放送局賞	西久松友花	キサ
アンスティチュ・フランセ関西賞	杉本奈奈重	内と外のあいだ
ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川国際交流賞	今尾 拓真	video practice#1(京都文化博物館)

## \* 2016(平成28)年度特別展一覧

展覧会名	会期	日数	入場者数	一日平均	形態
実相院門跡展－幽境の名刺－	2016.4.1(2.20)～4.17	15 (50)	6,441 (18,747)	429	共催
世界遺産キュー王立植物園所蔵 イングリッシュ・ガーデン－英国に集う花々	2016.4.29～6.26	52	34,255	659	共催
ダリ版画展－もうひとつの顔－	2016.7.9～9.4	50	31,934	639	共催
国立カイロ博物館所蔵 黄金のファラオと大ピラミッド展	2016.10.1～12.25	74	79,663	1,077	共催
京都府新鋭選抜展－kyoto Art for Tomorrow－	2017.1.28～2.12	14	32,450	2,317	委託
戦国時代展－A CENTURY of DREAMS－	2017.2.25～3.31(4.16)	30	33,704	1,123	共催
計6件		(44) 235	(47,430) 218,447	930	

※( )内は展覧会の会期全体の日数及び入場者数

## \* 2016(平成28)年度特別展関連イベント一覧

開催日時	展覧会名	関連行事	講師・所属等 その他
2016.5.5	世界遺産 キュー王立植物園所蔵 イングリッシュ・ガーデン－英国 に集う花々	講演会「イギリス人の庭園観－世界の植物 を求める旅」	白幡洋三郎氏(中部大学特任教授、国 際日本文化研究センター名誉教授)
5.8	世界遺産 キュー王立植物園所蔵 イングリッシュ・ガーデン－英国 に集う花々	講演会「植物のある暮らし」	ベニシア・スタンリー・スミス氏
5.14	世界遺産 キュー王立植物園所蔵 イングリッシュ・ガーデン－英国 に集う花々	寄せ植え講習会	尾崎まこと氏、戸田和美氏(日本ハン ギングバスケット協会京都支部)
5.20	世界遺産 キュー王立植物園所蔵 イングリッシュ・ガーデン－英国 に集う花々	ギャラリートーク	畑 智子(当館学芸員)
6.3	世界遺産 キュー王立植物園所蔵 イングリッシュ・ガーデン－英国 に集う花々	ギャラリートーク	畑 智子(当館学芸員)
6.17	世界遺産 キュー王立植物園所蔵 イングリッシュ・ガーデン－英国 に集う花々	ギャラリートーク	畑 智子(当館学芸員)
7.18	ダリ版画展－もうひとつの顔－	特別講演会「文筆家ダリと日本」	ルッケル瀬本阿矢氏(京都大学国際高 等教育院准教授)
7.23	ダリ版画展－もうひとつの顔－	特別講演会「サルバドール・ダリ－絵画の 彼岸」	速水豊氏(三重県立美術館館長)
7.29	ダリ版画展－もうひとつの顔－	ギャラリートーク	植田彩芳子(当館学芸員)
8.19	ダリ版画展－もうひとつの顔－	ギャラリートーク	植田彩芳子(当館学芸員)
10.8	国立カイロ博物館所蔵 黄金のファ ラオと大ピラミッド展	講演会「古代エジプト文明への招待－カイ ロ博物館に観るファラオと神々の世界－」	宮本純二氏(京都橋大学講師・エジプ ト学)
10.14	国立カイロ博物館所蔵 黄金のファ ラオと大ピラミッド展	宮本純二講師によるギャラリートーク	宮本純二氏(京都橋大学講師・エジプ ト学)
10.28	国立カイロ博物館所蔵 黄金のファ ラオと大ピラミッド展	ギャラリートーク	村野正景(当館学芸員)
11.11	国立カイロ博物館所蔵 黄金のファ ラオと大ピラミッド展	宮本純二講師によるギャラリートーク	宮本純二氏(京都橋大学講師・エジプ ト学)
11.26	国立カイロ博物館所蔵 黄金のファ ラオと大ピラミッド展	ワークショップ「ヒエログリフの秘密 古 代文字であたの名前を書いてみよう！」	宮本純二氏(京都橋大学講師・エジプ ト学)
12.2	国立カイロ博物館所蔵 黄金のファ ラオと大ピラミッド展	ギャラリートーク	村野正景(当館学芸員)

2017. 1.28	京都府新鋭選抜展2017 —Kyoto Art for Tomorrow—	オープニングパフォーマンス「網の外」	東芋(特別出品作家)、森下真樹・鈴木美奈子(コンテンポラリーダンス)、平本正宏(ピアノ)、田中啓介(コントラバス)
1.29	京都府新鋭選抜展2017 —Kyoto Art for Tomorrow—	オープニングパフォーマンス「網の外」	東芋(特別出品作家)、森下真樹・鈴木美奈子(コンテンポラリーダンス)、平本正宏(ピアノ)、田中啓介(コントラバス)
2.4	京都府新鋭選抜展2017 —Kyoto Art for Tomorrow—	ギャラリートーク	展覧会出品作家
2.11	京都府新鋭選抜展2017 —Kyoto Art for Tomorrow—	ギャラリートーク	展覧会出品作家
2.25	戦国時代展 —A CENTURY of DREAMS—	講演会「戦国大名と小京都」	村井康彦氏(国際日本文化研究センター名誉教授)
2.26	戦国時代展 —A CENTURY of DREAMS—	イベント「1日学芸員・和田彩花さんと挑戦、『戦国時代』に迫ろう!」	和田彩花(アンジュルム)、西山 剛(当館学芸員)
3.3	戦国時代展 —A CENTURY of DREAMS—	ギャラリートーク	西山 剛(当館学芸員)、長村祥知(当館学芸員)
3.4	戦国時代展 —A CENTURY of DREAMS—	イベント「閉館後貸切鑑賞会(ナイトミュージアム)」	西山 剛(当館学芸員)
3.10	戦国時代展 —A CENTURY of DREAMS—	ギャラリートーク	西山 剛、長村祥知(当館学芸員)
3.17	戦国時代展 —A CENTURY of DREAMS—	ギャラリートーク	西山 剛、長村祥知(当館学芸員)
3.22	戦国時代展 —A CENTURY of DREAMS—	トークイベント「戦国時代展のメッセージ」	阿部哲人氏(米沢市上杉博物館主任学芸員)、齋藤慎一氏(東京都江戸東京博物館学芸員)、長村祥知(当館学芸員)、西山 剛(当館学芸員)
3.24	戦国時代展 —A CENTURY of DREAMS—	ギャラリートーク	西山 剛、長村祥知(当館学芸員)
3.25	戦国時代展 —A CENTURY of DREAMS—	講演会「戦国武将の憧憬・由緒 一室町文化と同朋衆をめぐって」	家塚智子氏(宇治市源氏物語ミュージアム学芸員)
3.25	戦国時代展 —A CENTURY of DREAMS—	イベント「知りたい! 将軍義政の能 信長の能 —戦国を舞う—」	シテ 杉浦豊彦、ワキ 有松遼一、笛 森田保美、小鼓 林大輝、大鼓 石井保彦、地謡 橋本光史、深野貴彦、長村祥知(当館学芸員)
3.31	戦国時代展 —A CENTURY of DREAMS—	ギャラリートーク	西山 剛、長村祥知(当館学芸員)

### III-3 映画

#### 1) 常設上映

上映期間	テ ー マ	作 品 名	日数	回数	鑑賞者
2016.4.1~30	映画日本百景 関東甲信越篇	妻よ薔薇のやうに／鐘の鳴る丘 隆太の巻／鐘の鳴る丘 修吉の巻／鐘の鳴る丘 クロの巻／夜明け前／野菊の如き君なりき／ここに泉あり／遠い雲／ゼロの焦点／米／破戒／越後つついし親不知／忍ぶ川	26	52	3,468
2016.5.1~6.24	生誕100年記念 木下忠司 映画音楽の世界	破れ太鼓／女の園／二十四の瞳／カルメン故郷に帰る(モノクロ版)／カルメン故郷に帰る(通常版)／白蛇伝／わが恋せし乙女／破戒／愛妻物語／日本の悲劇／この広い空のどこかに／壁あつき部屋／太陽とバラ／あなた買います／風と女と旅鴉／風花／喜びも悲しみも幾歳月／人間の条件(第1部~6部)／笛吹川／永遠の人／臉の母／恋や恋すな恋／関の弥太っぺ	48	96	5,711
2016.6.25~7.15	EUフィルムデーズ2016 映画で旅するヨーロッパ	イマジン／ルッチと宜江／日本からの贈り物／ラトビアアニメ集／ミスター・ノーバディ／ボルドーの領事／カウボーイたち／センチメンタリスト／樹／チェリー・タバコ／提督の艦隊／ハムレット／ハリウッドがひれ伏した銀行マン／ローマに消えた男／マリヤ、1948年の旅路／ヴィクトリア／ロードアップ・ヒル／壁／ロストックの長い夜／イタリアのある城で／家族の映画／ラブ&マネー／スパイ・タイム／アルデンヌ／アヴァロン／ジミー、野を駆ける伝説／リザとキツネと恋する死者たち	18	39	3,442
2016.7.16,17,22,24	祇園祭記念上映	祇園祭	4	8	755
2016.7.18~8.9	夏休み子ども映画特集 子どもの瞳に映る夢と現実	生れてはみたけれど／風の又三郎／馬／蜂の巣の子供たち／ノンちゃん雲に乗る／愛と希望の街／原爆の子	13	25	1,252
2016.8.4~7	第22回京都国際子ども映画祭	わな／短編アニメーション(5作品)／短編実写映画(3作品)／犬どろぼう完全計画／ネリーの冒険／なつやすみの巨匠／特別上映 絵本アニメ／特別上映 赤い風船	4	15	904
2016.8.10~9.1	映画日本百景 東京の変遷	東京の宿／浅草の灯／今ひとたびの／長屋紳士録／素晴らしき日曜日／煙突の見える場所／東京物語／純愛物語／喜劇 駅前旅館／秋立ちぬ	20	40	2,624
2016.9.2,3,4	日本映像学会関西支部第38回夏期映画 ゼミナール 加藤泰特集 生誕100年	風と女と旅鴉／大江戸の侠児／阿部一族／臉の母／人情紙風船／素浪人罷通る／幕末残酷物語／緋牡丹博徒 お竜参上	3	9	919
2016.9.6~10.1	社会派・ミステリー・推理・サスペンス 特集	ペン偽らず 暴力の街／叛乱／黒い潮／真昼の暗黒／張込み／黒い画集 あるサラリーマンの証言／松川事件／白と黒／誇り高き挑戦／帝銀事件 死刑囚／証人の椅子	22	43	3,130
2016.9.10	日本映画テレビ技術協会映像技術受賞作品 試写会+トーク	砂の器	1	1	205
2016.9.22	京まちなか映画祭・2016 みんなはじめは、 の・ようなものだった presents	間宮兄弟	1	2	173
2016.10.2	構え森 上映会+トーク	構え森	1	2	134
2016.10.4~30	京都の映画文化をアーカイブする 大映京 都撮影所特集1	維新の曲／無法松の一生／羅生門／祇園囃子／夜の河／地獄花／炎上／雨月物語／弁天小僧／不知火検校／座頭市物語／斬る	24	48	2,910
2016.11.1,2	京都フィルムメーカーズラボ・マスタ ーズセッション	【session1】Filmmaker Lightning Talk【session2】日本との共同製作の可能性【session4】TIFF審査員セミナー	2	3	173
2016.11.2~13	第8回京都ヒストリカ国際映画祭	黄金時代／グランドマスター／バーバリ／古都／わたしが棄てたナポレオン／西遊記 ヒーローイズバック／駆け込み女と駆け出し男／秘密が見える目の少女／ウルスリのすず／ホームズマン／パタリオン／ミュタントタートルズ／忍者EX／ニンジャ・アサシン／THE LAST-NARUTO THE MOVIE-／劇場版 忍者部隊月光／伊賀忍法術／くノ一忍法 豪傑地雷也／忍びの者／春の雪／隻眼の虎	11	28	1,519

2016.11.15~30	京都の映画文化をアーカイブする 大映京都撮影所特集2	手をつなぐ子等/西陣の姉妹/お父さんはお人好し/大阪物語/女狐呂風/次郎長富士/悪名	13	25	1,397
2016.11.19	【第19回京都国際学生映画祭 目前祭】 「格差」を捉えた学生映画	ゴロン、パタン、キュー/Fidelity	1	1	45
2016.11.29, 12.6~11	鬼才・実相寺昭雄 映像の世界 —ウルトラマンから仏像まで—	おかあさん あなたを呼ぶ声・他/ウルトラマン 恐怖の宇宙線・他/歴史はここに始まる 本郷菊富士ホテル・他/ウルトラセブン 狙われた街・他/怪奇大作戦 京都買います/哥/あさき夢みし/宵闇せまれば/悪徳の栄え/曼陀羅/無常/KAN TOKU 実相寺昭雄	7	16	604
2016.12.1~4	シネマの冒険 闇と音楽 2016 スウェーデン映画協会コレクション	人生の春/十誠/グンナール・ヘデ物語/ノールトゥル地区の仲間たち/燕尾服を着た娘	4	8	271
2016.12.13~27	【三宅邦子生誕100年記念小特集】 戦前松竹大船映画とモダン女優	家族会議/母と子/暖流/兄とその妹/戸田家の兄妹/みかへりの塔/愛染かつら	13	26	1,582
2017.1.4~8	京の匠を記録する 文化映画特集	鍮起/ろう型/和鏡/京の和紙/文化財を守る人たち/甦る文化財 表装の技術	5	10	231
2017.1.9~2.5	映画日本百景色 大阪人情篇	浪華悲歌/むかしの歌/大阪の宿/春琴物語/王将一代/夫婦善哉/いとほん物語/女殺し油地獄/浪花の恋の物語/ぼんち/心中天網島/曾根崎心中	24	48	3,037
2017.2.7~3.5	【日本映画120年記念企画】 古典・名作映画ノススメ1	紅葉狩/新歌舞伎十八番之内 紅葉狩/東京大震災 第一報/尾上松之助葬儀/疏水 流れに沿って/路上の靈魂/弥次喜多 善光寺詣り/狂った一頁/若者よなぜ泣くか/御誂治郎吉格子/マダムと女房/浮草物語/折鶴お千/赤西蛸太/情熱の詩人啄木/祇園の姉妹/元禄快拳余譚 土屋主税	24	47	1,862
2017.2.10	日本映画テレビ技術協会映像技術受賞作品上映会+トーク	日本のいちばん長い日	1	1	170
2017.3.7~4.2 集計は3月31日まで	【日本映画120年記念企画】 古典・名作映画ノススメ2	淑女は何を忘れたか/エノケンのちゃっきり金太/人情紙風船/風の中の子供/有馬猫/鶴八鶴次郎/綴方教室/藤十郎の恋/花ちりぬ/鞍馬天狗 角兵衛獅子の巻/五人の斥候兵/残菊物語	22	44	2,261

## 2) 特別企画・共催事業

III - 3 映画 ▶ 2) 特別企画・共催事業

### ① 2016 年度共催上映等の実績

#### ◆ EUフィルムデーズ2016 in 京都

〔期間〕2016年6月25日~7月15日

〔共催〕欧州連合代表部、欧州連合加盟国大使館・文化機関

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕EU代表部が加盟各国から集めた映画作品、『イマジン』『ルッチと宜江』『日本からの贈り物』『アルデンヌ』等27作品の上映と鶴田宜江(『ルッチと宜江』主演女優)、アンジェイ・ヤキモフスキ(『イマジン』監督)、ロビン・プロント(『アルデンヌ』監督)、松本侑壬子(映画評論家)によるトーク。

〔鑑賞者数〕3,442人(191人/1日)

#### ◆ 第22回京都国際子ども映画祭

〔期間〕2016年8月4日~7日

〔共催〕キンダーフィルムフェストきょうと

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕世界各国で製作される子ども映画を、ベルリ

ン国際映画祭ジェネレーション部門受賞作を中心に集め、子ども審査員によりコンペティションを行う。『わな』『犬どろぼう完全計画』『ネリーの冒険』『なつやすみの巨匠』等12作品の上映とフランツィスカ・ヘンケ(『ネリーの冒険』音楽担当)、キム・ソンホ(『犬どろぼう完全計画』監督)、中島良(『なつやすみの巨匠』監督)、宮平貴子(『わたしの宝もの』監督)、ジャヤライ・ラジャセクハラン・ナイール(『わな』監督)によるトーク。

〔鑑賞者数〕904人(226人/1日)

#### ◆ スポーツ・文化・ワールド・フォーラム 文化会議分科会「創造のためのアーカイブ：文化芸術資源の活用による新たな表現」

〔期間〕2016年10月19日

〔主催〕文科省、スポーツ庁、文化庁

〔共催〕京都府、京都市等

〔会場〕別館ホール



[内容]文化芸術が長年培ってきた様々な表現を、将来的に活用するためのアーカイブ活動のさらなる進展を目的に国内外で活躍するアーティストや研究者等による基調講演、パネルディスカッションと4Kデジタル復元版『雨月物語』の一部上映を通じ、アーカイブの手法や活用に関する議論を深めた。基調講演としてマーティン・スコセッシ監督のビデオメッセージとエリック・ニアリ(CINERIC INC)、宮島正弘(カメラマン)によるお話し。そして中谷日出(NHK解説委員)、岸野雄一(スタディスト)、田坂博子(東京都写真美術館学芸員)、宮川一郎(クリエイティブ・ディレクター)によるシンポジウムを開催。  
[鑑賞者数]200人(200人／1日)

◆京まちなか映画祭・2016

「みんなはじめは、の・ようなものだった」

[期間]2016年9月22日(木)

[主催]新京極商店街振興組合、京まちなか映画祭実行委員会

[会場]本館3階フィルムシアター

[内容]『間宮兄弟』の上映。

[鑑賞者数]173人(173人／1日)

◆映画『構え森』上映会—みちのくの奥州藤原氏が託した女神像とタイムカプセル

[期間]2016年10月2日(日)

[共催]きつねのしっぽフィルム

[会場]本館3階フィルムシアター

[内容]映画『構え森』の上映と勝賀瀬重憲監督によるトーク。

[鑑賞者数]134人(134人／1日)

◆第8回京都ヒストリカ国際映画祭

[期間]2016年11月2日(水)～13日(日)

[主催]京都ヒストリカ国際映画祭映画祭実行委員会(株式会社松竹撮影所、東映株式会社京都撮影所、京都府、立命館大学、株式会社東映京都スタジオ、ディレクターズ・ユニブ、当館)

[共催]KYOTO CMEX 2016

[会場]本館3階フィルムシアター

[内容]『黄金時代』『グランドマスター』『古都』『駆け込み女と駆け出し男』『ホームズマン』『隻眼の虎』等21作品の上映とトミー・リー・ジョーンズ(映画俳優・『ホームズマン』監督)、ロジャー・ガルシア(香港国際映画祭エグゼクティブディレクター)、原田真人(『駆け込み女と駆け出し男』監督)、原田哲男(映画美術監督)、Yuki Saito(『古都』監督)、ジョルジア・ファリーナ(『わたしが棄てたナポレオン』監督)、アロー

ン・ヤマサト(『忍者EX』監督)、中島貞夫(『くノ一忍法』監督)、福本清三(映画俳優)、菅原俊夫(殺陣師)、浅井カヨ(日本モダンガール協会)、ショープ・ヤラガッタ(映画プロデューサー)、坂本頼光(活動写真弁士)、川上仁一(武術家、忍術研究家)、立石邦博(日本忍者協議会事務局長)、チョ・ヨンソク(VFXスーパーバイザー)によるトーク。

[鑑賞者数]1,519人(138／1日)

◆【第19回京都国際学生映画祭 目前祭】

「格差」を捉えた学生映画

[期間]2016年11月19日(土)

[会場]本館3階フィルムシアター

[共催]大学コンソーシアム京都、京都国際学生映画祭

[内容]『ゴロン、バタン、キュー』『Fidelity』2つの学生映画作品の上映と山元環監督(『ゴロン、バタン、キュー』監督)によるトーク。

[鑑賞者数]45人(45人／1日)

◆鬼才・実相寺昭雄の映像世界

～ウルトラマンから仏像まで～

[期間]2016年11月29日(火)、12月6日(日)～11日(金)

[共催]実相寺昭雄研究会

[会場]本館3階フィルムシアター

[内容]『KANTOKU実相寺昭雄』『あさき夢みし』『悪徳の栄え』『無常』『ウルトラセブン／狙われた街』『ウルトラマン／故郷は地球』『ウルトラマンマックス／狙われない街』『おかあさん／あなたを呼ぶ声』『怪奇大作戦／京都買います』『歴史はここに始まる／池袋モンパルナス』等26作品の上映と堀内正美(映画俳優)、原知佐子(映画女優・実相寺監督夫人)、勝賀瀬重憲(映画監督)、安齋レオ(嵯峨美術大学准教授)、内野惣次郎(嵯峨美術大学客員教授)、中堀正夫(映画撮影監督)、樋口尚文(映画研究者)によるトーク。

[鑑賞者数]604人(86人／1日)

◆シネマの冒険 闇と音楽2016 スウェーデン映画協会コレクション

[期間]2016年12月1日(木)～4日(日)

[共催]スウェーデン映画協会、東京国立近代美術館フィルムセンター

[会場]本館3階フィルムシアター

[内容]『人生の春』『十誠』『グンナール・ヘデ物語』『ノールトゥル地区の仲間たち』『燕尾服を着た娘』の上映と生駒祐子による伴奏(12月3日13:30～、4日13:30～)。

[鑑賞者数]271人(68人／1日)

## ② 映画製作者・研究者・専門家向け普及事業

## ◆ 日本映像学会関西支部第38回夏期映画ゼミナール

〔期間〕2016年9月2日(金)～4日(日)

〔共催〕日本映像学会関西支部

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕加藤泰特集 生誕100年

『風と女と旅鴉』『暎の母』『人情紙風船』『緋牡丹博徒 お竜参上』等8作品の上映と井川徳道(映画美術監督)、山根貞男(映画評論家)、石原昭(映画美術監督)、北浦寛之(国際日本文化研究センター助教)、小川順子(中部大学准教授)によるシンポジウム。

〔参加者数〕919人(306人／1日)

◆ 日本映画テレビ技術協会映像技術受賞作品上映会  
+トーク

〔期間〕2016年9月10日(土)

〔共催〕日本映画テレビ技術協会 京都支部、京都クロスメディア推進戦略拠点

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕『砂の器』上映と水戸遼平(IMAGICAデジタル修復担当)、戸田桂(映画研究者)によるトーク。

〔参加者数〕205人(205人／1日)

◆ 第9回京都フィルムメーカーズラボ  
(Kyoto Filmmakers Lab 2016)

〔期間〕2016年10月29日(土)～11月1日(火)

〔主催〕京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会[京都府、東映京都撮影所、松竹撮影所、京都文化博物館、立命館大学、東映京都スタジオ、巖本金属、ディレクターズ・ユニブ]

〔共催〕第29回東京国際映画祭実行委員会、KYOTOCMEX実行委員会

〔協力〕京都クロスメディア推進戦略拠点

〔会場〕東映京都撮影所、松竹撮影所、当館

〔内容〕世界各国から若手映画作家を招き、東映、松竹の両撮影所で5分の短編時代劇2作品を製作する合宿形式のワークショップ(公用語：英語)。web公募の結果、42カ国247名の応募。審査の結果、外国人11カ国24名、日本人16名が審査を通過(日本、アメリカ、スペイン、イギリス、ドイツ、デンマーク、インド、ネパール、フィリピン、中国、韓国、バングラデシュ、アフガニスタン)。東映、松竹の京都撮影所で石原興(映画監督／松竹)、安藤清人(照明

監督／東映)監修の時代劇製作ワークショップ、撮影所見学を開催。

〔参加者数〕40名

## ◆ 京都フィルムメーカーズラボ・マスターズセッション

〔期間〕2016年10月31日(月)～11月3日(木)

〔主催〕京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会[京都府、東映京都撮影所、松竹撮影所、京都文化博物館、立命館大学、東映京都スタジオ、巖本金属、ディレクターズ・ユニブ]

〔共催〕第29回東京国際映画祭実行委員会、KYOTOCMEX実行委員会

〔協力〕京都クロスメディア推進戦略拠点

〔会場〕本館3Fフィルムシアター、東映京都撮影所、松竹撮影所旧武徳殿、百万遍知恩寺、京都大学国際科学イノベーション棟

〔内容〕京都フィルムメーカーズラボ参加者、堀越謙三(プロデューサー／ユーロスペース代表)、マーク・アダムズ(エジンバラ国際映画祭 アーティスティック・ディレクター)、カレル・オフ(カルロヴィ・ヴァリ国際映画祭 アーティスティック・ディレクター)、ケント・ジョーンズ(映画監督、ニューヨーク映画祭ディレクター)、ショーブ・ヤーラガッダ(アーカ・メディア・ワークスCEO、プロデューサー)、深田晃司(映画監督)、Yuki Saito(映画監督、2008ラボ参加者)、ジョルジア・ファリーナ(映画監督、2011ラボ参加者)、八木毅(映画監督、2013ラボ参加者)によるトーク。

〔参加者数〕453人(113人／1日)

◆ 日本映画テレビ技術協会映像技術受賞作品上映会  
+トーク

〔期間〕2017年2月10日(金)

〔共催〕日本映画テレビ技術協会 京都支部、京都クロスメディア推進戦略拠点

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕『日本のいちばん長い日』上映と原田真人(『日本のいちばん長い日』監督)によるトーク。

〔鑑賞者数〕170人(170人／1日)

### ③大学生向け普及事業

#### ◆インターンシップの受け入れ

平成28年度 前期 立命館大学(映像学部2名)

### 3) 映像ギャラリー常設展示

京都府所蔵の映画関連資料より、映像ホールでの企画上映にあわせて、ポスター・スチル・チラシ等50点前

後の資料を随時展示替えしながら公開している。2016年度は下記のテーマで展示した。

#### 【映像ギャラリー展示資料一覧】

期 間	テ ー マ
2016.4.1～30	映画本百景 関東甲信越篇
2016.5.1～6.24	生誕100年記念 木下忠司 映画音楽の世界
2016.6.25～7.15	EUフィルムデーズ2016 映画で旅するヨーロッパ
2016.7.16～8.9	祇園祭記念特別上映/夏休み子ども映画特集 子どもの瞳に映る夢と現実
2016.8.10～9.1	映画本百景 東京の変遷
2016.9.2～10.1	日本映像学会関西支部 第38回夏期映画ゼミナール 加藤泰特集 生誕100年/社会派・ミステリー・推理・サスペンス特集
2016.10.4～30	京都の映画文化をアーカイブする 大映京都撮影所特集1
2016.11.2～13	第8回京都ヒストリカ国際映画祭
2016.11.15～30	京都の映画文化をアーカイブする 大映京都撮影所特集2
2016.12.13～27	【三宅邦子生誕100年記念小特集】戦前松竹大船映画とモダン女優
2017.1.9～2.5	映画本百景色 大阪人情篇
2017.2.7～3.5	【日本映画120年記念企画】古典・名作映画ノススメ1
2017.3.7～4.2	【日本映画120年記念企画】古典・名作映画ノススメ2

## III-4 その他

#### 【総合展の小中高校生の入場料の無料化】

2008年度の開館20周年を機に、次世代を担う子供たちに京都の歴史や文化・芸術に身近に親しんでいただくことを目的として、小中高生の総合展入場料の無料化を始めた。2016年度は4,025名の子供が入場した。

#### 【夜間開館の実施】

来館者の利便性をより高めることを目的として、2008年6月から特別展の開館時間の延長を開始した。毎週金曜日に限り、閉室時間を午後6時から午後7時30分とした。また、各特別展会期中の数回、金曜日の夜間開館にあわせて午後6時から30分程度でギャラリートークを開催している。2016年度の夜間開館入場者は2,147名であった。

# IV 調査研究活動

## IV- 1 学芸員の活動

### 1) 研究

#### 【博物館研究費による研究】

- 畑 智子 ・幕末～明治期京都の文化サークル(2)  
—今尾景年、大橋松次郎
- 林 智子 ・近世武家の服飾文化について
- 植田彩芳子 ・近代京都における絵画に関する総合的研究
- 西山 剛 ・都市民の結節点としての神社
- 村野正景 ・当館所蔵考古資料の再整理3
- 橋本 章 ・祇園祭と京都の生活文化に関する研究②
- 森 道彦 ・中近世の掛幅表装の文化、技術史に関する調査研究
- 長村祥知 ・博物館蒐集公家文庫旧蔵文献史料の研究

#### 【外部研究費・共同研究費等による研究】

- 西山 剛 ・東京大学史料編纂所 近世都市図解析プロジェクト
- 森 道彦 ・鹿島美術財団助成「美術に関する調査研究」(採択研究「室町時代における花鳥図制作と写生の機能について—初期狩野派「鳥類図巻」(京都国立博物館)を中心に—)
- 長村祥知 ・東京大学史料編纂所特定共同研究「寺門派寺院所蔵中世史料の調査・研究」  
・国立歴史民俗博物館共同研究「中世文書の様式と機能および国際比較と活用に関する研究」

### 2) 出講・委嘱

- 畑 智子 ・第16回福知山市佐藤太清賞公募美術展 審査員／・「美連協奨励賞」推薦委員
- 森脇清隆 ・文化庁メディア芸術連携促進事業企画案 選定委員／・文化庁日本映画情報システムの情報収集等業務に関する企画案選定委員／・文化庁若手アニメーター等人材育成事業企画案選定委員／・京都国際学生映画祭企画検討委員／・京都市コンテンツ産業振興に向けた有識者懇談会委員／・立命館大学映像学部非常勤講師
- 洲鎌佐智子 ・滋賀県文化財保護審議員／・京都国立近代美術館平成28年度第1回美術作品購入等 評価員／・京都国立博物館買取評価員／・京都国立博物館寄贈評価員／・滋賀県立陶芸の森ゲスト・アーティスト選考委員／・第28回創工会審査員／・第49回青窯会作陶審査員／・第37回京都工芸美術作家協会展審査員
- 西山 剛 ・世界人権問題研究センター 嘱託研究員
- 村野正景 ・金沢大学国際文化資源学術研究センター 客員研究員／・京都外国語大学・京都ラテンアメリカ研究所 客員研究員
- 橋本 章 ・京都民俗学会理事／・日本民俗学会第69回年会実行委員会委員
- 長村祥知 ・伊賀市文化財保護審議会委員
- 大矢敦子 ・立命館大学衣笠総合研究機構客員協力研究員／・平成29年度「文化関係資料アーカイブ」企画案選定委員

### 3) 業績

IV- 1 学芸員の活動 ▶ 3) 業績

#### ①論文・著作

- 畑 智子 ・「大橋家と大橋松次郎」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第29集所収／2017年3月)  
・「並河ブランドを陰で支えた立役者—中原哲泉」(『並河靖之七宝展』東京都庭園美術館図録所収／2017年1月)
- 森脇清隆 ・「Textile Industry and Design Strategies in Meiji Era Japan— The case of Nishimura Sozaemon family」(第10回ICDHS国際デザイン会議 報告書／2016年10月)
- 森脇清隆 ・「映画館の効能書き」(『京都新聞』コラム「現

- 代のことば」／京都新聞社、2015年4月23日夕刊)
- ・「日本のハリウッド再び」(『京都新聞』コラム「現代のことば」／京都新聞社、2015年6月8日夕刊)
- 林 智子** ・「資料紹介 京都府コレクションにみる武家の服飾」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第29集所収／2017年3月)
- 植田彩芳子** ・「内剛外柔の人 堂本元次の生涯と芸術」(『堂本元次展—ここに映ゆ—』図録所収／京都府立堂本印象美術館／2016年4月)
- ・「2015年の歴史学界—回顧と展望—(近現代美術)」(『史学雑誌』第125編第5号／史学会／2016年5月)
  - ・「翻刻 小川千襲『滞欧日記(上)』(2)」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第29集所収／2017年3月)
- 西山 剛** ・「誓願寺門前図屏風を歩いてみると」(『鴨東通信』No.103、2016年9月)
- ・「戦国時代の京都都市民に関する点景」(図録『戦国時代 A Century of Dreams』／東京都江戸東京博物館・京都府京都文化博物館・米沢市上杉博物館・読売新聞社／2016年11月)
  - ・「神を昇く人々 祇園会・北野祭礼を中心に」(『神輿文化を考える』／國學院大学研究開発推進機構学術資料センター／2017年2月)
- 村野正景** ・「『アートと考古学』ことはじめ—京都での取組の紹介を中心に—」(『田中良之先生追悼論文集 考古学は科学か』所収／中国書店／2016年5月)
- ・「『アートと考古学』とは何か」(『アートと考古学展 物の声を、土の声を聴け』図録／京都文化博物館／2016年7月)
  - ・「エルサルバドルの芸術と大聖堂—何に価値をおくのか?」(『月刊みんぱく』第41巻第2号所収／国立民族学博物館／2017年2月)
  - ・「謎の装飾技法を解く：いわゆるウズルタン様式土器の復元と現代的再生プロジェクト」(『金沢大学 文化資源学研究』第16号所収／金沢大学人間社会研究域附属国際文化資源学研究センター／2017年3月)
  - ・「Una síntesis del estudio sobre la técnica para la elaboración de una cerámica de estilo Usulután」(『Kanazawa Cultural Resource Studies』NO.16所収／Centre for Cultural Resource Studies, Institute of Human and Social Sciences, Kanazawa University／2017年3月)
- ・「世界考古学会議(WAC-8)と京都文化博物館の取組」(『文化財レポート』第30号所収／公益財団法人京都文化財団／2017年3月)
  - ・「京都文化博物館と京都府立鴨沂高等学校の連携授業および展覧会の報告—学校所蔵考古・歴史資料展の取組を中心に—」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第29集所収／2017年3月／共著)
- 橋本 章** ・『戦国武将英雄譚の誕生』(岩田書院／2016年7月)
- ・「歌舞伎芸能の地方伝播—長浜曳山祭の子ども歌舞伎における振付の来訪の様相を題材に—」(市川秀之・武田俊輔編『長浜曳山祭の過去と現在』サンライズ出版／2017年3月所収)
  - ・「南観音山と阿形精一—木彫漆箔四君子 薬玉角飾 収納用木箱蓋裏書から—」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第29集所収／2017年3月)
- 森 道彦** ・「総論 掛軸について」※中野慎之氏(京都府教育庁指導部文化財保護課)との共同執筆(京都大学総合博物館・京都文化博物館共催『日本の表装』展図録所収／2016年12月)
- ・『公益財団法人 渡辺美術館所蔵品調査報告書(第三回)狩野派絵画』(※奥平俊六氏、門脇むつみ氏との共編／2017年3月)
- 長村祥知** ・「洛陽三十三所観音の再興に寄せて」(『中外日報』2016年5月20日「論」／2016年5月)
- ・「建暦三年七月『仁王経御修法請定』(京都文化博物館蔵)」(『古代文化』68-1／2016年6月)
  - ・「源行家の上洛と『頼政入道党』」(『古代文化』68-1／2016年6月)
  - ・「任官雑例抄」(『鴨東通信』102／2016年7月)
  - ・「戦国時代の公家と列島諸地域」(東京都江戸東京博物館・京都府京都文化博物館・米沢市上杉博物館・読売新聞社『戦国時代展 A Century of Dreams』読売新聞社／2016年11月)
  - ・「本朝皇胤紹運録」(『土車』130／2016年12月)
  - ・「聖護院近現代文書の調査について」(青谷

美羽と共著／『本山修験』205／2017年1月)  
・「木曾義仲と京都」(『京都女子大学宗教・文化研究所研究紀要』30／2017年3月)

大矢敦子

・「『木曾義仲』を読む」(下出積興『木曾義仲』吉川弘文館／2016年11月)  
・「関係館案内 京都文化博物館」(『泉鏡花研究会会報』第32号／泉鏡花研究会事務局／2016年12月)

IV-1 学芸員の活動 ▶ 3)業績

## ②発表・講演

- 畑 智子 ・「Textile Industry and Design Strategies in Meiji Era Japan— The case of Nishimura Sozaemon family」(第10回ICDHS国際デザイン会議／於：台北National Taiwan University of Science Technology／2016年10月28日)
- 森脇清隆 ・木曜サロン「作品か商品か、京都のものづくり、映画づくり」(講師／於：グランフロント大阪 ナレッジキャピタル／2016年8月11日)  
・第11回映画フィルム復元ワークショップ「国内フィルムアーカイヴの映画保存の実践と課題」(コーディネーター／株式会社IMAGICA／2016年8月27日)  
・「京都の映画文化・産業について」(講師／於：京都橘大学／2016年12月15日)  
・「シネマトグラフと日本」(講師／於：元立誠小学校／2017年2月3日)  
・「映画が伝えてきたもの」(講師／於：佛教大学四条センター／2017年3月21日)
- 洲鎌佐智子 ・「伝統産業と団扇」(文化を未来に伝える次世代育み事業「学校・アート・出会いプロジェクト」ワークショップ／於：舞鶴市立高野小学校／6月14日、八幡市立くすのき小学校／2016年6月27日、28日)
- 林 智子 ・「京都府コレクションにみる武家の服飾資料」(ぶんぱく京都講座／於：京都文化博物館／2017年3月11日)
- 植田彩芳子 ・「近代京都画壇と大津絵—小川千甕筆《西洋風俗大津絵》を中心に—」(国際シンポジウム 江戸の庶民絵画大津絵を読み解く 街道絵師からミロまで／於：日仏会館／2016年7月9日)  
・「渡辺省亭の生涯と作品」(シンポジウム 没後100年渡辺省亭とその時代—日仏近代美術の黎明—／於：日仏会館／2017年3月10日)
- 西山 剛 ・「戦国時代展」トークイベント(阿部哲人・齋藤慎一・長村祥知と共同／「戦国時代展」トークイベント／於：東京都江戸東京博物館／2016年5月10日)  
・「中近世における祇園会神輿をめぐる人々」(藝能史研究会大会／於：同志社大学／2016年6月5日)  
・「戦国時代の都市文化 東山御物と洛中洛外図」(「美の時代としての戦国」／於：高槻市立大冠公民館／2016年12月13日)  
・「みどころ解説」(「パネルディスカッション いざ！戦国時代展へ！」／於：江戸東京博物館／2016年12月25日)  
・「京都文化博物館におけるボランティア活動」(京都文化芸術コアネットワーク例会「大ボランティアの会」／於：京都芸術センター／2017年3月3日)  
・「戦国時代展」のメッセージ(阿部哲人・齋藤慎一・長村祥知と共同、「戦国時代展」トークイベント／於：京都文化博物館／2017年3月22日)
- 村野正景 ・「『アートと考古学』という取組の可能性」(文化遺産の創出と普及活動：人類学研究の新たな課題と挑戦 日本ラテンアメリカ学会第37回定期大会／於：京都外国語大学／2016年6月4日)  
・「考古学の新たな挑戦：アート、教育、まちづくり」(講演会・四館連携講座／於：京都文化博物館／2016年8月20日)  
・「“Art & Archaeology: the Silent Voices of Materials and Soil” Exhibition in the Museum of Kyoto, Japan: How A&A can create new value of Archaeology?」(Eighth World Archaeological Congress／於：同志社大学／2016年8月28日-9月2日)  
・「京都の学校と考古学のつながり～学校所蔵資料の魅力とその価値」(ぶんぱく京都講座／於：京都文化博物館／2016年9月10日)  
・「京都における『祭り』を通じた地域コミュ

- ニティ創り」(JICA国別研修「コロンビア官民連携による地域産業・観光振興研修」／於：京都文化博物館／2016年10月3日)
- ・『『アートと考古学』の挑戦—新たな文化遺産の世界』(鴻池新田会史講座／於：鴻池新田会所／2016年10月23日)
  - ・『『アートと考古学』の導入と展開について—日本と中米の事例から—』(平成28年度国立民族学博物館共同研究会 考古学の民族誌—考古学的知識の多様な形成・利用・変成過程の研究／於：国立民族学博物館／2016年11月5日)
  - ・「Art & Archaeology Forum in Kyoto and "Art & Archaeology Exhibition: The Silent Voices of Materials and Soil"」(Archaeology, Place making and art in Japan and the UK / 於：The Vestry Museum, UK / 2016年11月24日)
  - ・「謎の装飾技法を解く：いわゆるウスルタン様式土器の復元と現代的再生プロジェクト」(金沢マヤシンポジウム マヤ文明研究の現在—分野融合研究を通じた新しいマヤ文明史の再構築／於：金沢大学サテライトプラザ／2016年12月10日)
  - ・「多分野連携と価値創造—アートと考古学展を題材に—」(KONANプレミア・プロジェクト「博学プロジェクト」公開シンポジウム 博物館学芸員が語るミュージアムの現場—展示や交流活動、研究・調査活動について—／於：甲南大学／2016年12月23日)
  - ・「遺産創造という考え方」(Exhibition as media 2016 -2017 とりのゆめ / bird's eye / 於：神戸アートビレッジセンター／2017年2月26日)
- 橋本 章**
- ・「戦国武将の民俗誌—長宗我部盛親の発見—」(京都民俗学会第288回例会／於：ウイングス京都／2016年5月27日)
  - ・「祇園祭～山鉦を飾る品々のうつりかわり～」(ぶんぱく京都講座／於：京都文化博物館／2016年7月16日)
  - ・「戦国武将の事績による地域活性化の是非—近江・石田三成の事例から—」(日本民俗学会第68回年会／於：千葉商科大学／2016年10月2日)
  - ・「シンポジウム『落日の中の民俗学』を超えて—京都で考える民俗学のかたち—」趣旨説明と司会進行(京都民俗学会11月例会／

- 於：京都市職員会館かもがわ／12月3日)
- 森 道彦**
- ・「歴史を表装する—女性の信仰と古文書表装—」(シンポジウム 表装と日本文化／於：京都文化博物館／2016年12月18日)
  - ・「掛軸の歴史と文化をたどる」(ぶんぱく京都講座／於：京都文化博物館／2017年1月14日)
  - ・「植物画の歴史と日本」(講師／於：京都府立植物園／2017年1月31日)
  - ・「馬医草紙の諸問題」(大画面説話画の総合研究／於：学習院大学／2017年3月26日)
- 長村祥知**
- ・「戦国時代展」トークイベント(阿部哲人・齋藤慎一・西山剛と共同／「戦国時代展」トークイベント／於：東京都江戸東京博物館／2016年5月10日)
  - ・「御堂関白記と花園院宸記の魅力—卷子本日記とコロタイプ複製—」(企画展「美の記憶—よみがえる至宝たち—」特別講演会／於：高岡市美術館／2016年10月2日)
  - ・「戦国時代の列島諸地域と京都」(二館連携美術講座「美の時代としての戦国」／於：高槻市五領公民館／2016年12月17日)
  - ・「戦国時代展」講演会・パネルディスカッション(阿部哲人・西山剛と共同、「戦国時代展」講演会・パネルディスカッション／於：東京都江戸東京博物館／2016年12月25日)
  - ・「東寺百合文書」(歴史講座Cコース「空海の寺、高野山と東寺」／於：姫路市市民会館／2017年2月6日)
  - ・「戦国時代展」のメッセージ(阿部哲人・齋藤慎一・西山剛と共同、「戦国時代展」トークイベント／於：京都文化博物館／2017年3月22日)
- 大矢敦子**
- ・「大正期の芝居と映画 新京極と千本通」(みやこぐさ第1回講演会／於：ひとまち交流館／NPO法人京都観光文化を考える会・都草主催／2016年8月29日)
  - ・「京都文化博物館の事例」(神戸映像アーカイブプロジェクト ノンフィルム資料の保存と活用／於：神戸映画資料館／神戸映像アーカイブ実行委員会主催／2016年12月11日)

# V 普及活動

## V-1 出版物

---

### 1) 研究紀要『朱雀』

---

#### 【『朱雀』第29集】

発行：京都文化博物館

発行日：2017年3月31日

印刷：株式会社 吉川印刷工業所

体裁：A4判、86ページ

編集担当：畑 智子、大川原絵里子

所載記事：

[研究ノート]

- ・村野正景、島田雄介、岩崎俊之、西村大輔  
京都文化博物館と京都府立鴨沂高等学校の連携授業および展覧会の報告  
—学校所蔵考古・歴史資料展の取組を中心に—

・橋本 章

南観音山と阿形精一

—「木彫漆箔四君子文薬玉角飾」収納用木箱蓋裏書から—

[資料紹介]

・林 智子

京都府コレクションにみる武家の服飾

・植田彩芳子、増渕鏡子

翻刻小川千甕『滞欧日記(上)』(2)

・畑 智子

大橋家と大橋松次郎について

・西山 剛

京都府蔵『当時勤仕諸役人職掌』の翻刻と紹介(1)

### 2) 年報

---

#### 【京都文化博物館2015(平成27)年度年報】

編集・発行：京都文化博物館

発行日：2016年9月30日

印刷：三星商事印刷株式会社

体裁：A4判、72ページ

編集担当：林 智子、大川原絵里子

### 3) 展覧会図録

---

#### 【江戸の植物画】

体裁：タテ29.7cm×ヨコ22.5cm、52ページ

編集：京都文化博物館

発行：京都文化博物館

発行日：2016年4月29日

印刷：株式会社スイッチ・ティフ

#### 【京都府新鋭選抜展2017—Kyoto Art for Tomorrow—】

体裁：タテ29.7cm×ヨコ21cm、40ページ

編集：京都府、京都文化博物館

発行：京都府、京都文化博物館

発行日：2017年1月

印刷：株式会社ライブアートブックス

#### 【アートと考古学展 物の声を、土の声を聴け】

体裁：タテ21cm×ヨコ29.7cm、96ページ

編集：京都文化博物館

発行：京都文化博物館

発行日：2016年7月23日

印刷：株式会社スイッチ・ティフ

#### 【日本の表装—掛軸の歴史と装い】

体裁：タテ29.7cm×ヨコ22.5cm、168ページ

編集：岩崎奈緒子(京都大学総合博物館館長)

森 道彦 (当館学芸員)

発行：アクティブKEI(京都大学総合博物館ミュージアムショップ)

発行日：2016年12月17日

印刷：株式会社スイッチ・ティフ



## V-2 音楽会

◆いずれも、主催：京都文化博物館、会場：当館別館ホール

### ① 祇園祭協賛事業 祇園祭ミュージアムコンサート

#### 【同志社女子大音楽専攻科による

##### 宵山ミュージアムコンサート】

日 時：2016年7月16日 午後2時～  
演奏者：同志社女子大学音楽専攻科生  
入場者：750名

#### 【第27回宵山に箏曲を聴く夕べ】

日 時：2016年7月16日 午後6時～  
演奏者：生田流宮城社麗調会社中(箏曲演奏)  
入場者：500名

#### 【祇園祭ミュージアムコンサート】

日 時：2016年7月17日、18日  
演奏者：  
◎7月17日 午後1時～7時30分  
MOMONGA<アイリッシュ他>  
プカマイカラー・ナレオハワイアンズ<ハワイアン>  
The Juke Box<オールディーズ・ポップス>  
京都廣学館高等学校吹奏楽部<吹奏楽>  
サントロペーの仲間たち<シャンソン>  
京都府立京都すばる高等学校吹奏楽部<吹奏楽>

プレス&FIRST LINE<ゴスペル他>  
鈴江先子<オカリナ>with 福井秀彦<ギター>  
◎7月18日 午後0時30分～8時  
キャッツ&ドール<ジャズ>  
わらく堂 with やま。<ピアノ弾き語り>  
ラッシー <オールドタイムミュージック>  
京都市立桃山中学校吹奏楽部<吹奏楽>  
JEUGIA ミュージックサロン三条・四条  
満月堂<70年代フォーク>  
ふら〜っとオールスターズ<ジャズ>  
ピューリティーズ<アメリカンフォーク>  
ニューシャープハードオーケストラ<ジャズ・ポップス>  
入場者：5,092名

\* 祇園祭協賛事業として開催し、午後8時30分まで別館の開館時間を延長した。

### ② その他のコンサート

#### 【明治の名建築に響く 若手音楽家の調べ 『COOL MUSIC SPOT in 京都文化博物館 2016』】

日 時：8月10日～13日、17日～19日、  
24日～26日 午後1時～3時  
演奏者：  
10日(水) 京都女子大学/京都市立芸術大学  
11日(木) 同志社女子大学/京都市立芸術大学  
12日(金) 京都女子大学/京都市立芸術大学  
13日(土) 同志社女子大学/京都市立芸術大学  
17日(水) 京都女子大学/同支社女子大学  
18日(木) 京都市立芸術大学/京都女子大学  
19日(金) 同支社女子大学/京都市立芸術大学  
24日(水) 京都市立芸術大学/京都女子大学/  
同志社女子大学  
25日(木) 京都市立芸術大学/京都女子大学/  
同志社女子大学  
26日(金) 京都市立芸術大学/京都女子大学  
入場者：4,866名

#### 【Autumn ミュージアムコンサート Classical Music & Wind-instrument Music】

日 時：2016年10月23日(日)  
午後0時30分～6時30分  
演奏者：  
京都市立芸術大学  
同志社女子大学  
京都市立桃山中学校吹奏楽部  
京都府立京都すばる高等学校吹奏楽部A  
京都明德高等学校吹奏楽部  
京都府立京都すばる高等学校吹奏楽部B  
入場者：3,316名

## V-3 学習普及外部連携室

### 1) ボランティア

2017年3月31日現在(2016年度)、186名のボランティアスタッフが活動している。ボランティアは“ぶんぱくボランティア”と“アソシエイトボランティア”の2つに大きく分かれ、“ぶんぱくボランティア”は2階総合展示室の案内をおこなう“フロアスタッフ”と音楽会や講演会、ワークショップなどのイベントサポート業務をおこなう“イベントサポートスタッフ”から構成されている。

フロアスタッフは日本語80名、英語36名、中・仏・西などその他の外国語12名の128名が朝10時から夜7時30分までの間、3交代制で活動をおこなっている。

イベントサポートスタッフは26名おり、イベントのサポート業務にとどまらず企画もおこなっている。アソシエイトボランティアは32名おり、博物館の広報活動への協力や臨時のサポート、館への意見等をもらうなどの活動をおこなっている。

ボランティアは、2階総合展示の開始にあわせて設定される研修会に参加し、展示内容および展示室運営を含めた総合的なレクチャーを実施している。

### 2) 「ぶんぱく子ども教室」事業

学習普及連携室が軸となり、ボランティアスタッフと学芸員が協働して企画運営をおこなう「ぶんぱく子ども教室」を実施した。

◎学習普及連携室チーム(神山俊昭、海老名和孝、長村祥知、西山剛、森道彦、末廣たから)

#### 【第1回 祇園祭 お囃子体験教室】

日時：2016年7月16日(土) 午前10時～11時30分

担当者：イベント・ボランティアおよび学習普及連携室チーム

協力：公益財団法人 南観音山保存会

参加者数：20名

実施目的：

- ①京都の三大祭のひとつである祇園祭をより身近に感じてもらう。
- ②京都文化博物館総合展示中の祇園祭とも関連して興味をもってもらおう。

#### 【第2回 自分だけのピラミッドをつくろう！】

日時：2016年11月12日(土) 午後1時～3時45分

担当者：イベント・ボランティアおよび学習普及連携室チーム

参加者数：15名

実施目的：

- ①特別展「国立カイロ博物館所蔵 黄金のファラオと大ピラミッド展」の理解を深める。
- ②古代エジプトのモチーフや色使い、造形感覚に親しんでもらう。

#### 【第3回 ミニ掛軸を作ろう！】

日時：2017年1月29日(日) 午前10時30分～午後0時30分

担当者：イベント・ボランティアおよび学習普及連携室チーム

参加者数：10名

実施目的：

- ①絵の材料の色々、掛軸の材料の色々を知ってもらう。
- ②何を掛軸にしたいと思うか。仕立てて残すことの意味と、歴史の関わりを感じてもらう。
- ③作品のフレームについて考えてもらう

#### 【第4回 館内ぐるぐる探検ツアー】

日時：2017年3月11日(土) 午後1時～2時30分

担当者：イベント・ボランティア

参加者数：9名

実施目的：

- ①京都文化博物館を知ってもらう
- ②博物館がどういうところかを知ってもらう
- ③博物館に親しんでもらう、博物館をより身近に感じてもらう
- ④新しい友達や仲間づくりを通じて、社会性を養ってもらう
- ⑤ボランティアスタッフの発案、準備、実施による事業として、ボランティアの自発性の育成を図る。

### 3) 団体見学案内

個人での来館とは別に、数人から100人程度のグループによる来館がある。これに対しては、事前の申し出があれば施設、総合展示、特別展等の解説に応じている。2016年度の来館件数は94件であった。このうち解説を行ったのは、39件である。団体来館は学校の授業、修学旅行などの行事の一環として行われることが主体で、

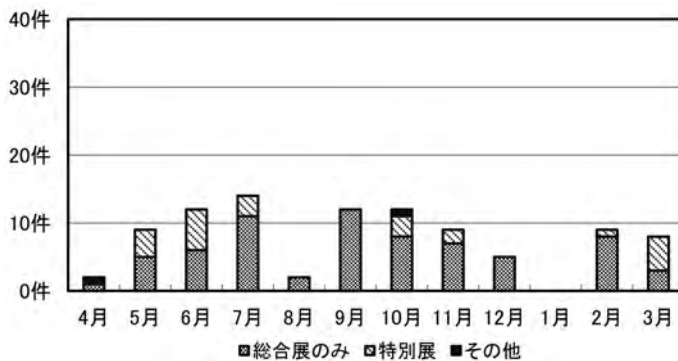
全体の半数をしめるが、各種の文化サークルや団体旅行での訪問も多い。学校の区分では大学が一番多く、中学校、高校がつづく。

本年度は、6～7月、9～10月の団体申し込みが多く、一方で、7、9月は総合展示目的の申し込みが全体を占めている。

【2016年度団体見学案内件数】

2016年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	68	446	350	299	28	349	905	372	136	0	190	131	3274
来館件数	2	9	12	14	2	12	12	9	5	0	9	8	94
解説件数	2	3	3	10	1	4	5	2	0	0	4	5	39

【月別申込み件数】



【団体種類別件数】

団体	件数
小学校	4
中学校	17
高校	12
専門学校	2
大学	30
支援学校	5
一般	24
合計	94

### 4) 生き方探求チャレンジ体験

京都市内中学校の職業体験学習。平成28年度は以下の学校の生徒を受入れた。

- ・京都市立京都御池中学校 2016年5月24(火)～5月27日(金) 4日間 2名
- ・京都市立西ノ京中学校 2016年5月24(火)～5月26日(木) 3日間 2名
- ・京都市立東山泉小中学校 2016年11月8日(火)～11月11日(金) 4日間 3名

## V-4 博物館実習

### 【実施期間】

2016年8月1日(月)～8月5日(金)

### 【実習生】

京都府立大学……………	2名
立命館大学……………	3名
京都造形芸術大学……………	2名
京都外国語大学……………	2名
京都学園大学……………	1名
京都ノートルダム女子大学	1名
沖縄県立芸術大学……………	1名
京都美術工芸大学……………	1名
甲南女子大学……………	1名
同志社大学……………	1名
龍谷大学……………	1名
滋賀県立大学……………	1名
成安造形大学……………	1名

(計18名)

### 【実習内容／担当者】

- ・京都文化博物館の概要・館内見学／橋本章
- ・民俗資料の取り扱いについて／橋本章
- ・映像資料の取り扱いについて／森脇清隆、大矢敦子
- ・博物館の展示について／村野正景、橋本章
- ・文献資料の取り扱いについて／西山剛
- ・考古資料の取り扱いについて／村野正景
- ・美術資料の保存管理と修理について／森道彦
- ・美術資料の取り扱いについて／植田彩芳子
- ・工芸資料について／洲鎌佐智子
- ・染織資料について／林智子
- ・懇談、質疑応答／各担当学芸員

## V-5 資料・情報公開

### 1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像など多分野にわたり、現在単行本約80,530冊、逐次刊行物約3,174タイトル(77,940冊)を収蔵している。なかでも埋蔵文化財の発掘調査報告書が約33,910冊、展覧会図録が約13,850冊と多く、また、映画のシナリオを約12,000冊収蔵しているのも特徴である。これらの図

書資料については、研究目的で特に閲覧を希望する者に対して公開している。なお、本年度の書籍の受け入れ数は約2,101件であり、その内、埋蔵文化財発掘調査報告書が約670冊、展覧会図録が約370冊、年報・紀要類が約500冊であった。

### 2) ホームページによる広報とコンテンツの提供

webサイトは、2016年度は若い層を取り込んでいけるようSNSでの発信を強化するとともにスマートフォンサイトの構築も行った。今後は増加する外国人観光客にむけて多言語サイトの充実を図りたい。

### 【ホームページの利用状況】

2016年度	総数	一日平均
アクセス数	440,999	1,208
ページビュー	608,577	1,667

## V-6 外部連携活動

### 1) 他館との連携

V-6 外部連携活動 ▶ 1) 他館との連携

#### ①京都市内4館連携協力協議会

京都国立近代美術館、京都国立博物館、京都市美術館、当館の4館による連携協力及び館運営にかかる情報交換を円滑におこなう目的で、京都市内4館連携協力協議会(「京都ミュージアムズ・フォー」)が2009年6月12日に発足した。2016年度は、4館連携講座、各館の年間スケジュールを掲載したリーフレットの作成、リーフレット利用したスタンプラリー(参加[応募]者:107名)、

各館友の会会員の相互割引(4館合計:1,376名)を実施したほか、4館相互割引制度(10月1日から12月4日まで)も実施した(4館合計:219名)。

V-6 外部連携活動 ▶ 1) 他館との連携

#### ②事業協力

##### 【「関西文化の日」事業への連携】

関西広域連携協議会、関西元気文化圏推進協議会主催の本事業に、2016年11月19日、20日の両日協力した。総合展示を無料開放し、2日間で939名の方々にお越しいただいた。

##### 【「ミュージアムぐるっとパス関西2016」への参加】

今年度は、関西の2府4県(大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山)と、隣接地区(岐阜、愛知、三重、福井、

岡山、香川、徳島)の美術館・博物館で構成する合計82施設が参加した。主催は82施設で組織する「ミュージアムぐるっとパス関西2016」実行委員会である。パスを購入すると、対象施設で入場が無料となるなど様々なサービスが受けられる。当館は、総合展示が無料、特別展示が団体料金となる特典を設定し、2016年度の当館での利用者数は、総合展示720名、特別展示655名であった。

### 2) 京都府内の学校との連携事業

京都府立鴨沂高等学校「京都文化コース」、京都府立鳥羽高等学校「スーパーグローバルハイスクール「イノベーション探求I」～地域再発見プログラム～」と連携授業を実施した。

### 3) 地域との連携

V-6 外部連携活動 ▶ 3) 他館との連携

#### ①京都文化博物館地域共働事業 京都文化博物館を核とした地域活性化事業

博物館、学校、地域社会の連携を向上するための事業を実施した。地域との定例会を月一度、フォーラムを3回、ワークショップを3回、シンポジウムを1回開催し、記録集を刊行した。本事業は、平成28年度文化庁地域

と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業の支援をうけた。

## 【博学社連携フォーラム】

「博学社連携フォーラム」は、京都文化博物館地域共働事業実行委員会が企画・主催し、京都文化博物館本館7階サロンにて、以下のように開催した。いずれも発表約1時間で、意見交換は1時間を越える充実した会となった。

### ◆ 第1回

題目：「京都の伝統、社会的平等、都市環境：過去の保護」

日時：2016年11月18日(金)午前10時30分～(8月19日(金)に一度報告し、再度左記期日に紙上報告)

講師：クリストフ・ブルマン氏(マックスプランク社会人類学研究所)

参加者数：10名(8月19日は12名)

### ◆ 第2回

題目：「地域と博物館の新たな関係づくり—モバイルミュージアムの実践」

日時：2016年12月8日(木)午後5時30分～

講師：寺田鮎美氏(東京大学総合研究博物館インターメディアテク研究部門特任助教)

参加者数：16名

### ◆ 第3回

題目：「スマートシティエンジンwaシステムが変える社会の優しい仕組み—ミュージアムのかかわりについて—」

日時：2017年1月25日(水)午後5時30分～

講師：殿岡康永氏(株式会社ニュートロンスター代表)

参加者数：11名

## 【博学社連携シンポジウム～“まち”と“ミュージアム”の文化が結ぶ幸せな人たち3】

「博学社連携シンポジウム」は、京都文化博物館地域共働事業実行委員会が企画・主催し、京都文化博物館別館ホールにて開催した。

タイトル：学校の「たからもの」を発掘しよう！

学校所蔵考古・歴史資料のこれから

日時：2016年9月2日(金)

午前10時30分から午後4時30分

プログラム：

10:30 開会挨拶 神山俊昭(京都文化博物館 副館長  
学習普及連携室長)

10:35 趣旨説明 村野正景(京都文化博物館学芸員)

10:45 基調講演「いま、学校所蔵資料の何が課題で、何に取り組もうとしているのか？」

「京都市の学校所蔵資料の現状と課題～学校所蔵資料論の構築に向けて～」和崎光太郎氏(京都市学校歴

史博物館 学芸員)

「高校考古の過去・現在・未来」市元墨氏(東京国立博物館 主任研究員)

12:25 休憩

13:25 事例報告「府内の学校の所蔵資料と連携の取り組み」

「学校と博物館と地域の連携～考古資料を中心に～」村野正景(京都文化博物館 学芸員)

「考古学・人類学者と学校教材～模型標本を例に～」平田健氏(東京都教育委員会 学芸員)

「鴨沂高校 地理歴史科・京都文化科での取り組み」島田雄介氏(京都府立鴨沂高等学校 教諭)

15:10 休憩

15:20 パネル・ディスカッション「学校所蔵資料のこれから」

パネリスト：和崎氏、市元氏、平田氏、島田氏

司会：村野

参加者数：91名

## 【ワークショップ】

「学校所蔵資料に関して」

日時：2016年6月3日(金)、2017年1月12日(木)、  
2月17日(金) いずれも午前10時～午後5時

講師：平田健氏(東京都教育委員会 学芸員)

内容：学校所蔵の考古・歴史資料のなかでも、特殊な資料が明治から昭和初期に教具・教材として用いられた掛図や模型類、地歴部や考古クラブ等が収集した絵葉書である。当該資料の数少ない専門家である平田氏と実物資料を見ながら説明・議論等をおこなった。

## 【記録集の刊行】

京都文化博物館地域共働事業実行委員会 編

『“まち”と“ミュージアム”の文化が結ぶ幸せな人たち3

博学社連携フォーラム・博学社連携シンポジウム 報告書』 2017年3月18日発行

## ②研究会(まちカフェ)の開催

日時：2016年6月11日、7月23日、11月3日、3月4日  
参加人数：それぞれ 23人、23人、54人、11人

## ③地域事業(神輿祭り)の実践

日時：2016年7月24日 午後7時～10時頃  
会場：京都文化博物館前  
参加者：のべ約 1000 人

## ④「きものの似合うまち・京都」づくり 推進事業への協力

今年も昨年に引き続き、10月1日から12月25日まで、本事業に協力した。きものを着用した来館者に対する割引事業で、当館では総合展示入場料を無料、特別展示入場料を団体料金に割引している。期間中の利用者は総合展示38名、特別展示128名であった。

本事業は京都府、京都市、京都商工会議所、公益財団法人 京都和装産業振興財団、京都織物卸商業組合、西陣織工業組合、京友禅協同組合連合会、西陣織物産地問屋協同組合、京染卸商業組合の9団体で構成する「きものの似合うまち・京都」実行委員会の主催事業であり、2001年度から始められたものである。

## ⑤姉小路行灯会への協力

日時：2016年8月20日(土) 午後6時頃～9時  
会場：姉小路(富小路～柳馬場間)  
内容：姉小路を考える会が例年開催している行事で、烏丸～富小路間の姉小路通りの両側に400基以上の行灯を並べ御池中学校の生徒によるプラスチックバンド行進などの各種イベントがおこなわれる。当館ではこの行灯20基を製作・設置し、同行事への協力を行っている。

# V-7 京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術、工芸、映像等に興味を持つ人々が、京都文化博物館を通して楽しみながら博物館活動に協力することを目的とする。

## 1) 会 員

### 【会員の特典】

- ・会員証で特別展・総合展示(映画鑑賞含む)の無料での鑑賞(B会員は特別展2回まで無料、3回目からは団体料金)
- ・会員同伴者5名様まで入場料20%割引(B会員は同伴者1名まで)
- ・当博物館発行の出版物の割引
- ・友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・催事案内や各種行事案内等の送付
- ・当館会員証で京都国立博物館、京都国立近代美術館、京都市美術館の特別・常設展が団体料金に割引

### 【会費】

- ・A会員 年会費6,000円
- ・グループ会員(2名以上) 年会費5,000円/1名
- ・B会員 年会費4,000円

### 【会員の概要】

会員は、個人会員をA会員、また総合展示室・フィルムシアターの観覧を中心とするB会員、2名以上で入会するグループ会員の三つの区分に分け運営を行っている。

会員は、昨年よりA会員22名、グループ会員26名、計48名の減少となっている。また、B会員についてはほぼ昨年とおなじである。

また、B会員は比較的廉価なため、20～30代の新規加入を期待している。今後は、さらなる新規会員の獲得を目指すとともに、既会員はもちろん今年度新たに入会した会員に対して次年度以降も継続して加入してもらえるよう、友の会事業の内容の充実とサービスの向上を図りたい。

●会員数の推移

(単位：名)

	2016年度	2015年度	2014年度
A会員	397	419	434
グループ会員	177	203	222
B会員	284	280	281
計	858	902	937

●新規加入者数

(単位：名)

A会員	60
グループ会員	33
B会員	139
計	232

●職業

(単位：名)

会社員	138
公務員	32
教員	20
自営業	63
自由業	13
学生	11
その他	69
無職	512

●男女構成

(単位：名)

	男性	女性
A会員	69.8%	30.2%
グループ会員	46.3%	53.7%
B会員	65.5%	34.5%
計	63.5%	36.5%

●年齢分布

(単位：名)

10代	1
20代	9
30代	38
40代	48
50代	122
60代	276
70代	258
80代	95
90代以上	11
不明	0
最高齢	94
平均	65.82歳

●住所分布

(単位：名)

京都市内	592
京都府内	71
近畿圏内	172
その他の府県	23

(近畿圏内の内訳)

大阪府	117
兵庫県	27
滋賀県	19
奈良県	9
和歌山県	0
計	172

## 2) 事業概要

V-7 京都文化博物館友の会 ▶ 2) 事業概要

### ① 協力企画

#### 【文化講座「第2回 こもんじょ友の会」】

日時：2017年3月31日(金) 午後1時30分～3時  
 場所：2階総合展示室内研修室  
 講師：長村祥知(当館学芸員)  
 参加者数：18名



「第2回 こもんじょ友の会」の様子

V-7 京都文化博物館友の会 ▶ 2) 事業概要

### ② その他

#### 【「友の会通信」発行(毎月)】

会員への情報発信と来館促進のため、「友の会通信」を発行。

#### 【「文化財保護基金室事業への協力」】



# VI ギャラリー事業

## VI- 1 5・6階展示室

### 1) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5・6階展示室及び京都府立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、工芸3名(染織・陶芸・木工芸各1名)、書2名(仮名・漢字各1名)、写真1名の計13名で、展示室の使用を希望する美術・工

芸作家などの作品について審議している。

2016年度の委員会は以下のとおり開催した。

#### 【開催日一覧】

委員会開催日	審議対象期間	件数
2016年 6月28日	2016年12月～2017年 3月	11
10月25日	2017年 4月～2017年 7月	13
2017年 2月28日	2017年 8月～2017年11月	14

### 2) 美術・工芸作家の利用

当館では、開館以来5階展示室に、又6階においては1997年7月より美術・工芸作家が利用できる場を設けている。利用期間を原則として毎月1週間以内と定め、府内に活動の本拠を持つ作家及び府内にゆかりのある作家に限定している。展示作品は、絵画・彫刻・工芸・

書・デザイン・写真・華道などのジャンルで、内容の充実しているものとし、利用の可否については、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議して決定している。

2016年度の利用件数は、42件であった。

#### 【作家利用一覧】

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
2016 4.13～4.17	大月光勲 創作面展	諸工芸	8.24～8.28	第27回 光風工芸「明日へのかたち展」	工芸総合
4.13～4.17	第24回 光勲能面會展	諸工芸	8.24～8.28	第8回 洛展 <日本画>	日本画
4.19～4.24	第20回 あやなす展	染織	8.31～9.4	第21回 京都ファインド・アイ現代文人光画展	写真
4.21～4.24	京都創造芸術協會展	美術総合	9.7～9.11	書 杭迫柏樹の世界 展	書
4.23	福本繁樹 刊行新著『染色論のすゝめ』出版記念講演会 タイトル「染色論のすゝめ」	染織	9.14～9.18	第17回dpi展	写真
4.26～5.1	写真展「京の空366」	写真	10.19～10.23	平成28年度 京の名工展	工芸総合
4.27～5.1	第29回面風會展	諸工芸	10.21～10.23	純一仏教芸術世界巡回展<<禅海游逸>>	美術総合 (書画・陶磁版画)
4.28～5.1	第40回日本画春季光玄展	日本画	11.10～11.13	西野象山傘寿の書展・西野玉龍喜寿の書展	書
4.28～5.1	叙勲記念 伊勢形小紋 50年の職人技展 大野信幸	染織	11.15～11.20	時空 出口育子作品展 Time & Space Exhibition	洋画
5.6～5.8	辛酉會書展	書	11.16～11.20	第36回 聚英展	書
5.17～5.22	西川白悠展	書	11.23～11.27	第28回 工芸美術 創工会展	工芸総合
5.25～5.29	第28回 京都書作家協会会員展	書	12.13～12.18	平岡達子展—母なるガンジス河—	洋画
5.31～6.5	明日をひらく絵画 第34回 上野の森美術館大賞展 関西展	美術総合	12.20～12.25	森伸子水彩画展	洋画
6.14～6.19	詹徳秀画展	日本画 (水墨画)	12.21～12.25	第25回 帆の会展	洋画
6.14～6.19	第71回 京都丹平写真展	写真	2017 1.25～1.29	第15回 京都現代写真作家展 受賞者記念展	写真
6.29～7.3	2016京都日本画家協会 第4期展	日本画	1.25～1.29	書 一月の会	書
7.20～7.24	第8回 The NIHONGA—伝統と創造—	日本画	1.26～1.29	第38回 京都現代書藝展	書
7.20～7.24	第20回 種々展	日本画	2.3～2.5	2016年度 京都橘大学 卒業制作展	書
8.2～8.7	京都府立陶工高等技術専門学校 創立70周年記念展～京都東山で学んだ陶工展～	工芸総合	2.23～2.26	第11回 墨聚展	書
8.16～8.21	第35回 六齋會篆刻作品展	書(篆刻)	3.29～4.2	第60回あまがつ会人形展	諸工芸
8.24～8.28	遊々展	洋画	3.29～4.2	第40回記念新日美展 京都巡回展	美術総合
				計 42件(203日間) 57,527人	

【作家利用分野別件数・入場者数】

	美術						工芸				美術 工芸 総合	総計
	日本画	洋画	書	写真	彫刻	美術総合	染織	陶芸	諸工芸	工芸総合		
使用件数	6	5	11	5	0	4	3	0	4	4	0	42
割合(%)	14%	12%	26%	12%	0%	10%	7%	0%	10%	10%	0%	100%
入場者数	8,157	2,831	23,665	7,724	0	2,981	1,142	0	3,748	7,279	0	57,527
1件平均入場者数	1,360	566	2,151	1,545	0	745	381	0	937	1,820	0	1,370

\*諸工芸には、能面・人形を含む。

3) 生涯学習的発表期間の利用

1998年より、5階・6階各展示室に生涯学習的発表期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用に準ずる利

用期間として、美術・工芸作家及び技能芸能継承者の指導するグループの発表期間を設けたものである。

【生涯学習利用展覧会別入場者数一覧】

	会期	展覧会名	分野	入場者数	
5階	2016	3.31～4.3	北奥全教室合同写真展&北奥耕一郎個展「カメラで挑む琳派401年」	写真	1,883
		4.14～4.17	第25回 素敵なクラフト展、第13回 素敵なニット展	諸工芸	1,606
		5.12～5.15	楽しい折り紙の世界II 京都折紙倶楽部展	諸工芸	1,130
		5.12～5.15	中沢玲子と仲間達のキルト展	諸工芸	1,446
		5.25～5.29	第22回 雪秀会能面展	諸工芸	745
		6.9～6.12	十人十色 百縁百輪 栄美子 戸田 ロープとニューゼファーズ キルト展	諸工芸	1,118
		6.14～6.19	第2回 福島県と関西の水彩画交流展	洋画	3,844
		6.15～6.19	第32回 「竹の会」木版画展	諸工芸	932
		7.9～7.12	第8回 京都全日本水墨画・俳画・文人画 秀作展	日本画	1,127
		8.10～8.14	S hu・ha・ri展 京都嵯峨芸術大学日本画分野 3.4回生展	日本画	354
		8.16～8.21	第9回 菅橋彦大賞展(日本画展) : 倉吉博物館	日本画	1,004
		8.31～9.4	第4回 ハクビ和紙ちぎり絵学院 京都全国創作展	諸工芸	1,258
		9.13～9.18	第7回 カリグラファーズ・ギルド作品展 関西展	諸工芸	1,109
		9.27～9.30	ベルフォーム シャドーボックス展 XI	諸工芸	518
		10.12～10.16	'16 写人展	写真	555
		10.12～10.16	上田ミチヨ ソーイング教室発表会	諸工芸	748
		10.13～10.16	萌葱会染色作品展 モチーフへの挑戦	染織/染色	538
		10.13～10.16	第22回 早蕨会書展	書	851
		10.13～10.16	彩素会 絵更紗展	染織/染色	536
		10.27～10.30	第53回 仏教美術展	(美術)総合	3,663
		11.10～11.13	第50回 心象書展	書	2,266
		12.6～12.11	京都嵯峨芸術大学短期大学部 美術学科 デザイン分野 イラストレーションOGOB 作品展 併催 藤本秀樹←→山田真屋 One man Exhibition「勝手にRetrospective!!」	(美術)総合	692
		12.7～12.11	選抜 京都墨彩画壇冬季展 「春待月の墨の彩」	日本画	875
		12.8～12.11	創部80周年記念 京都大学写真部OB 京都展	写真	622
		12.13～12.18	共生の芸術祭 ストップ・フォッチ	(美術)総合	905
		2017	1.6～1.9	沙羅書芸教室 新春書藝展	書
1.13～1.22	第29回 京都美術文化賞 受賞記念展 <16日休室>		美術工芸総合	2,601	
2.14～2.14	京都織物卸商業組合経営情報委員会企画セミナー		その他	50	
2.16～2.19	京都工芸繊維大学造形工学課程 卒業制作展 2017		(美術)総合	1,560	
3.3～3.5	第30回 全国シルバー書道展 京都展		書	1,275	
3.8～3.12	第16回 福知山市 佐藤太清賞公募美術展		(美術)総合	460	
3.17～3.19	有岡由利子パッチワークサークルキルト展 2017		諸工芸	3,212	
3.30～4.2	第15回 箔の雅び展		諸工芸	636	

計33件 使用日数：147日

41,111

	会 期		展 覧 会 名		分 野	入 場 者 数
6階	2016	4.21	体験学習(座禅)		その他	96
		4.23	風楽和<華>Vol.5(邦楽コンサート)	地歌から現代邦楽	その他	63
		5.22	体験学習(京舞鑑賞)		その他	70
		5.28	体験学習(京舞鑑賞)		その他	140
		6.5	関西地区大学かるた連盟 新入生交流会		その他	140
		6.23	体験学習(落語鑑賞)		その他	210
		6.30	体験学習(京舞鑑賞)		その他	180
		7.29～7.31	(公財)片山家能楽・京舞保存財団 第20回能装束・能面展		(工芸)総合	1,215
		8.7	京都文博 嘶の会vol.2 笑福亭三喬 独演会		その他	160
		9.15～9.18	繡華の響宴 アトリエけい子京繡教室 NHK文化センター京繡教室 合同作品展		諸工芸	651
		10.14～10.16	第33回 龍雲会書道展		書	743
		10.19～10.20	京都シニア大学 第44回 学園文化祭 作品展		(美術)総合	477
		10.27～10.30	第53回 仏教美術展		(美術)総合	2,048
		11.4～11.6	吉田手織工房 京都教室 絲織会 第5回 作品展		染織/染色	369
		11.5～11.6	第19回 竹心展		書	455
		11.15～11.17	金彩荒木三代展		染織/染色	612
		11.25～11.27	龍門社 第54回 選抜書道展		書	1,057
		12.4	京都文博 嘶の会vol.3 笑福亭たま 独演会		その他	173
		12.15～12.17	樋口富喜子ギネス認定 きものコレクション なんでも鑑定団『極上!お宝サロン』 出演きもの展		染織/染色	204
		1.8	知ふみ書道 新春書初展		書	381
1.24～1.25	第13回 合同企画展 匠・双美会		染織/染色	148		
1.29	京都文博 嘶の会vol.4 桃月庵白酒 独演会		その他	200		
2.16～2.19	京都工芸繊維大学大学院デザイン学専攻 修了制作展 2017		(美術)総合	1,196		
2.25	第17回 五色百人一首京都府大会		その他	900		
3.11～3.12	嵯峨御流いけばな展 華道平安司所 創立75周年記念華展		(美術)総合	2,300		
3.25～3.26	宗家継承50周年記念 遠州いけばな展		(美術)総合	500		
計26件 使用日数：52日						14,688

### 【生涯学習利用分野別件数・入場者数】

	和装 呉服	美 術								工 芸					美術 工芸 総合	総計
		日本画	洋画	書	写真	その他	美術総合	小計	染織	陶芸・金・漆	諸工芸	工芸総合	小計			
5階	件数	-	4	1	4	3	1	5	18	2	-	12	-	14	1	33
	日数	-	20	6	15	12	1	25	79	8	-	51	-	59	9	147
	人数	-	3,360	3,844	5,384	3,060	50	7,280	22,978	1,074	0	14,458	-	15,532	2,601	41,111
6階	件数	-	-	-	4	-	11	5	20	4	-	1	1	6	-	26
	日数	-	-	-	9	-	11	14	34	11	-	4	3	18	-	52
	人数	-	-	-	2,636	-	2,332	6,521	11,489	1,333	-	651	1,215	3,199	-	14,688

\*6階「その他」は体験学習、落語会、邦楽演奏会等。

\*「(美術)総合」は絵画、華道含む。

## 4) 一般の利用

5階展示室及び6階展示室は美術・工芸作品の展覧会などの他、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市などの会場としても利用されている。

### 【一般利用分野別件数・入場者数】

場所	和装呉服	染織	美術	工芸	その他	計
5階	件数	5	1	1	1	9
	日数	22	2	2	2	19
	人数	1,100	850	2,100	521	5,647
6階	件数	19	-	-	1	20
	日数	52	-	-	3	55
	人数	2,860	-	-	797	3,657

\*美術：日本画、洋画、書、写真、華道など

## VI- 2 別館ホール

旧日本銀行京都支店(重要文化財)の営業室であった別館ホールは、通常は明治時代の代表的な洋風近代建築の内部を公開しているが、一方で多目的ホールとしての機能も持っている。特別展の開会式やレセプション、音楽会など館主催の事業に使用するとともに、貸会場として展覧会や音楽会、また展示即売会等の商業催事から結婚式まで様々な催事の利用に供している。近年では、

三条通りウッドデッキを活用したアートマルシェなどの新たな活用も増えてきている。

なお、2015年10月から2016年8月まで、文化庁及び京都府により耐震対策工事が実施された。別館を休館にせず、また貸ホール事業を通常の形で行い、できる限り開館状態で工事を実施したことは、来館者、及び別館ホール利用者に概ね好評であった。

### 【別館利用状況一覧】

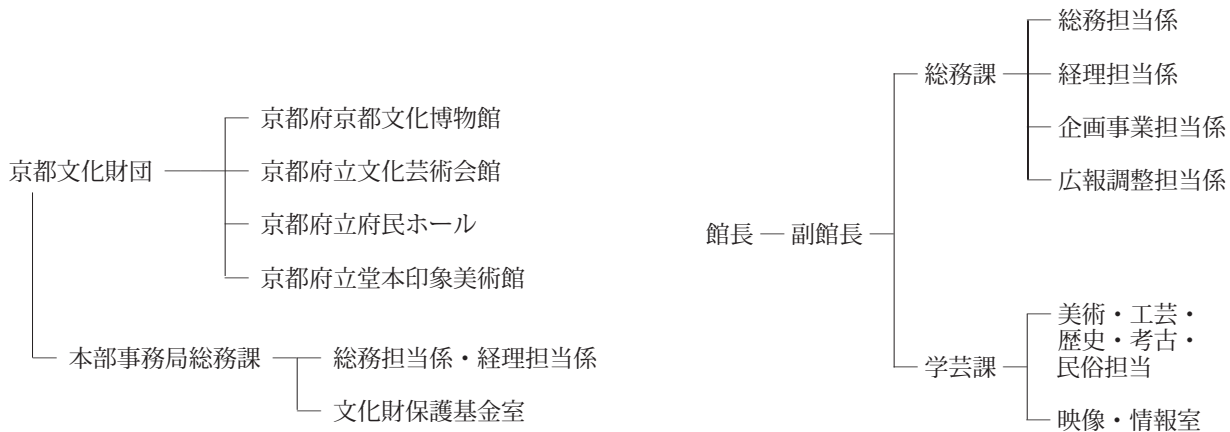
会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
2016		7.3	Trio Youハートフルコンサート
4.2	ジュスカ・グランパールNEWアルバム「雲錦」発売記念コンサート	7.9	童謡サロンとベル・デ・ベル(20世紀初頭のフランス歌曲)
4.3	Body Carnival Crew 10周年 Anniversaryスペシャルディスカッション	7.10	大久保香・千藤里子 フルーツデュオリサイタルvol. 2
4.6	京都市立芸術大学トランペット専攻生による TRUMPET ENSEMBLE 第10回演奏会	7.13	京都市交響楽団創立60周年記念 ふらっとコンサート
4.9	Bird“そうだ京都、行こう”Acoustic Tour	7.15～7.18	ぶんぱくアートマルシェ
4.10	染織光悦会	7.16	宵山コンサート
4.16	京都フランス歌曲協会設立25周年記念コンサート フォーレとその周辺 その1 ～フォーレの珠玉～	7.17～7.18	祇園祭ミュージアムコンサート
4.17	音楽発表会	7.20～7.24	京・まつり展
4.29～5.1	ぶんぱくアートマルシェ With 移動雑貨店 星降る夜	7.30	声楽コンサート
5.3	京都廣学館吹奏楽部	8.5	京都府立陶工高等技術専門学校創立70周年記念展～京都東山で学んだ陶工展～ 記念レセプション
5.5	第67回京都新能・ブレ公演	8.6～8.7	第22回京都国際子ども映画祭関連イベント 「映画とアニメーションを学んでみよう！！」
5.15・18	エラート	8.10～8.13	COOL MUSIC SPOT in 京都文化博物館
5.21	特別企画展「—IKI粹SUI—」トークショー	8.10	トランペット・ソロ・コンサートvol.12
5.22	京都国際学生音楽フェスティバル リハーサル	8.17～8.19	COOL MUSIC SPOT in 京都文化博物館
5.24	日本工芸会会合	8.20	第17回 夏のひととき
5.28	京都フィルハーモニー室内合奏団 室内楽コンサートシリーズ vol.56 《室内楽アラカルト》	8.21	Felix室内合唱団 第28回演奏会
5.29	すばらしき音仲間たち	8.24～8.26	COOL MUSIC SPOT in 京都文化博物館
5.28～5.29	ぶんぱくアートマルシェ	8.27～8.28	ぶんぱくアートマルシェ
6.1	通崎睦美コンサート	8.22	WAC JAPAN
6.2	高精細デジタルアーカイブと文化遺産の未来	9.4	木管アンサンブル“はなり”オータムコンサート
6.4	公開シンポジウム 「京町屋 新条例に向けて一町屋をこれ以上壊さないために—」	9.7～9.10	2016年9月 むす美展
6.5	横山美優サクソフォンコンサート	9.11	あややの会ライブ～音楽って楽しい！素敵！音の輪が広がる～
6.12	KYOTO TEENS COLLECTION 2016	9.17～9.19	京都アートフリーマーケット2016秋
6.13	メタメタ4	9.22	第8回♪音楽のおもちゃ箱の仲間たち♪ 2016 コンサートフェア
6.16	Tricolore conecert vol. 2	9.24	鈴木 真日子コンサート ～秋の京都を歌うシャンソン・カンツォーネ～
6.18～6.19	ぶんぱくアートマルシェ	9.25	Jazz at sanjo vol.15
6.19	大橋トリオ	9.27～9.28	ぶんぱくアートマルシェ
6.24	EUフィルムデーズ レセプション	10.2	アンサンブル・ギャラリー
6.26	森恵 弾き語り LIVE TOUR 2016 歌とギターと鮮やか旅路-追加公演	10.4	オーストリアのタベ エリザベート・ブランク ハープコンサート
7.2	平沼有梨feat.古澤巖 「音楽のレシビ」	10.5	生活向上委員会2016 TIME TUNNEL

会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
10.7～10.10	日本ステンドグラス協会展	12.17	西垣正信 クリスマスコンサート
10.8～10.9	ぶんぱくアートマルシェ	12.23～12.24	THE GIFTBOX アーティストが提案する特別なギフト。
10.16	mamalmilk 「2台のコントラバスとアコーディオンによる組曲」	12.23～12.25	ぶんぱくアートマルシェ
10.17	日本工芸会近畿支部 会議	12.25	平井真美子 Piano Diary
10.19	創造のためのアーカイヴ〜文化芸術資源の活用による新たな表現	2017.	
10.22	谷山浩子 ソロライブツアー 2016	1.7	JMコンサート(声楽発表会)
10.23	オータムコンサート	1.9	杉山清貴 ソロデビュー 30周年 acoustic solo tour 2017 "NEW YEAR SPECIAL"
10.24	KYOTO CMEX2016 コンテンツクロスメディアセミナー (第3回)	1.14	福島陽子フラメンコスタジオライブ
10.27～10.30	KPA「メイキング・ワークショップ2017」	1.15	二胡アンサンブル楽・楽(LA・LA) 10周年記念演奏会
11.1～11.2	第159回 美展 同時開催 加賀友禅名匠創作展	7.9	童謡サロンとベル・デ・ベル(20世紀初頭のフランス歌曲)
11.4～11.6	マーレングラスリッツェン 第6回関西展―美しのガラス―	1.22	PRIMAL
11.11	lami9 LIVE! EXTRA2 in KYOTO	1.28～1.29	映画字幕ワークショップ2017開催
11.12	《疑問形の希望》Kick-Off Performance	1.28～1.29	ぶんぱくアートマルシェ
11.13	ブティック花オカリナコンサート	1.28～2.12	Kyoto Art for Tomorrow―京都府新鋭選抜展2017
11.16	通崎睦美 コンサート「今、甦る! 木琴デイズ」 vol. 6 ～郷愁のトレモロ～	2.16～2.19	京都工芸繊維大学大学院建築学専攻 第12回修了制作展
11.18～11.20	第18回 佐々木真弓 アトリエエンジェルステンドグラスランプ展	2.22	成安造形大学卒業制作展・進級制作展関連イベントファッション ショー SEIAN COLLECTION 2017「いろ」
11.19	煌めきのステンドグラスランプと共に…ムジカA国際音楽協会10周年 絆をひもといて	2.25～2.26	第4回 京を包む
11.19～11.20	ぶんぱくアートマルシェ	2.25～2.26	ぶんぱくアートマルシェ
11.22～11.27	「十人十色」ガラスの展覧会 Vol. 4 ～京都秋色・2～	3.1～3.4	2017春・むす美 新作展示会『FAMILY』
12. 1～12.7	kikuju exhibition	3.5	Kotyエレガントミニフライフェスティバル
12.8	平沼有梨 feat.古澤巖『PARALLEL-パラレル-』	3.11	第13回 健康塾
12.9	UTA-KAI	3.12	橋本洋バツハ無伴奏ヴァイオリンリサイタル in 京都
12.10	京都フランス歌曲協会設立25周年記念 フォーレとその周辺 マ スクとベルガマスク ～フォーレとアーン～	3.18～3.20	京都アートフリーマーケット2017春
12.11	Asian Wind ～中国から日本へ 音楽の旅～ 二胡・笛子(中国 笛)・ピアノ トリオコンサート	3.22	戦国時代展-A CENTURY of DREAMS- トークイベント「戦国時代展のメッセージ」
12.13	プレス Christmas night 2016	3.25	「戦国時代展-A CENTURY of DREAMS-」関連イベント 《知りたい! 將軍義政の能 信長の能-戦国を舞う-》
12.14	サーシャ・ボルダチョフ 日本ツアー 2016 in 京都	3.25～3.26	ぶんぱくアートマルシェ
12.15	Joyful Bells ハンドベルコンサート	3.26	JEUGIAミュージックサロン京都駅発表会
12.16	古楽アンサンブル「プリンチピ」結成10周年記念企画 バロックの 歌姫 鈴木美登里さんをお迎えして	3.31	三条ラジオカフェ
			入場者数 計 163,951人

# VII 管理・運営

## VII- 1 組織と職員

### 1) 組織



※総務担当係及び経理担当係は京都文化財団本部総務課を兼ねる。

### 2) 公益財団法人京都文化財団

#### 【京都文化財団役員及び顧問名簿】

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
顧問	山田 啓二 千 玄室	京都府知事 前京都文化財団副理事長、前茶道裏千家家元	理事	並木 誠士	京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科教授・美術工芸資料館館長
理事長	荒巻 禎一	京都文化博物館館長、前京都府知事		平林 幸子	京都中央信用金庫副理事長
常務理事	神山 俊昭	京都文化博物館副館長		深尾 憲一	弁護士
理事	金田 章裕	京都府特別参与、京都大学名誉教授	監事	吉田 忠嗣	吉忠株式会社代表取締役社長
	小林 正幸	京都銀行代表取締役・専務取締役		光田 周史	公認会計士
	高階絵里加	京都大学人文科学研究所准教授		藤井 龍美	一般社団法人京都銀行協会専務理事(～2017.1.31)
			中村 健児	一般社団法人京都銀行協会専務理事(2017.3.23～)	

#### 【京都文化財団評議員名簿】

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
評議員会長	村井 康彦	国際日本文化研究センター名誉教授	評議員	田中 恆清	石清水八幡宮宮司
評議員	有馬 頼底	臨済宗相国寺派管長		鶴田 憲次	洋画家
	池坊 専好	華道家元池坊次期家元		名和 修	公益財団法人陽明文庫常務理事・文庫長
	今井 政之	陶芸家		野中 信夫	元NPO MCEI専務理事
	上村 淳之	日本画家		畑 正高	京都府教育委員会教育長職務代理者
	梅原ひまり	ヴァイオリニスト		増田 正蔵	株式会社京都新聞ホールディングス顧問(～2017.2.24)
	奥原 恒興	京都商工会議所専務理事		山内 修一	京都府副知事
	神林 恒道	大阪大学名誉教授		山本 壯太	古典の日推進委員会ゼネラルプロデューサー
	杭迫 柏樹	書家		冷泉 為人	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫理事長
	金剛 永謹	金剛流宗家			

### 3) 京都文化博物館

#### 【京都文化博物館職員名簿】

2017年3月31日現在

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
	館長	荒巻 禎一	館総括	財団理事長 2003.6～
	副館長	神山 俊昭	館業務総括	事務局長 2011.4～ 財団常務理事 2011.6～
総務課	課長	下河邊英寿	課総括	財団本部事務局兼務 2012.4～2017.3
	参事(文化財保護基金室長事務取扱)	奥野 清人	課総括補助	2014.5～
	課長補佐兼総務担当係長	佐藤 幸央	総務担当業務	財団本部事務局兼務 1991.10～
	経理担当係長	宮本 幸樹	経理担当業務	財団本部事務局兼務 2012.3～
	課長補佐兼企画事業担当係長	森 雅樹	企画事業担当業務	1992.9～
	広報調整担当係長	磯野真知子	広報調整担当業務	2011.4～
	担当係長	海老名和孝	企画事業担当業務	2015.4～
	主任	杉浦美香代	総務担当業務	財団本部事務局兼務 2010.5～
	主任	高桑 鉄則	企画事業担当業務	2007.4～
	主事	新谷婦美子	経理担当業務	財団本部事務局兼務 2014.4～
	主事	竹内 文香	広報調整担当業務	2014.4～
	嘱託	田中真希代	企画事業担当業務	2014.8～
学芸課	課長	畑 智子	課総括	2006.6～
	課長補佐 主任学芸員	洲鎌佐智子	工芸	1988.5～
	課長補佐 映像・情報室長 主任学芸員	森脇 清隆	映像・情報	1990.7～
	学芸員	林 智子	染織	2008.10～
	学芸員	植田彩芳子	絵画	2010.8～
	学芸員	西山 剛	歴史・文献	2010.8～
	学芸員	村野 正景	歴史・考古	2011.4～
	学芸員	橋本 章	民俗	2011.10～
	学芸員	森 道彦	絵画	2012.4～
	学芸員	長村 祥知	歴史・文献	2012.6～
	学芸員	大矢 敦子	映像・情報	2016.4～

## VII- 2 施 設

### 1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町623- 1  
 設 計：京都府土木建築部営繕課・株式会社久米建築事務所  
 施工期間：1986年10月～1988年9月  
 2010年12月～2011年7月(リニューアル工事实施)  
 敷地面積：4,830.0㎡(別館を含む)  
 建築面積：3,646.5㎡(別館を含む)  
 延床面積：15,854.7㎡(別館を含む)  
 本館床面積：13,591.8㎡

内訳：

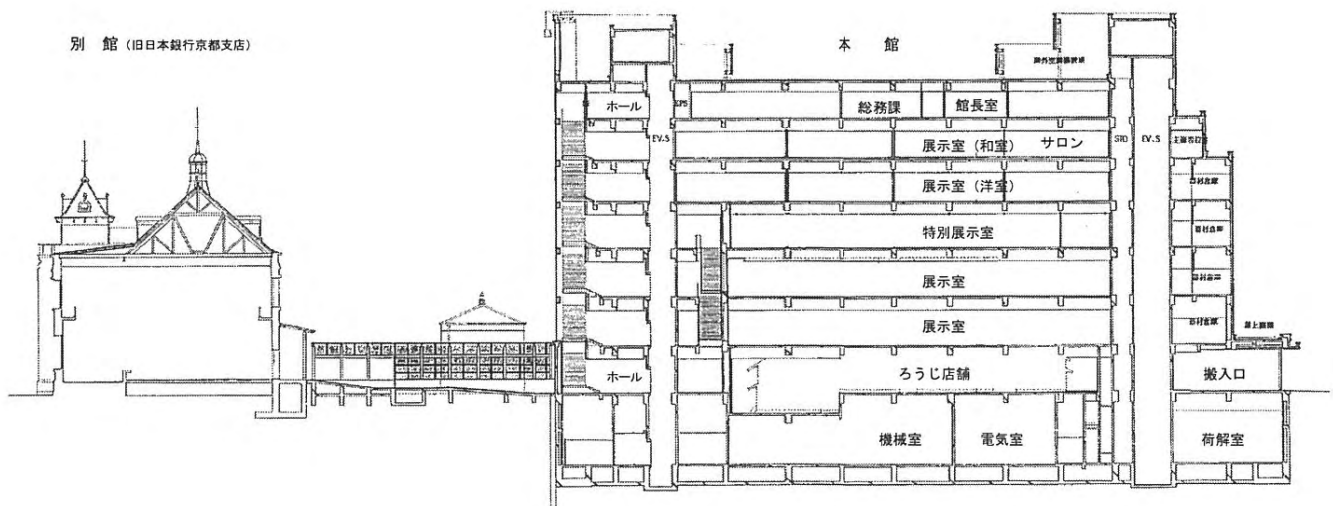
地階	2,242.4㎡	／	1階	2,251.7㎡
2階	1,892.8㎡	／	3階	1,908.7㎡
4階	1,442.1㎡	／	5階	1,442.1㎡
6階	1,218.2㎡	／	7階	1,010.4㎡
塔屋	182.8㎡			

構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造／一部鉄骨造

### 2) 別館関係

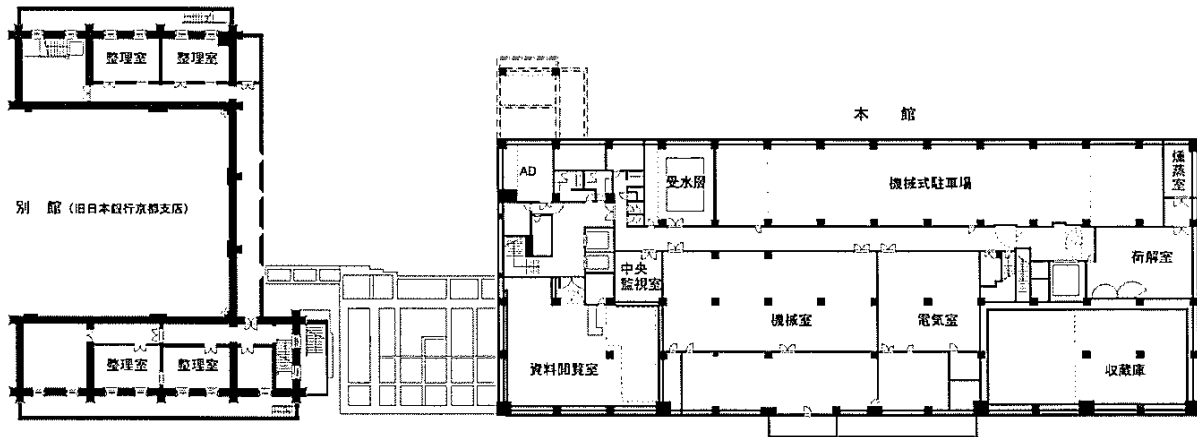
所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル菱屋町48番地  
 設 計：辰野金吾・長野宇平治  
 施工期間：1903(明治36)年9月  
 ～1906(明治39)年6月  
 延床面積：2,249.3㎡  
 別館構造：建築面積……819.7㎡  
 煉瓦造、2階建一部地下1階  
 スレート・銅板葺、両翼塔屋付  
 旧金庫構造：建築面積……237.1㎡  
 煉瓦造、1階建、棧瓦葺  
 指 定：重要文化財  
 指定名称 旧日本銀行京都支店  
 指定年月日 1969年3月12日  
 指定書番号 建第1,708号

【京都文化博物館断面図】



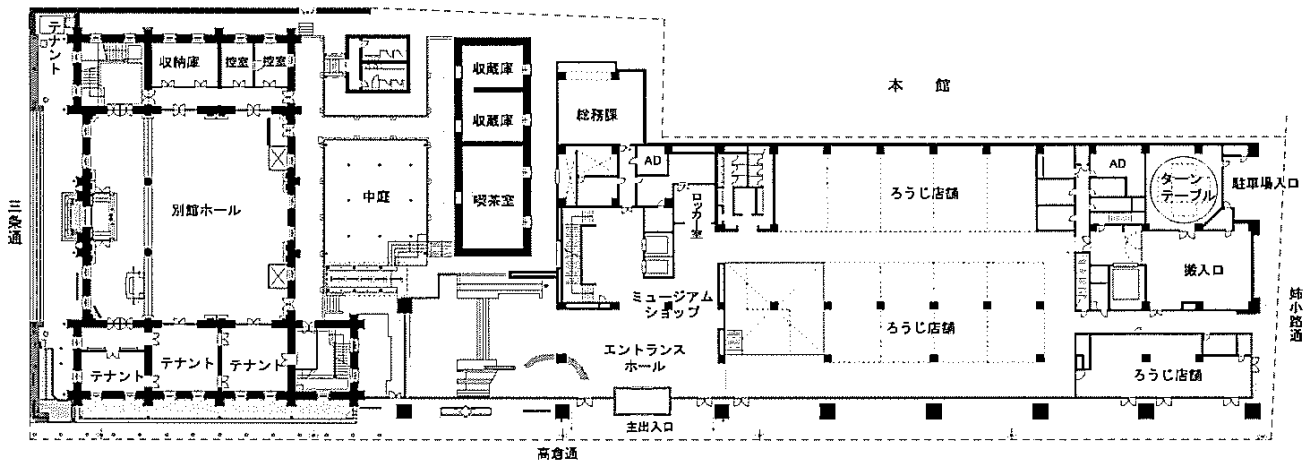


【京都文化博物館 地下1階平面図】



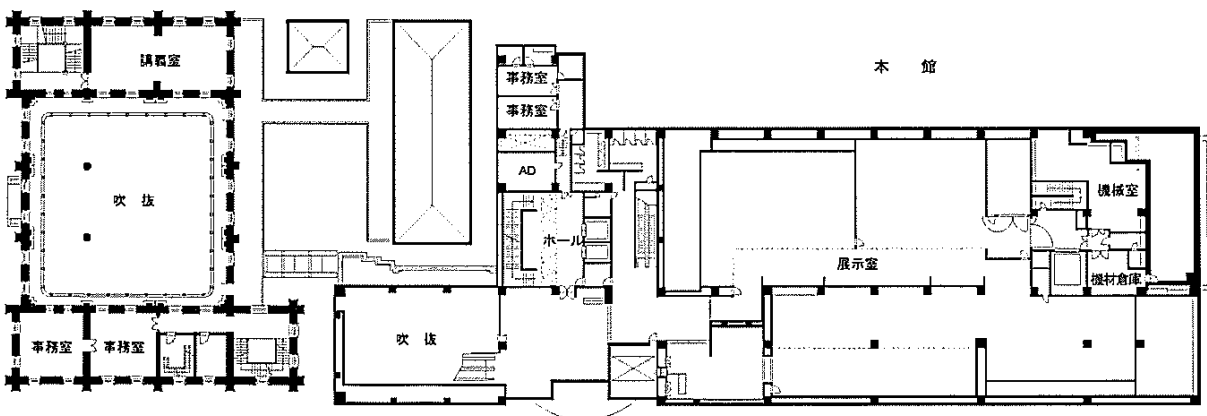
【京都文化博物館 1階平面図】

別館 (旧日本銀行京都支店)

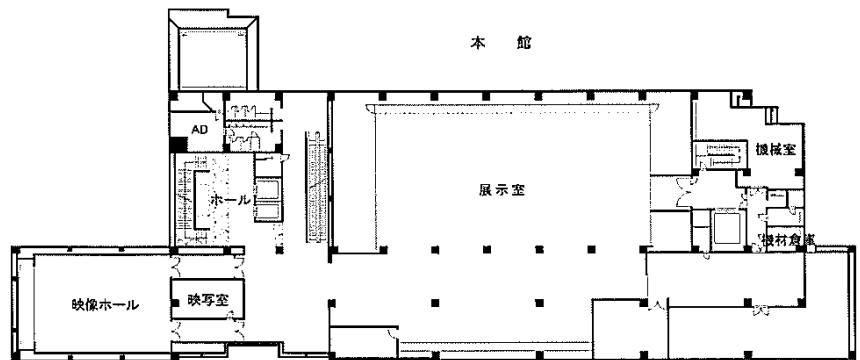


【京都文化博物館 2階平面図】

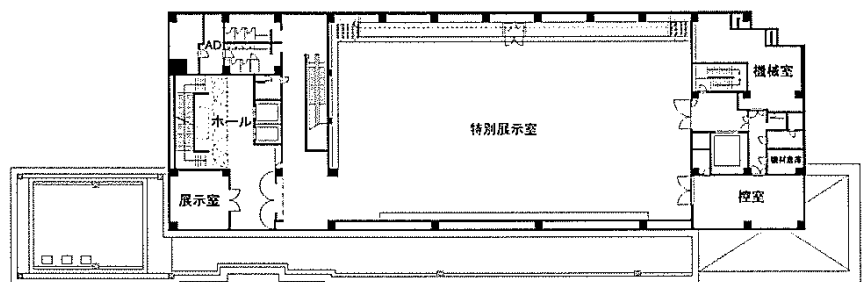
別館 (旧日本銀行京都支店)



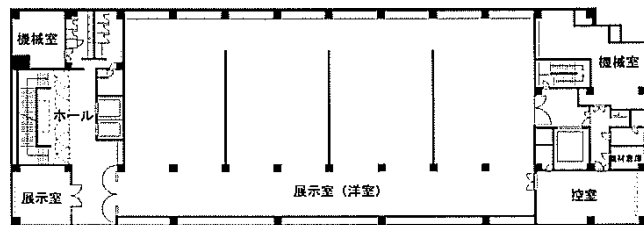
【京都文化博物館 3階平面図】



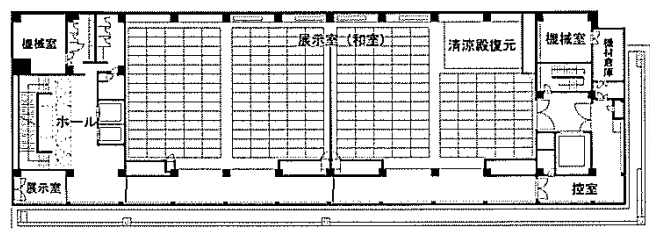
【京都文化博物館 4階平面図】



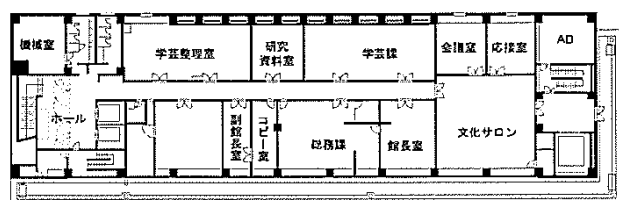
【京都文化博物館 5階平面図】



【京都文化博物館 6階平面図】



【京都文化博物館 7階平面図】



## VII- 3 館内店舗

### 1) ろうじ店舗

「ろうじ店舗」は本館1階にあり、江戸時代末期の京町家の外観を復元したものである。高倉通側には飲食店、西側の路地には京物と呼ばれる伝統工芸品や土産物を扱う物販店が営業している。また、ろうじ店舗各店でつくる「ろうじ店舗博和会」は当館の協力会として催しにあわせて積極的に活動している。本年度のろうじ店舗利用者は157,688名であった。

#### 【ろうじ店舗一覧】

- ◇和紙と和紙小物の店—染紙館
- ◇京都和雑貨—菰軒
- ◇京のエッセンス16舗 名店会

名店会一覧(順不同)

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 香老舗—松榮堂   | 京麩—半兵衛麩   |
| 京念珠—福永念珠舗 | 京菓子—鼓月    |
| 京佃煮—野村    | 宇治茶—福寿園   |
| 京扇子—とくの   | 京象嵌—川人象嵌  |
| 八ッ橋—井筒八ッ橋 | 京の額—古澤仙壽堂 |

- 京風雅便箋—表現社
- 野菜せんべい—京煎堂
- ちりめん小物—くろちく
- 京つけもの—西利
- 竹の匠—高野竹工
- 町屋手拭—永楽屋細辻伊兵衛商店
- ◇手打ちそば・蕎麦料理—有喜屋
- ◇あめとかふえ とにまる(2016年5月26日開店)
- ◇東京料理 京都 なた万賓館
- ◇京・嵐山上流の蔵—京丹山
- ◇ミュージアムショップ—京都 便利堂

### 2) 別館店舗

#### 【別館店舗一覧】

- ◇前田珈琲文博店
- ◇Contemporary Art-JARFO京・文博
- ◇アートギャラリー arton art gallery
- ◇和雑貨—くろちく文博店

### 3) 博和会・ろうじ店舗行事

#### 【博和会行事】

区 分	名 称	月 日
特別展関連イベント参加	特別展『イングリッシュ・ガーデン』講演会参加	2016年 5月 5日 11:00～12:00
	特別展『ダリ版画展』ギャラリートーク参加 担当 植田彩芳子(当館学芸員)	2016年 7月29日 18:00～18:30
	特別展『黄金のファラオと大ピラミッド展』ギャラリートーク参加 担当 村野正景(当館学芸員)	2016年10月28日 18:00～18:30
会員店舗職員向懇親会 (7階サロン)	大忘年会(店舗職員と館職員の交流会)	2016年12月27日 19:30～21:00
特別展関連イベント参加	特別展『戦国時代展』ギャラリートーク参加 担当 西山 剛(当館学芸員)	2017年 3月 3日 18:00～18:30

# VIII 2016(平成28)年度 のあゆみ

※事項欄の「FT」はフィルムシアター、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室の略

月 日	事 項	
2016年		
4月 1日	常設上映「映画日本百景 関東甲信越篇」	(～30日／FT)
4月 9日	総合展示「近代京都のすがた うつされた都」	(～6月5日／2階)
4月16日	総合展示「祇園祭一月鉾の名宝ー」	(～6月26日／2階)
4月29日	「世界遺産 キュー王立植物園所蔵 イングリッシュ・ガーデンー英国に集う花々ー」開催	(～6月26日／4階)
4月29日	企画展「江戸の植物画」開催	(～6月26日／3階)
5月 1日	常設上映「生誕100年記念 木下忠司 映画音楽の世界」	(～6月24日／FT)
6月11日	総合展示「ものがたる染織文化財」	(～8月7日／2階)
6月11日	総合展示「洛陽三十三所2」	(～8月7日／2階)
6月25日	EUフィルムデー2016 映画で旅するヨーロッパ	(～7月15日／FT)
7月 2日	総合展示「祇園祭ー山鉾巡行の歴史と文化ー」	(～7月31日／2階)
7月 9日	「ダリ版画展ーもうひとつの顔ー」開催	(～9月4日／4階)
7月16日	ぶんぱく京都講座「祇園祭ー山鉾を飾る品々のうつりかわりー」	(16日／FT)
7月16日	ぶんぱく子ども教室 第1回 祇園祭 お囃子体験教室	(16日／館外)
7月16日	祇園祭記念特別上映「祇園祭」	(16日、17日、22日、24日／FT)
7月16日	同志社女子大学音楽専攻科による宵山ミュージアムコンサート	(16日／AH)
7月16日	第27回宵山に箏曲を聴く夕べ	(16日／AH)
7月17日	祇園祭ミュージアムコンサート	(17日、18日／AH)
7月18日	常設上映「夏休み子ども映画特集 子どもの瞳に映る夢と現実」	(～8月9日／FT)
7月23日	企画展「世界考古学会議京都(WAC-8)開催記念 アートと考古学展 ～物の声を、土の声を聴け～」開催	(～9月11日／3階)
8月 1日	博物館実習	(～8月5日)
8月 4日	第22回京都国際子ども映画祭	(～7日／FT)
8月 6日	総合展示「祇園祭ー南観音山の名宝ー」	(～10月23日／2階)
8月10日	常設上映「映画日本百景 東京の変遷」	(～9月1日／FT)
8月10日	明治の名建築に響く 若手音楽家の調べ『COOL MUSIC SPOT in 京都文化博物館2016』	(～26日 うち10日間／AH)
8月13日	総合展示「世界考古学会議京都(WAC-8)開催記念 京都府内の学校所蔵考古・歴史資料展」	(～10月10日／2階)
9月 2日	日本映像学会関西支部第38回夏期映画ゼミナール 加藤泰特集 生誕100年	(～9月4日／FT)
9月 6日	常設上映「社会派・ミステリー・推理・サスペンス特集」	(～10月1日／FT)
9月10日	ぶんぱく京都講座「京都の学校と考古学のつながりー学校所蔵資料の魅力とその価値ー」	(10日／FT)
9月10日	日本映画テレビ技術協会映像技術受賞作品 試写会+トーク	(10日／FT)
9月17日	京都アートフリーマーケット2016秋	(～19日／AH他)
9月22日	京まちなか映画祭・2016 みんなはじめは、の・ようなものだった presents	(22日／FT)
10月 1日	「国立カイロ博物館所蔵 黄金のファラオと大ピラミッド展」開催	(～12月25日／3・4階)
10月 2日	構え森 上映会+トーク	(2日／FT)
10月 4日	常設上映「京都の映画文化をアーカイブする 大映京都撮影所特集1」	(～30日／FT)
10月15日	総合展示「京都府蔵池大雅美術館コレクション 池大雅」	(～12月11日／2階)
10月15日	総合展示「近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝6 “こころ”を記すー和歌懐紙と詩懐紙ー」	(～12月11日／2階)
10月19日	スポーツ・文化・ワールド・フォーラム 文化会議分科会「創造のためのアーカイブ：文化芸術資源の活用による新たな表現」	(19日／AH)
10月23日	Autumn ミュージアムコンサート Classical Music & Wind-instrument Music	(23日／AH)
10月29日	総合展示「祇園祭ー芦刈山の名宝ー」	(～1月15日／2階)
11月 1日	京都フィルムメーカーズラボ・マスターズセッション	(～2日／FT他)
11月 2日	第8回京都ヒストリカ国際映画祭	(～13日／FT)
11月12日	ぶんぱく子ども教室 第2回 自分だけのピラミッドをつくろう！	(12日／2・3・4階)
11月15日	常設上映「京都の映画文化をアーカイブする 大映京都撮影所特集2」	(～30日／FT)
11月19日	【第19回京都国際学生映画祭 目前祭】「格差」を捉えた学生映画	(19日／FT)
11月29日	常設上映「鬼才・実相寺昭雄 映像の世界ーウルトラマンから仏像までー」	(29日、12月6日～11日／FT)

※事項欄の「FT」はフィルムシアター、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室の略

月 日	事 項	
2016年		
12月 1日	シネマの冒険 闇と音楽 2016 スウェーデン映画協会コレクション	(~4日 / FT)
12月13日	常設上映【三宅邦子生誕100年記念小特集】戦前松竹大船映画とモダン女優	(~28日 / FT)
12月17日	総合展示「日本の表装」	(~2月19日 / 2階)
2017年		
1月 4日	常設上映「京の匠を記録する 文化映画特集」	(8日 / FT)
1月 9日	常設上映「映画日本百景色 大阪人情篇」	(~2月5日 / FT)
1月14日	ぶんぱく京都講座「掛軸の歴史と文化をたどる」	(14日 / FT)
1月21日	総合展示「祇園祭ー岩戸山の名宝ー」	(~4月2日 / 2階)
1月28日	「京都府新鋭選抜展2017 -Kyoto Art for Tomorrow-」開催	(~2月12日 / 3階・別館)
1月29日	ぶんぱく子ども教室 第3回 ミニ掛軸を作ろう！	(29日 / 2階)
2月 7日	常設上映【日本映画120年記念企画】古典・名作映画ノススメ1」	(~3月5日 / FT)
2月10日	日本映画テレビ技術協会映像技術受賞作品上映会	(10日 / FT)
2月25日	「戦国時代展 - A CENTURY of DREAMS -」開催	(~4月16日 / 3階・4階)
2月25日	総合展示「京都府コレクションにみる武家の服飾」	(~4月23日 / 2階)
3月 1日	総合展示「ユネスコ「世界の記憶」東寺百合文書展ー人・物・情報が行き交う中世ー」	(~4月23日 / 2階)
3月 7日	常設上映【日本映画120年記念企画】古典・名作映画ノススメ2」	(~4月 2日 / FT)
3月11日	ぶんぱく京都講座「京都府コレクションにみる武家の服飾資料」	(11日 / FT)
3月11日	ぶんぱく子ども教室 第4回 館内ぐるぐる探検ツアー	(11日 / 館内)
3月18日	京都アートフリーマーケット2017春	(~20日 / AH他)
3月31日	文化講座「第2回 こもんじょ友の会」	(31日 / 2階)

---

## 京都文化博物館2016(平成28)年度年報

発行日 2017年8月31日

編集・発行 京都府京都文化博物館

〒604-8183 京都市中京区三条高倉

TEL：075-222-0888

FAX：075-222-0889

印刷 (株)吉川印刷工業所